

平成 2 年度

教 授 要 目

小樽商科大学

平成2年度 1990/1991 CALENDER

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
4	1	2	3	4	5	6	7	10	1	2	3	4	5	6	
月	8	9	10	11	12	13	14	月	7	8	9	10	11	12	13
	15	16	17	18	19	20	21		14	15	16	17	18	19	20
	22	23	24	25	26	27	28		21	22	23	24	25	26	27
	29	30							28	29	30	31			
5	日	月	火	水	木	金	土	11	日	月	火	水	木	金	土
月			1	2	3	4	5	月					1	2	3
	6	7	8	9	10	11	12		4	5	6	7	8	9	10
	13	14	15	16	17	18	19		11	12	13	14	15	16	17
	20	21	22	23	24	25	26		18	19	20	21	22	23	24
	27	28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	
6	日	月	火	水	木	金	土	12	日	月	火	水	木	金	土
月						1	2	月							1
	3	4	5	6	7	8	9		2	3	4	5	6	7	8
	10	11	12	13	14	15	16		9	10	11	12	13	14	15
	17	18	19	20	21	22	23		16	17	18	19	20	21	22
	24	25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29
7	日	月	火	水	木	金	土	1月(3年)	日	月	火	水	木	金	土
月	1	2	3	4	5	6	7	月			1	2	3	4	5
	8	9	10	11	12	13	14		6	7	8	9	10	11	12
	15	16	17	18	19	20	21		13	14	15	16	17	18	19
	22	23	24	25	26	27	28		20	21	22	23	24	25	26
	29	30	31						27	28	29	30	31		
8	日	月	火	水	木	金	土	2月(3年)	日	月	火	水	木	金	土
月				1	2	3	4	月						1	2
	5	6	7	8	9	10	11		3	4	5	6	7	8	9
	12	13	14	15	16	17	18		10	11	12	13	14	15	16
	19	20	21	22	23	24	25		17	18	19	20	21	22	23
	26	27	28	29	30	31			24	25	26	27	28		
9	日	月	火	水	木	金	土	3月(3年)	日	月	火	水	木	金	土
月							1	月						1	2
	2	3	4	5	6	7	8		3	4	5	6	7	8	9
	9	10	11	12	13	14	15		10	11	12	13	14	15	16
	16	17	18	19	20	21	22		17	18	19	20	21	22	23
	23	24	25	26	27	28	29		24	25	26	27	28	29	30

太数字は休業日、○印は祝日及び休日

平成2年度開講科目

【一般教育科目等】

平成2年度行事予定

	期日・期間	内容	
前	4月12日(木)	入学式	
	4月13日(金)	2~4年次生授業開始及び成績票交付	
	4月13日(金)~4月14日(土)	新入生合宿研修	
	4月16日(月)~4月17日(火)	新入生オリエンテーション	
	4月18日(水)	新入生授業開始	
	5月7日(月)	履修届締切日	
	5月中旬	定期健康診断	
	5月29日(火)~6月7日(木)	履修確認期間	
	6月18日(月)~6月19日(火)	} 半期制科目中間試験期間	
	6月21日(木)~6月22日(金)		
期	7月7日(土)	創立記念日	
	7月10日(火)~7月19日(木)	履修科目取消期間(通年及び前期開講科目)	
	7月17日(火)~7月22日(日)	夏季集中講義	
	7月17日(火)~8月29日(水)	夏季休業	
	9月14日(金)	前期授業終了	
	9月17日(月)~9月29日(土)	前期定期試験	
	後	10月1日(月)	後期授業開始
		11月10日(土)	研究指導オリエンテーション
		11月12日(月)~11月30日(金)	研究指導募集選考期間
		11月24日(土)	第1回学科・課程所属オリエンテーション
11月26日(月)~11月27日(火)		} 半期制科目中間試験期間	
11月29日(木)~11月30日(金)			
12月3日(月)		研究指導内定者発表	
12月10日(月)~12月19日(水)		履修科目取消期間(後期開講科目)	
12月17日(月)~12月22日(土)		冬季集中講義	
12月16日(日)~1月15日(火)		冬季休業	
期	1月31日(木)	卒業論文提出締切日	
	2月1日(金)	第2回学科・課程所属オリエンテーション	
	2月1日(金)~2月7日(木)	学科・課程所属募集期間	
	2月16日(土)	後期授業終了	
	2月18日(月)~3月2日(土)	後期定期試験	
	3月15日(金)	卒業判定会議(予定)	
	3月20日(水)	卒業式	

目 次

I 平成2年度開講科目..... 1

II 卒業に必要な単位一覧表..... 3

III 科目履修と単位修得..... 4

1 一般教育科目の履修方法..... 4

2 外国語科目の履修方法..... 4

3 保健体育科目の履修方法..... 10

4 基礎教育科目の履修方法..... 10

5 専門教育科目の履修方法..... 10

6 教職科目の履修方法..... 10

7 単位の互換制度..... 14

8 平成元年度以前入学者の履修上の注意事項..... 15

9 進級に必要な単位..... 16

IV 科目試験受験に際しての注意事項..... 17

V 卒業論文執筆要領..... 18

VI 平成2年度開講科目の講義要目..... 23

VII 一般教育セミナーの講義要目..... 118

I 平成2年度開講科目

〔一般教育科目等〕

区分	授業科目	単位数	必修科目	配当年次	実施時期	担当教官	備考
一般教育科目	人文科学系	哲学	4		I 通年	渡辺(祐)	25
	倫理学	4		II 通年	渡辺(祐)	25	
	心理学	4		I 後期	和田(完)	25	
	歴史学	4		I 通年	荻野	25 A・B2クラス	
	日本文学	4		I 通年	村山	26 A・B2クラス	
	外国文学系	英文学	4				非開講
	ドイツ文学	4		I 通年	中川(勇)	27	
	フランス文学						非開講
	中国文学						非開講
	ロシア文学			I 通年	松本(忠)	27	
	社会科学系	*社会科学特別講義I	2		I・II 夏季集中	猪木	28
	*社会科学特別講義II	2					非開講
	社会学	4		I・II 通年	宝福	28	
	社会思想史	4		I 通年	倉田	28 A・B2クラス	
教育学	4					非開講	
政治学	4		I・II 通年	坪井	29		
自然科学系	物理学	4		I 通年	原田	29	
自然科学概論	4					非開講	
化学	4		I 通年	片岡	29		
生物学	4		I 通年	山田(家)	29 A・B2クラス		
外国語科目	英語	英語I (I-A)	2	◎	I 通年	P.5別表参照	30
	英語I (I-B)	2	◎	I 通年			
	英語II (講読)	2	◎	II 通年	P.5別表参照	36	
	(会話・作文)	2		II 通年			
	英語III (講読)	2	◎	III 通年	P.5別表参照	40	
	英語以外の外国語	ドイツ語	I 4	○	I 通年	P.6別表参照	43
		II 4		II 通年			
		フランス語	I 4	○	I 通年	江口・高橋・梶野 デュボワ	47
		II 4		II 通年			
	中国語	I 4	○	I 通年	木之内・邢	48	
II 4		II 通年					
スペイン語	I 4	○	I 通年	山田(真)	49		
II 4		II 通年					
ロシア語	I 4	○	I 通年	松本(忠)	50		
	II 4		II 通年				
保健体育科目	体育講義	2		II 前・後	浅沼	51	前期・後期のいずれかを履修
	体育実技	2	◎	I 通年	藤江・田野・花輪	52	前期・後期のいずれかを履修
基礎教育科目	経済学概論	4		I 通年	A鶴沢B佐竹・今	54	経済学系 昭和60年度以降入学者は必修
	商学概論	4		I 通年	片桐・篠崎・中	55	
	法学概論	4		I 通年	結城・川嶋	56	
	管理科学概論	4		I 通年	沼田	56	
	数学	4		I 通年	白川・兼岩	57	

- (注) 1. 授業科目名の前に*印が付いている科目は、平成元年度以前入学者が当該科目を修得した場合、科目名を読み替えることになるので、15頁の注意事項を参照すること。
2. 商業教員養成課程所属学生は法学概論(日本国憲法2単位を含む)が必修となる。必修科目欄の◎は必修科目、○は選択必修科目を示す。
3. 担当教官欄の数字は講義要目記載ページを示す。

【教職科目】

区分	授業科目	単位数	所属別必修科目			配当年次	実施時期	担当教官	備考
			平成2年度入学者	平成元年度以前入学者	科目				
			E	C	L	M	K		
専門職に関する科目	教育心理学	4	○	○		○	91	非開講	
	教育心理演習	2	○	○		○	91	非開講	
	商業教育法	4	○	○		○	92		
	英語教育の研究	2	○	○		○	92		
	道徳実践論 I	2	○	○		○		非開講	
	教育実践論 II	2	○	○		○		非開講	
	教育実習	4	○	○		○		非開講	
	教育史	4	○	○		○		非開講	
	職業指導論	4	○	○		○		非開講	
	言語概論	4						非開講	
	英語概論 I	4						非開講	
	英語概論 II	4						非開講	
	英語概論 III	4						非開講	
	英語概論 IV	4						非開講	
英語概論 V	4						非開講		
英語概論 VI	4						非開講		
英語概論 VII	4						非開講		
英語概論 VIII	4						非開講		
英語概論 IX	4						非開講		
英語概論 X	4						非開講		
英語概論 XI	4						非開講		
英語概論 XII	4						非開講		
英語概論 XIII	4						非開講		
英語概論 XIV	4						非開講		
英語概論 XV	4						非開講		
英語概論 XVI	4						非開講		
英語概論 XVII	4						非開講		
英語概論 XVIII	4						非開講		
英語概論 XIX	4						非開講		
英語概論 XX	4						非開講		
比較文化	12						116		
研究指導		12					117		

(注) 1. 授業科目名の前に*印が付いている科目は、平成元年度以前入学者が当該科目を修得した場合、科目名を読み替えること
 2. 所属別必修科目欄の○は必修科目、△は他学科選択必修科目、○は所属学科選択必修科目、△は他学科選択必修科目。
 Eは経済学科、Cは商業学科商学コース、Lは商業学科経営学コース、Mは管理科学科、Kは商業教員養成課程を示す。
 3. 担当教官欄の数字は講義要目記載ページを示す。

II 卒業に必要な単位一覧表

〔一般教育科目等〕

区分	昭和60年度以降入学者		昭和59年度以前入学者		
	単位数	備考	単位数	備考	
一般教育科目	人文科学系	4以上	1科目以上	4以上	1科目以上
	社会科学系	4以上	1科目以上	4以上	1科目以上
	自然科学系	4以上	1科目以上	4以上	1科目以上
	計	24	6科目以上	28	7科目以上
外国語科目	18	英語(I・II・III)必修 英語以外の外国語(5科目)のうちいずれか1科目選択必修	18	英語(I・II・III)必修 英語以外の外国語(5科目)のうちいずれか1科目選択必修	
保健体育科目	4	体育講義・実技共必修	4	体育講義・実技共必修	
基礎教育科目	12	*必修科目を含め3科目以上	8	2科目以上	
合計	58		58		

(注) 1. 一般教育科目(人文科学系)のうち、外国文学の単位については、そのいずれか1科目のみを卒業所要単位に算入する。
 2. *印を記してある必修科目については、平成2年度開講科目表の備考欄を参照すること。

〔専門教育科目等〕

所属	経済学科、商業学科(商学コース・経営法学コース)、管理科学科		商業教員養成課程	
	単位数	備考	平成2年度入学者	平成元年度以前入学者
区分	単位数	備考	単位数	備考
所属学科(コース)・課程科目	40	所属学科(コース) *選択必修4科目	41	*選択必修6科目 (24単位)
他学科(コース)科目	24	他学科(コース) 選択必修2科目 *管理科学科所属の場合は1科目		44 *選択必修6科目 (24単位)
教職科目			23	*必修8科目
研究指導	12	原則として所属学科(コース)から履修履修しない者は所属学科(コース)科目12単位を充足履修	12	教職以外の研究指導全て履修可能履修しない者は全ての専門教育科目から12単位を充足履修
合計	76		76	76

(注) 1. 教科に関する専門教育科目(英語科)の研究指導の履修は、商業教員養成課程に所属する学生で英語の教育職員免許状を取得しようとする者に限る。
 2. *印を記してある必修、選択必修科目については、平成2年度開講科目表の所属別必修科目欄を参照すること。

III 科目履修と単位修得

本学の全課程を修了するためには、4年間以上在学し、次の事項に示された科目を履修し、単位を修得することによって全課程修了が認定され、卒業資格が与えられます。

卒業所要単位数は134単位となっており、その履修方法については授業科目区分、学科毎に定められていますが、各入学年度及び各自が所属している学科(コース)・課程によって異なりますので十分注意を要します。

本学の教育課程は、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目、基礎教育科目、専門教育科目及び教職科目の区分で構成されていますので、それぞれの履修方法に従って履修計画を立てて下さい。

1. 一般教育科目の履修方法

一般教育科目は、人文、社会、自然科学の三分野に分かれており、これらの科目はそれぞれの配当基準年次に沿って履修すればよいことになっている。

また、当該年次に修得しておかないと、翌年以降に履修を希望しても、専門教育科目と時間が重なったりして履修のできない場合が起こるので、配当年次どおり履修することが望ましい。

卒業要件は各分野から最低1科目4単位を含め合計24単位を修得しなければならない。ただし、昭和59年度以前入学者については合計28単位の修得を要する。

2. 外国語科目の履修方法

外国語科目は、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語及びロシア語の6カ国語を開設している。

外国語の授業は、教室内における2時間の講義に対し、教室外における1時間の学習を必要とするものとし、毎週2時間通年30週の講義をもって2単位とする。(学則第12条の2参照)

英語(I・II・III)はI・IIとも毎週4時間4単位ずつ、IIIは毎週2時間2単位、合計10単位が必修となる。

英語以外の外国語(I・II)はいずれか1カ国語を選択必修とし、I・IIとも毎週4時間4単位ずつ、合計8単位を修得しなければならない。

★ 英語

- 平成2年度の英語クラス配置および教科の種別は別表のとおりである。
- 別表のうち、Eではじまる3ケタの数字はクラス別をあらわす記号である。3ケタ目の1, 2, 3は履修基準年次で、2ケタ目は教科の種別を示している。0, 1は文学作品の講読、2, 3は評論、伝記、語学書等の文学作品以外の講読で、4, 5は会話作文等、6は文法である。1ケタ目の0, 1, 2……はクラス別を示す。
- 基準年次に配当されているクラスの選択は自由である。しかし、英語Iは別表A群より

2単位、B群より2単位、合計4単位を選択履修し、英語IIは講読2単位と他クラスの講読か会話・作文等のうちいずれか2単位合計4単位、英語IIIは講読2単位を選択履修すること。

なお、同一年次配当の同一教官担当のクラスを2つ履修することは出来ない。

- 履修する学生は講義要目をよく読み、最初の授業に出席した上で自主的にクラスを選択すること。
- 履修登録の手続きは、希望するクラス名をカードに書き込み、学生課教務係の窓口へ提出すること。詳細については別途指示する(学生課の掲示に注意)。なお、当然のことながら、学生部長へ提出する「履修届」には、この登録の結果を記入すること。

別表

平成2年度英語クラス

英語 I - A 群			英語 II			英語 III		
講読 及 び 文 法	文学 作品	E 101 永原 E 102 豊国 E 103 豊国 E 104 杉村 E 105 杉村 E 106 { 前期:永原 後期:片山	講 学 作 品	E 201 永原 E 202 豊国 E 203 豊国 E 204 伊藤 E 205 本城 E 206 本城 E 207 西村 E 208 西村 E 209 宮町 E 210 宮町	講 学 作 品	E 301 永原 E 302 豊国 E 303 杉村 E 304 片山 E 305 伊藤 E 306 横尾		
		E 121 下村 E 122 山本(久) E 123 { 前期:津曲 後期:下村 E 124 津曲 E 125 大島		評 論 ・ 伝 記 ・ 語 学 書 等		E 221 下村 E 222 山本(久) E 223 津曲 E 224 津曲 E 225 浪田 E 226 高橋(英) E 227 鈴木 E 228 鈴木 E 229 根本 E 230 下宮	評 論 ・ 伝 記 ・ 語 学 書 等	E 321 下村 E 322 津曲 E 323 菊池 E 324 浪田 E 325 高橋(英)
英語 I - B 群								
講 読	文 学 評 論 等	E 107 横尾 E 126 根本 E 127 下宮	講 学 作 品	評 論 ・ 伝 記 ・ 語 学 書 等	講 学 作 品	評 論 ・ 伝 記 ・ 語 学 書 等	講 学 作 品	評 論 ・ 伝 記 ・ 語 学 書 等
		E 141 Carr E 142 Carr E 143 Carr E 144 Carr E 145 Hanley E 146 Hanley E 147 Toskar E 148 Toskar E 149 Grose E 150 Grose E 151 Grose						
文 法		E 161 山本(久)						

〔英語共通試験実施要領〕

英語 I—A 群クラスの履修と単位認定について

- (1) 英語 I は A 群から 1 クラス 2 単位, B 群から 1 クラス 2 単位, 合計 2 クラス 4 単位を選択履修すること。
- (2) 英語 I—A 群クラスの履修者には課外テキストを指定し, 年 2 回共通試験を行う。
- (3) 共通試験は前期及び後期の各定期試験期間中に行う。前期及び後期の共通試験は両方とも受験しなければならない。
- (4) 英語 I—A 群の各クラスの単位は, クラスの成績と共通試験の成績とにより, クラス担当教官が認定する。
- (5) 課外テキスト

吉川 美夫著『考える英文法』文建書房

- (6) 平成元年度以前入学生のうち, 英語 I の単位未修得者の履修方法は平成 2 年度生の履修方法に準ずる。なお, 英語 I の単位未修得者は, I—A 群のクラスにかえて E 161 を選択することができる。ただし, I—A 群のクラスを選択する場合は, 必ず共通試験を受験しなければならない。

★ ドイツ語

1. クラス編成と授業担当者

	ドイツ語 I			ドイツ語 II		
火	I A	寺	田	II A	寺	田
	I B	加	納	II B	大	塚
	I C	中	川(勇)	II C	加	納
	I D	橋	本	II D	橋	本
	I E	大	塚	II E	中	川(勇)
木	I A	バ	イ	II A	バ	イ
	I B	寺	ル	II B	吉	岡
	I C	吉	岡	II C	寺	田
	I D	神	竹	II D	大	塚
	I E	大	塚	II E	神	竹

2. クラス説明

(1) ドイツ語 I

- (a) I A は, 火曜日には日本人教師による文法の授業 (木曜日のドイツ人の講師による授業をある程度踏まえる) を, 木曜日にはドイツ人講師による会話主導の授業を行う。
- (b) I B・C・D・E は, 火曜日には易しい講読 (主として文法知識の応用的訓練) の授業

を, 木曜日には文法の授業を行う。

(2) ドイツ語 II

- (a) II A は, 火曜日には日本人教師による文法主導の授業 (内容は前年度の続き) を, 木曜日にはドイツ人講師による会話 (火曜日の日本人教師による授業に基づく) を行う。
- (b) II B・C・D・E は, 火曜, 木曜とも講読を行う (ただし応用的訓練を主とすることもある)。いずれも日本人教師が担当する。

3. 履修方法

- (1) 各履修者は, A・B・C・D・E のうちいずれか一つのクラスに所属し, そのクラスの授業に週 2 回出席しなければならない。(一人が二つのクラスに所属していた四年前までのやり方を止めたので, 61 年度以前入学者は注意すること)
- (2) ドイツ語 I・II とも, A クラスには希望者のみ所属でき, それ以外のクラスは所属指定制である。なお, クラスの所属は 4 による。
- (3) I A・II A とも履修者数を教室の都合上 30 名までとする。これを越えた場合には抽選によって履修者を決定する。なお, どちらも特別の履修届を必要とする。これについては授業で説明する。
- (4) II A の履修は, 原則としてすでに I A を修得済の者に限られる。ただし, ドイツ語 I で優の成績を収めた者については, クラスの人数に余裕がある場合のみ例外として履修を許可する。
- (5) I A・II A の同時履修は許されない。その他のクラスについても I・II の同時履修は出来るだけ避けること。それが止むを得ぬ場合にも, I が不合格であれば II も不合格となるので厳に注意すること。

4. クラス所属

学生番号に従って下表のようなクラス配属となる。この要領は全学年共通である。

	ドイツ語 I	ドイツ語 II
A クラス	希望者	希望者
B クラス	1 番 ~ 106 番	1 番 ~ 112 番
C クラス	107 番 ~ 212 番	113 番 ~ 224 番
D クラス	213 番 ~ 318 番	225 番 ~ 336 番
E クラス	319 番 ~ 最終番	337 番 ~ 最終番

5. 注意事項

- (1) 授業出席を重視する。各学期 1/3 以上欠席したものには, 原則として各定期試験の受験資格を与えない。

- (2) ドイツ語 I のオリエンテーションを 4 月 19 日(木) 9 時 30 分より 210 番教室において行うので、ドイツ語 I 履修希望者は必ず出席すること。
- (3) 辞書の紹介は、オリエンテーションで行う。
- (4) 所属クラスの教科書は、最初の授業までに本学生協で必ず購入しておくこと。すぐに品切れになることが多いので早目に購入すること。
- (5) ドイツ語およびドイツ語の授業に関する質問や要望があれば、遠慮なく本学専任のドイツ語教官の研究室を訪ねること。

★ フランス語

フランス語の授業は下記のクラス編成で行われる。

	フランス語 I		フランス語 II	
火	IA	江口	IIA	高橋
	IB	高橋	IIB	江口
	IC	デュボワ	IIC	デュボワ
木	IA	梶野	IIA	梶野
	IB	江口	IIB	高橋
	IC	高橋	IIC	江口

注意

- (1) フランス語 II のクラス編成は前年度履修したフランス語 I に同じ。
- (2) C は会話を中心とした少人数編成(定員 25 名前後)のクラスで、自由選択制であるが、授業内容はハードであるから、よく考えて選ぶこと。
希望者多数の場合には抽選により決定する。
- (3) フランス語 I A・I B は学生番号順にクラス分けを行う。所属クラスは追って指示する。
- (4) 再履修者は過去履修したものと同一のクラスに所属すること。ただし、I C の再履修は認めない。
- (5) 1 年次生は、後日指定する日時に行うオリエンテーションに必ず出席すること。

★ 中国語

	中国語 I		中国語 II	
火	A	木之内 『例文中心初級中国語』	A	木之内 『最近中国事情』
	B	邢 『こんにちは中国語』	B	邢 『愉快的北京旅游 —北京への旅』
木	A	邢 『こんにちは中国語』	A	邢 『愉快的北京旅游 —北京への旅』
	B	木之内 『例文中心初級中国語』	B	木之内 『最近中国事情』

注意

- (1) 中国語 II のクラス編成は前年度履修した中国語 I に同じ。
- (2) 中国語 I A・I B は、学生番号順によるクラス分けを行う。所属クラスは追って指示する。
- (3) 過年度生の所属クラスについては、授業開始時に別に指示する。
- (4) 一年次生は、4 月最初の授業に必ず出席して、必要な指示を受けること。

★ スペイン語

★ ロシア語

この 2 科目についてはクラス編成をとらない。

3. 保健体育科目の履修方法

保健体育科目の実技2単位については、1年次毎週2時間(2単位の $\frac{2}{3}$)、2年次前期または後期に毎週2時間(2単位の $\frac{1}{3}$)の計2単位、講義については、2年次前期または後期に毎週2時間2単位がそれぞれ必修である。

4. 基礎教育科目の履修方法

基礎教育科目は、専門の基礎を与えることを目標として開設しているが、専門教育の単なる前段的なものではなく、広義の基礎を与えると同時に、一般教育の充実と統合を図るねらいをもって開設されている。

このため、学科で必修と指定した科目(昭和60年度以降入学者が該当)以外の履修も重要である。

5. 専門教育科目の履修方法

専門教育科目は各学科・課程で指定した選択必修科目(商業教員養成課程は教職科目の必修を含め)のほか研究指導を含め、合計76単位を修得しなければならない。

研究指導は、毎週3時間、3年次から2カ年継続授業で12単位(卒業論文を含む)であり原則として、所属する学科(コース)・課程の研究指導を履修するものとする。なお、昭和59年度実質3年次生からは、英語の教育職員免許状を取得しようとする者に限り、教科に関する専門教育科目(英語科)の研究指導を履修することができる(詳細については別表(II)を参照のこと)。

研究指導を履修しない学生(いわゆるノンゼミと称する学生)は研究指導分の12単位をそれぞれ所属する学科(コース)・課程の専門教育科目の履修によって充足しなければならない。

6. 教職科目の履修方法

教職科目は、教員免許状取得のために開設されており、商業教員養成課程に所属する学生は「教職に関する専門教育科目」^(注)23単位が卒業所要単位に算入され、他に指定された専門教育科目を併せて修得することにより、高等学校教諭一種免許状(商業)の取得資格が与えられる。(注)平成元年度以前入学者は20単位。

なお、別表(II)による教科に関する専門教育科目の単位数と、教職に関する専門教育科目のうち「英語科教育法」を修得すれば高等学校教諭一種免許状(英語)も併せて取得することができる。

商業教員養成課程以外の学科に所属する学生で上記免許状の取得を希望する者は、別表(I)(II)の単位をそれぞれの学科の卒業所要単位のほかに修得しなければならない。

また、別表(II)で指定した科目のほか「道德教育の研究」2単位を修得することにより、管理科学科所属の学生を除いて中学校教諭一種免許状(英語)をも取得できる。

(I) 高等学校教諭一種免許状(商業)取得希望者の単位修得方法

(商業教員養成課程所属以外の学生)

入学年度 区分	平成2年度		平成元年度以前	
	単位数	必修科目 選択科目	単位数	必修科目 選択科目
基礎教育科目	4	法学概論(日本国憲法2単位を含む)	4	法学概論(日本国憲法2単位を含む)
教職に関する専門教育科目	19	教育原理4 教育心理学4 教職演習2 商業科教育法2 教育実践論I 2 教育実践論II 2 教育実習3	16	教育原理4 教育心理学4 商業科教育法2 教育実習2 教育史4
教科に関する専門教育科目	20	職業指導4	20	職業指導4
合計	43		40	
備考 基礎教育科目の法学概論及び教科に関する専門教育科目の選択科目については、それぞれの学科の卒業所要単位と併用できる。				

(II) 高等学校教諭一種免許状(英語)取得希望者の単位修得方法

イ 平成2年度入学者

区分	単位数	必修科目	選択必修科目
基礎教育科目	4	法学概論(日本国憲法2単位を含む)	
教職に関する専門教育科目	21	教育の本質及び目標に関する科目	教育原理 4
		教育に係る社会的、制度的又は経営的な事項に関する科目	教育心理学 4
		幼児、児童又は生徒の心身の発達及び学習の課程に関する科目	教職演習 2
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)に関する科目	英語科教育法 4 教科教育法に関する科目 6
		特別活動に関する科目	教育実践論Ⅱ 2
		生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目	教育実践論Ⅰ 2
		教育実習	教育実習 3
教科に関する専門教育科目	40	英語学関係	英語学概論 4 英語学Ⅰ 4 英語学Ⅲ 4
		英米文学関係	英文学史 4 英文学概論 4 英文学Ⅰ 4 英文学Ⅱ 4 英文学Ⅲ 4
		英語コミュニケーション	英会話・英作文 4 英語コミュニケーション 2
		比較文化(外国事情を含む。)	比較文化 2
			商業英語 4 研究指導 12
合計	65		

備考
 1. それぞれ所属する学科の卒業所要単位のほかに上記単位数を修得しなければならない。ただし、基礎教育科目の法学概論は卒業所要単位と併用できる。
 2. 「商業英語」は「英語学Ⅲ」と読み替えることができる。
 3. 「研究指導」は商業教員養成課程に所属する学生のみ履修することができ、修得単位は英語学又は英米文学の単位として換算できる。
 4. 教職に関する専門教育科目のうち「教育原理」、「教育心理学」、「教職演習」、「教育実践論Ⅰ・Ⅱ」、「教育実習」は(Ⅰ)、(Ⅱ)表両方の場合に併用できる。

ロ 平成元年度以前入学者

区分	単位数	必修科目	選択必修科目
基礎教育科目	4	法学概論(日本国憲法2単位を含む)	
教職に関する専門教育科目	14(17)	教育原理 4 教育心理学 4 英語科教育法 4 教育実習(教育史) 2(4)	
教科に関する専門教育科目	32	英語学関係	☆英語学概論 4 ☆言語学概論 4 英語学演習Ⅰ 4 英語学演習Ⅱ 4
		英文学関係	☆英文学史 4 ☆英文学概論 4 英文学演習Ⅰ 4 英文学演習Ⅱ 4
		英会話・英作文	商業英語 4 研究指導 12
合計	50(53)		

備考
 1. それぞれ所属する学科の卒業所要単位のほかに上記単位数を修得しなければならない。ただし、基礎教育科目の法学概論は卒業所要単位と併用できる。
 2. 商業教員養成課程以外の学生で、昭和61年度以前において「英語科教育法」を3単位で修得済の者は「教育史」の修得も必要となり、教職に関する専門教育科目は17単位になる。
 3. 選択必修科目のうち☆印は各領域から一科目必修。
 4. 「商業英語」は「英会話・英作文」又は演習科目と読み替えることができる。
 5. 「研究指導」は商業教員養成課程に所属する学生のみ履修することができ、修得単位は英語学又は英文学の単位として換算できる。
 6. 教職に関する専門教育科目のうち「教育原理」、「教育心理学」、「教育実習」、「教育史」は、(Ⅰ)、(Ⅱ)表両方に場合に併用できる。

教職関係科目開講予定

次のとおり開講するので、履修計画においては充分注意すること。

科目名	平成2年度	平成3年度
教育原理	○	×
教育心理学	×	○
教職演習	×	×
商業科教育法	○	×
英語科教育法	○	×
教育実践論Ⅱ	×	×
教育実践論Ⅰ	×	×
道徳教育の研究	○	×
教育史	○	○
職業指導	○	○

○印=開講, ×印=非開講

7. 単位の互換制度

北海道大学経済学部で下記の授業科目を履修することが認められる。この場合の身分は北海道大学の特別聴講学生となる。

- (1) 聴講出願対象者
学則に関する細則 1. 科目履修細則第 5 条に規定する〔1, 2 年次配当科目 55 単位以上〕を修得した平成 2 年 4 月現在の 4 年次生。
- (2) 聴講科目

授 業 科 目	単 位	担 当 教 官	開 講 時 期
ア ジ ア 経 済 史	4	宮 本	前 期
計 画 シ ス テ ム 論	2	望 月	前 期
ソ 連 ・ 東 欧 経 済 論 (経 営 論)	2	田 畑	後 期

① 「アジア経済史」、「計画システム論」は本学の経済学科の専門科目、「ソ連・東欧経済論（経営論）」は本学の商業学科商学コースの専門教育科目として扱い、卒業所要単位に算入する。

② 1 科目につき、20 名が限度。

(3) 聴講期間
聴講科目の開講時期で前期とあるのは、平成 2 年 4 月～9 月、後期とあるのは、平成 2 年 10 月～平成 3 年 3 月である。

(4) 授業料 不要

科目名	単 位	履 修 可 否	履 修 可 否	履 修 可 否	履 修 可 否	履 修 可 否	履 修 可 否
ア ジ ア 経 済 史	4	○	○	○	○	○	○
計 画 シ ス テ ム 論	2	○	○	○	○	○	○
ソ 連 ・ 東 欧 経 済 論 (経 営 論)	2	○	○	○	○	○	○
銀行論	2	○	○	○	○	○	○
金融政策	2	○	○	○	○	○	○
国際法	2	○	○	○	○	○	○
国際法 I	2	○	○	○	○	○	○
国際法 II	2	○	○	○	○	○	○
国際資源論	2	○	○	○	○	○	○
経済変動論	2	○	○	○	○	○	○
経済原論 II	2	○	○	○	○	○	○
経済原論 III	2	○	○	○	○	○	○
管理会計	2	○	○	○	○	○	○
管理会計論	2	○	○	○	○	○	○
原価計算	2	○	○	○	○	○	○
原価計算論	2	○	○	○	○	○	○
経営分析	2	○	○	○	○	○	○
経営分析論	2	○	○	○	○	○	○
外国語特殊講義	2	○	○	○	○	○	○
外国人特殊講義	2	○	○	○	○	○	○
事務機械化	2	○	○	○	○	○	○
経営情報論	2	○	○	○	○	○	○
機械化会計	2	○	○	○	○	○	○
会計情報論	2	○	○	○	○	○	○
応用数学特講 I	2	○	○	○	○	○	○
応用数学特講 II	2	○	○	○	○	○	○
計算機論 I	2	○	○	○	○	○	○
情報処理 I	2	○	○	○	○	○	○
情報処理 II	2	○	○	○	○	○	○
計算機論 II	2	○	○	○	○	○	○
情報処理 III	2	○	○	○	○	○	○
社会科学概論	2	○	○	○	○	○	○
社会科学特別講義 I	2	○	○	○	○	○	○
社会科学特別講義 II	2	○	○	○	○	○	○
工業経済学	2	○	○	○	○	○	○
産業経済論	2	○	○	○	○	○	○
国際法 I	2	○	○	○	○	○	○
国際法	2	○	○	○	○	○	○
国際法 II	2	○	○	○	○	○	○
比較法	2	○	○	○	○	○	○
英語学演習 I	2	○	○	○	○	○	○
英語学 I	2	○	○	○	○	○	○
英語学演習 II	2	○	○	○	○	○	○
英語学 II	2	○	○	○	○	○	○
英文学演習 I	2	○	○	○	○	○	○
英文学 I	2	○	○	○	○	○	○
英文学演習 II	2	○	○	○	○	○	○
英文学 II	2	○	○	○	○	○	○

8. 平成元年度以前入学者の履修上の注意事項

- (1) 次表の適用入学年度生において B 欄に掲げている授業科目を履修し、単位を修得した場合は、A 欄に掲げている授業科目の単位を修得したことになります。
- (2) 次表の A 欄に掲げている授業科目の単位をすでに修得済の者は、B 欄に掲げている授業科目を履修することはできません。
- (3) 昭和 58 年度以前入学者において、平成元年度までに国際法 I・国際法 II を、また、平成 2 年度以降において国際法・比較法を履修し、単位を修得した場合は、それぞれ国際法・国際資源論として修得したことになります。

なお、平成元年度までに国際法 I または国際法 II によって単位を修得した場合は、新たに国際法・比較法を履修することはできません。

適用入学年度	授 業 科 目	
	A 欄	B 欄
昭和 58 年度以前	銀行論	金融政策
	国際法	国際法 I
	国際資源論	国際法 II
昭和 59 年度以前	経済変動論	経済原論 II
	経済原論 II	経済原論 III
	管理会計	管理会計論
	原価計算	原価計算論
	経営分析	経営分析論
	外国語特殊講義	外国人特殊講義
	事務機械化	経営情報論
	機械化会計	会計情報論
	応用数学特講 I	応用数学特講 II
	計算機論 I	情報処理 I
	情報処理 II	情報処理 II
平成元年度以前	計算機論 II	情報処理 III
	社会科学概論	社会科学特別講義 I
		社会科学特別講義 II
	工業経済学	産業経済論
	国際法 I	国際法
	国際法 II	比較法
	英語学演習 I	英語学 I
	英語学演習 II	英語学 II
英文学演習 I	英文学 I	
英文学演習 II	英文学 II	

9. 進級に必要な単位

(1) 1年次 → 2年次 16単位

1年次終了までに、卒業所要単位数に算入される1年次配当科目のうちから16単位以上を修得していない場合は、

- (ア) 2年次配当科目の履修はできない。
- (イ) 学科または課程に所属することができない。
- (ウ) 卒業が1年以上延期される。
- (エ) 在学期間3年を経過しても修得できない場合は除籍になる。

(2) 2年次 → 3年次 55単位

2年次終了までに、卒業所要単位数に算入される1・2年次配当科目のうちから55単位以上を修得していない場合は、

- (ア) 3・4年次配当科目の履修はできない。
- (イ) 研究指導に所属することができない。
- (ウ) 卒業が1年以上延期される。
- (エ) 在学期間4年を経過しても修得できない場合は除籍になる。

この55単位の算入については次表のとおりなので、履修上注意すること。

科目	年度	昭和59年度生以前	昭和60年度生以降
一般教育科目		28単位まで算入	24単位まで算入
外国語科目		16単位 "	16単位 "
保健体育科目(実技・講義)		4単位 "	4単位 "
基礎教育科目		8単位 "	12単位 "
専門教育科目		2年次配当科目	2年次配当科目

ただし、専門教育科目については所属学科以外の科目について28単位まで算入、また、商業教員養成課程については専門教育科目の外に教職科目も算入する。

IV 科目試験の受験に際しての注意事項

定期試験(前期、後期、半期制科目中間試験)およびこれに準ずる試験を受ける場合、次の注意事項を厳守して、不利益にならないよう十分留意してください。

1. 指定された席に着席すること。(試験開始5分前には着席していること)
随時行う試験では席を指定しないこともある。
2. 身分証明書の携帯がなければ受験できない。(座席の受験番号横におくこと)
3. 試験時刻に遅れた者は原則として受験できない。ただし、20分以内の遅刻者は、事情により監督者の許可を受けて受験できる場合もある。
4. 試験開始20分以内は退場できない。
5. 試験終了前10分以後は退場できない。
6. 教科書、参考書、ノートなどの不要の所持品は鞆等に納め、これらをむき出しのまま机の中に入れてはいけないこと。
7. 教科書、参考書、ノートなどの参照を許された試験においては、それらの貸借をしてはならない。受験生の間で、貸借のあった場合は、それを不正行為とみなす。
8. 試験において、私語、その他不正行為の疑惑を招くような行為のないよう特に留意すること。
9. 試験中の不正行為については、学則に照し厳重に処分されるから厳正な態度で受験すること。さらに、不正行為を行った者に対しては、その学期に履修した科目の総ての単位が認定されない。したがって、在学期間が1年以上延期することになる。
10. 配付された答案用紙は必ず提出し、これを持ち帰ってはならない。
11. その他試験場内において監督者の指示に従わない場合は退場させる。

V 卒業論文執筆要領

卒業論文の形式について一般的な原則をのべるが、専攻分野ごとに、用語・文献の引用方式・記号の利用などに差があるので、指導教官の指示に従うこと。

1. 用紙など

和文で執筆する場合には、所定の原稿用紙を使用し、黒またはブルー・ブラックのインクを用いる。油性インクのボールペンは避けた方がよい。文字は楷書とし、誤字・脱字に注意する。多色にする必要がある場合にも一定の方針をたてて統一し、さらに、必要最低限の多色化にとどめること。なお、ワード・プロセッサで作成する場合の用紙の規格、体裁及び1ページの文字数等については、指導教官の指示に従うこと。欧文で執筆する場合には、通常サイズの白地のタイプライター用紙にタイプ印刷する（いわゆるオニオンスキンは使用しない）。

2. 提出期限など

今年度は、1月31日(木)17時(時間厳守)なので十分留意すること。仮り綴じのうえ、附属図書館で図書返却の確認を受けたのち、製本料を添えて教務係に提出する。仮り綴じのためには、教務係のドリルを使用してもよい。製本料は確定次第掲示で通知する。

表紙のみ、あるいは目次程度、または序章程度といった論文とは認めがたい卒業論文は受理しない。

3. 表紙および裏表紙

表紙と裏表紙は本文と同一の用紙を用いる。表紙には論文のタイトル、学生番号、氏名、ゼミナール名、および提出年度(平成2年度提出)を記し、裏表紙に図書館の返却済確認印を受ける。タイトル等は原簿に記入され、成績証明書、図書館の目録カード、製本後の背表紙の書きこみ等の場合に必要になるので、正確に書くこと。なお、副題をつける場合には、その左右を棒線ではさむ。

4. 「はしがき」と「目次」

「はしがき」(「まえがき」「序」)にはテーマを選択した動機などを書く。なお、指導や助言を受けた人達、調査等に協力した人達に対する謝辞もここに書く。ただし、「はしがき」は省略してもよい。「はしがき」と「あとがき」の両方を書くことは、卒業論文の場合、概して不適當である。

「目次」は「表紙」または「はしがき」の次の用紙に書く。必要に応じて、「表目次」、「図目次」を別につけ加えてもよい。

5. 本文

- (1) 文体は「……である」の形とし、なるべく簡潔な文章とする。
- (2) 新しい章は新しいページから始める。
- (3) 章題と文章、あるいは、章題と節題の間は1行あける。
- (4) 章(節)の番号と章(節)題の間は1マスあける。
- (5) 各節の間は2行あける。
- (6) 新しいパラグラフの始めは1マスあける。
- (7) 句読点などは1字とする。ただし、行末の句読点は「ブラサゲ」として、マスの欄外に書き、次行のはじめにはもっていかない。
- (8) 欧字と算用数字は、原則として2字で1マスとする。
- (9) 欧文イタリック文字は、単語の下または文章の下にアンダーラインを引いて示す。

6. 図表

表とグラフは、グラフ用紙や集計表に書いて、原稿用紙の当該箇所にはりつける。場合によっては「別表」として論文の末尾にまとめてよい。原稿用紙と同じサイズになる場合にははりつけずに、そのまま1ページ分として綴じこんでもよい。他の文献等の図表のコピーをそのまま利用することは、特別の場合を除いて、避けるべきである。計算機のプリントアウトは、サイズがあえば、そのまま1ページとしてよい。これらの場合に、製本のときにヘリを数ミリメートル切り落とすことがあるので、上下左右は十分にマージンをとっておくことが必要である。また、図表には出所を明記する。

7. 「注」

指定原稿用紙では「脚注」をつけることができる。しかし、1つの注を3ページ以上に分けることは不適當であるから、長い注については工夫が必要である。注は各章の終りにまとめて書いてもよい。なお、注のなかに注をおいてはいけない。

8. 引用文献、参考文献、および引用について

文献からの引用には必ず「」(欧文引用のときには“ ”)をつけ、その文献を注などで明示する。なお、原典自体のなかに「」(または“ ”)が含まれる場合には、原典中「」(または“ ”)を『』(または‘ ’)に代える。要約して引用するときには、原文の文意を損なわないようにし、更に要約引用の範囲が分るように、出典と引用箇所を(たとえば注を用いて)明示する。「孫引き」は、できるだけ避けて、原典にあたってチェックすべきであるが、やむを得ない場合には再引用であることを明記する。

引用文献、参照文献は注番号を明示したうえで、脚注部分に記載するか、または論文末尾(または各章末尾)に一括して記載する。文献記載の原則は次のとおりである。

和 書

著者名『書名』, 出版社名, 出版年。

または

著者名『書名』(出版社名, 出版年)。

引用ページを明示する場合には, このあとに引用ページを書く。

<例> 小宮隆太郎・天野明弘『国際経済学』, 岩波書店, 1972年, PP, 8-10。
藤瀬浩司『資本主義世界の成立』(ミネルヴァ書房, 1980年), 56頁。

翻訳書の場合にも

<例> J. ブーヴィエ(井上隆一郎訳)『ロスチャイルド』(河出書房新社, 1966年), 第3章。

R.A. Mundell, *International Economics*, New York: Macmillan, 1968,
(渡辺・箱木・井川訳『国際経済学』, ダイアモンド社, 1971年)。

などが通常の形式である。(なお, 以上は文献を引用するときの原則であるから, 提出卒業論文の表紙のタイトル全部を『』でかこんではならない。)

和雑誌のなかの論文(および論文集の中の一つの論文)

著者名「論文名」, 『雑誌名』第△△巻, 第△号(発行年)。

著者名「論文名」, 編者名『書名』出版社名, 出版年。

(または, 著者名「論文名」, 『書名』(編者名)出版社名, 出版年)。

などとする。

<例> 関口尚志「イングランド銀行バーミンガム支店」, 『経済学論集』(東京大学)第47巻第2号, ××頁。
岡田純一「近代経済学とスミス」, 経済学史学会編『国富論の成立』, 岩波書店, 1976年, P. 345。(複数ページの場合, PP. 345~351.)

洋書および洋雑誌のなかの論文

著者名, 書名, 出版地: 出版社, 出版年

著者名, “論文名”, 雑誌名, Vol. 巻数, No. 号数(発行年)

等とする。ただし, 出版地: 出版社を()に入れることもある。また“論文名,” 雑誌名の代りに“論文名”, 雑誌名とすることも多い。著者名は A. Smith とする場合と Smith, A. とする場合の両方があるが, 著者名が2つ以上並ぶ(共著の)場合に, 2人目以後の人名については, A. Smith (または Adam Smith) のようにファースト・ネームを先に書くのが一般である。雑誌の No. 号数はしばしば省略する。また, Vol. および No. の代りに vol. および no. とすることも多い。

これらについては, 標準的な図書および雑誌を参照して, もっとも適当と思われるものを選択したうえで, 統一して使用する。

さらに, *op. cit.*, *loc. cit.*, *ibid.*, (または *ibid.*.) 等もよく利用される辞書などで意味を調べて, 誤用しないことが必要である。

参考文献

米国現代語学文学協会編(原田敬一訳編)『MLA新英語論文の手引』(北星堂書店, 第2版, 1986年)。

トゥラビアン著(高橋作太郎訳)『英語論文の書き方』(研究社出版, 1982年)。

※ この要領をまとめるに当っては, 何人かの教官の御協力をいただいたが, とくに, 『井上ゼミナール用卒業論文執筆要領』と佐竹教官がまとめたメモとを参照した。

注(1) 書名, 雑誌名についているアンダーラインはイタリックを使用せよという指示である。

注(2) *op. cit.*, *loc. cit.*, *ibid.*, は, 引用によってローマン体を使うかイタリック体を使うかによって変わる。

<例> *op. cit.*, (前掲の意味)で前掲が, 論文名であればローマン体, 前掲が書名, 雑誌名であればイタリック体を使用する。

loc. cit., (上記引用文中), *ibid.*, (同上)も同様である。

なお, *ibid.* については, 先頭に来る時は大文字となる。

VI 平成2年度開講科目の講義要目

目 次

1 一般教育科目	25
2 外国語科目	31
3 保健体育科目	51
4 基礎教育科目	54
5 専門教育科目	58
6 教職科目	91
7 研究指導	96

1 一般教育科目

哲 学

教授 渡 辺 祐 邦

現代は、人間は自分の思想をもつことなしには、他人の思想の奴隷となって生きざるを得ない厳しい時代である。そこで本講義においては、いかにしてわれわれがそれぞれ自分の思想を持つことができるようになるかを、講義時に毎回ターム・ペーパーを作成することによって実際に学ぶことにする。ターム・ペーパーはショート・ターム（毎週1篇）とロング・ターム（年2篇）の二種類から成るが、テーマは講義の際その都度テキストの中から指示する。具体的な論文作成法は講義中にお話しするが、最初はテキストの抜書きから始めるので、下記のテキストを各自購入し、毎回かならず持参すること。

テキスト：Th・W・アドルノ『三つのヘーゲル研究』 渡辺祐邦訳、河出書房新社。

倫 理 学

教授 渡 辺 祐 邦

アリストテレスのテキストを読みながら、人間の共同存在の難しさと在るべき姿について考える。今回は『政治学』をテキストとして、これを単にギリシャの古典として訓古学的に読むのではなく、現代における人間の在り方を考える出発点とする。あわせて今日全世界で起こっている出来事の意味を全員で考える。また、独裁制、寡頭制、民主制など現代語にもなっている言葉の真の意味を理解するために、前期のはじめに簡単なギリシャ語文法を学ぶ。

テキスト：ギリシャ語文法のテキストは無料配付するが、辞書に代るものとして下記の教科書を推薦する。アリストテレスの原文テキストは、ギリシャ語の学習が十分であると認められた者にのみ配付する。原文の読解には下記の翻訳が非常に役に立つので、買っておくとい。（講義では、その一部分のコピーのみを配付。）

アリストテレス『政治学』山本光雄訳、岩波文庫

田中美知太郎・松平千秋『ギリシア語入門』岩波全書

心 理 学（後期）

教授 和 田 完

現代心理学の特質を、歴史的な成立の過程を通して検討する。行動主義的な方法の導入、力動的な考え方などが特に強調されよう。また、動機づけ、学習実験、認知、ことに知覚の問題、パーソナリティ論等が話題とされる。

なお、精神病理学、文化人類学等の隣接領域について、しばしば触れるであろう。

テキスト：和田完・馬場雄二著『人間』明玄書房

歴 史 学 A

助教授 荻 野 富士夫

大教室の講義です。

日本の近現代史を、二つの柱を立てながら、一週一テーマを原則に概説します。

前期は女性史。近年の女性史研究の高まりのなかで、女性の生活の実際に光りをあてつつ、その抱える諸問題をみきわめ、さらにそれらの解決のための諸運動が明らかにされてきています。女性にとって近代や現代とはどのような時代だったのか、家制度・職業・性・戦争・教育などの側面から考えてみます。

後期は天皇制。一昨年秋以来の「天皇」をめぐる一連の事態は、今年の秋、一つの頂点的な事態をむかえます。この機会に際し、戦前の絶対主義天皇制、および戦後の象徴天皇制の形成・展開の過程を追ってみます。具体的には、自由民権運動と天皇制、大正デモクラシーと天皇制、高度経済成長と天皇制などのほか、軍隊・警察・教育・文化などの側面からも考えてみます。

講義全体の導入として、小樽や小樽商大の歴史にも触れます。

評価の方法は、①日本近現代史に関する自由研究——400字詰原稿用紙30枚以上、学年末までに提出、②日本近現代史上における古典的著作ないし研究書（新書程度）に対する批評的レポート——年間三回、各10枚以上、のいずれか選択と教場試験、および月一回程度実施するアンケートの提出状況とします。

歴史学 B

助教授 荻野 富士夫

少人数による日本近代史の演習形式の授業です。

今年度は、「『小樽新聞』の研究」をテーマとします。『小樽新聞』は1894（明治27）年創刊の新聞で、1942（昭和17）年、『北海タイムス』など合併して『北海道新聞』になるまで、道内の有力新聞として、政治・経済・文化面で大きな影響力をもっていました。図書館所蔵のマイクロ・フィルムを用い、参加者が各自の課題を設定し、調査・考察のうえで発表・討論をおこないます。

社説目録・重要記事目録の作成などを基礎的作業としておこなう予定です。

日本文学 A・B

教授 村山 出

日本文学は、AとBの2クラスを設けます。それぞれ授業の形態が違いますので、どちらかを選択して下さい。受講届を提出した後の変更は認められませんので、よく考えてから決めて下さい。

日本文学 A

講義のクラスです。今年度は「奈良前期の歌人」というテーマで、神亀・天平の交を中心に登場した万葉歌人たちとその歌の世界について講義をします。

定期試験以外に本格的な研究レポートを書いてもらいますので、本当に勉強したい人が選択して下さい。

テキストにはプリントを使用する予定です。

日本文学 B

演習の形態をとるクラスです。今年度は、「万葉の歌と風土」をテーマに、各自の学習の報告を中心に展開します。後期には、実地演習として、かつて万葉歌人が生活し、歌を作っ

た風土や旧跡を求めて、大和地方を訪れる計画です。

ふだんの学習報告の内容や出席状態を考慮し、最終的にはレポートを書いてもらいますので、身につく勉強をしたい人は選択して下さい。

テキストにはプリントを使用する予定です。

なお、前年度の日本文学Bの単位取得者で希望する人は、実地演習の旅行に参加できます。

ドイツ文学

教授 中川 勇治

世界文学の一端であるドイツ文学への誘いを主眼として、本年度は、ドイツ文学の歴史的な消長をたどりながら、各時期の代表的な作品や作家について解説する。但し、聴講者の語学知識との関連から、主として、日本語訳のある作品、それも物語、エッセイ、小説など散文作品を取りあげる予定である。具体的な講義の展開は、最初に文学一般についての考察、ついで文芸学上の基礎概念の説明を行い、文学現象への理論的接近の方法を認識したうえで、ドイツ文学の領域へ進むことになろう。

参考文献等については、随時、講義の中で紹介するが、手塚富雄著『ドイツ文学案内』（岩波文庫別冊3）は、ドイツ文学を概観するのに手頃であろう。

なお、本講義の最初の時間に、聴講者の愛読書および文学観について簡単に書いてもらう予定である。

ロシア文学

教授 松本 忠司

講義の内容は、大きく二つの部門に分けられる。

(I) 第一の部門は、ロシア文学の成立と展開をめぐる諸問題を、インテリゲンツィヤ精神史の観点から考察する。

(1)インテリゲンツィヤの成立とその背景 (2)批判的リアリズムの成立とその発展。「余計者」の系譜と人民像の探求（プーシキンとゴーゴリを中心に）。(3)農奴解放期の文学（ツルゲーネフ、トルストイ、ドストエーフスキイを中心に）。(4)世紀末の文学（チェーホフを中心に）。

(II) 第二の部門は、(I)の講義内容を前提として、マクシム・ゴーリキイと19世紀末ないし20世紀初頭のロシア文学の諸問題を取り扱い、ゴーリキイの生涯と文学創造を中心に検討しながら、文学と人間・時代・社会のかかわり合いを考究していく。時間的な余裕があれば、現代のソヴェト文学の現状にまで話を進めてみたい。

受講者に対してロシア語の知識は要求しないが、世界史の歩みの大筋についての理解を用意して講義に臨んでほしい。また、テキストは使用しないので、この講義専用のノートブックを用意すること。参考文献については随時、講義のなかで示すが、さしあたり(I)の文学史の流れに関して、金子幸彦著「ロシア文学案内」（岩波文庫）、作家論として草鹿・松本ほか著「ロシア文学の世界」（文化書房博文社）、(II)については松本著「ゴーリキイ研究（I）作家への道」（理想社）、同編訳「ゴーリキイ文芸書

簡」〔全2巻〕（光和堂），ビヤリク著，山村訳「ゴーリキーの運命」（新日本出版社）をあげておく。

社会科学特別講義Ⅰ（夏季集中） 非常勤講師 猪木武徳
（大阪大学教授）

「経済学とユートピア思想」というテーマで講義する。まず経済社会、とくに市場社会の特質を論じ、そこでの統治や貨幣の意味・役割を検討する。次いで反市場志向としての社会主義思想を概説した後、ユートピア思想の古典的代表作、プラトン、トマス・モア、カムパネラ、フランシス・ベーコンなどをとりあげる。モア『ユートピア』は少し詳しく読むので各自英訳か邦訳を用意すること。カムパネラはこちらで英訳を準備しておく。授業には英和辞典を持ってくること。この授業は、社会科学の中における理論とユートピア思想の関係をさぐることを目的としている。

参考書：猪木武徳 『経済思想』（岩波書店）。

社会学 非常勤講師 宝福則子
（小樽商科大学短期大学部助教授）

「第三世界」つまり発展途上国ないしは開発途上国とよばれている国ぐにの諸問題をテーマとして扱う。発展途上国の定義を考えることから出発し、どのような歴史的経緯をたどって現状にいたったのか、また、今後の発展のための戦略のてがかり等を考察する。経済学的な研究における、数字を基盤とした手掛かりにのみよるのではなく、これに現れてこない分野をも視野に入れた社会学的な捉え方により、社会学的なものの見方・考え方を身につけてみよう。前期は以下のテーマについて講義をするが、同時に参加者にはグループを組織してもらおう。各グループは関心のあるテーマ（以下以外のテーマでも結構）についてペーパーを作成し、後期にそれを発表、他の講義参加者と討論する。最終的にはそれを小論文にまとめて各個人ないしはグループで提出してもらおう。各グループ単位に講義時間外に指導する。

1. 何故、「第三世界」を考えなければならないのか？
2. 「低開発」の定義と原因説明の諸理論
3. 「低開発」を生みだすに至った歴史的な諸要因
4. 「低開発」経済構造とメカニズムの現状（農業構造・工業部門・国際経済関係・発展のための経済的戦略）
5. 階級・社会構造
6. 政治支配形態
7. ごく最近の「解放？」形態（たとえばニカラグア）の行方をめぐって

社会思想史 教授 倉田 稔

今年度の講義は、昨年度に引き続き、その先の時代を論ずる。主に20世紀前半の社会思想とする。小学術論文を書いていただく。出席はとらないが、前提とする。時に出席代わりの

感想を書いてもらうことがある。授業内容の予定は次である。

1. 序——省略
 2. 19世紀から20世紀初頭のオーストリア、特にヒルファディング
 3. 20世紀初頭ドイツ、第1次大戦前まで、特に社会民主主義
 4. 大戦前のロシア
 5. 大戦前の日本
 6. 第1次大戦、ロシア革命、終戦
 7. 大戦後のドイツ、特にナチズム
 8. 大戦後のヨーロッパ、アメリカ、アジア、日本
 9. 第2次大戦、特にヒトラーとスターリンとの激闘
- むすび
時間があり次第、第2次大戦後に進む場合がある。

政治学 非常勤講師 坪井主税
（札幌学院大学助教授）

国際政治の場において、市民およびその集合体である(INGO（国際的・国内非政府組織）の活動—「市民外交」と私は総称しているが—は、国家外交を越えられるか。この課題を中心に据えて講義し、また、学生諸君と討議したい。政治学に関する専門用語をおぼえる場というより、政治の在り方を共に探り合う場として考えて欲しい。具体的に取り上げる国際政治上のテーマ（例えば、平和、人権、南北問題など）の詳細は、第1講義日に紹介する。

物理学 教授 原田 稔

現代物理学の大きな基礎の一つである量子論についての初等的な解説を行う予定。

化学 教授 片岡正光

科学技術の発展によって私達は、人類がかつて経験したことの無い豊かな暮らしをしている。化学は衣・食・住や生物・医学の分野に深くかかわっており、日常生活と密接に関係している。化学に関する基礎的な知識は、化学とは縁遠い分野で活躍しようとする人であっても、現代社会を生きてゆく上で必要である。講義では化学の基礎について平易に解説するとともに、現代化学のトピックスも取り上げる。

教科書：長島弘三著『一般化学』（裳華房）¥1,751

生物学A・B 教授 山田家正

生物学Aと生物学Bの2クラスがあり、内容が違うので途中からの変更はできない。

生物学A：講義中心の大人数クラス。テーマは生物の進化。前期は、生物の相互関係の進化的背景を生態系という視点から考える。後期は、DNA、タンパク分子、細胞、個体、集

団の各レベルでの進化の要因を考える。身近な出来事を題材にする。教科書は使用しないがプリントを配布する。出席を重視する。

生物学B：演習中心の少人数クラス。自主的に学ぶ姿勢が要求される。テキストの輪読などもあるので出席は重視される。内容については、履修者数によるので最初の講義時にきめる。

臨海実習：生物学恒例の「ウニの受精と発生の観察」を8月下旬から9月上旬の間に、小樽市忍路（オショロ）町の北大臨海実験所で行う予定。生物学A・Bとも原則として必修。夏休み前にガイダンスを行う。

2 外国語科目

英 本 語

英 語 I

A 群

◦ E101 教授 永原和夫

Katherine Anne Porter et al.: *American Accent* (南雲堂), ¥1,700

アメリカの短編小説を分析的に読む。どのような理由があっても $\frac{2}{3}$ 以上出席しない者は受験資格を失う。

◦ E102 } 教授 豊国 孝
◦ E103 }

W. Faulkner: *New Orleans Sketches* (北星堂)

アメリカの小説家 W. Faulkner の初期の短編小説を読む。 $\frac{2}{3}$ 以上出席しない者は受験資格を失う。遅刻は認めない。

◦ E104 } 助教授 杉村 泰 教
◦ E105 }

Roald Dahl, *Tales of the Unexpected* (開文社出版, ¥1,100)

現代イギリスの作家 Roald Dahl の短編を読む。毎週の十分な下調べと個人発表を重視する。3分の2以上出席しない者は失格となる。

◦ E106 (前期) 教授 永原和夫

John Steinbeck: *The Pearl* (北星堂), ¥950

スタインベックの中編小説の講読である。平易な英語で書かれているので速読をむねとする。どのような理由があっても $\frac{2}{3}$ 以上出席しない者は受験資格を失う。

◦ E106 (後期) 非常勤講師 片山 厚
(北海道大学教授)

教科書: *The Best Stories of New American Authors*

最近のアメリカの小説家, Ramond Carver, Alice Walker などの作品を講読します。

◦ E121 助教授 下村 五三夫

English for Computer Science (Oxford University Press)

コンピューターの歴史から最近の人口知能言語に至るまでの道筋を平易な英語で辿ります。今年度は読解用の練習問題に重点を置いた授業になります。事故 病気, その他の理由のある場合を除き, 欠席及び遅刻は認めません。成績は毎回の授業への参加態度, 前期・後期の

定期試験の成績、英語共通試験の成績を総合して判定します。テキストは市内「紀伊国屋書店」でのみ入手できます。

◦ E122 助教授 山本久雄

テキスト: *Christianity: History and Philosophy* by Carl Becker (英宝社)
本授業は、英文読解力の向上及び内容把握を目的とする。単位認定に際しては、学生諸君の積極性を重視する。

◦ E123 (前期) 助教授 津曲敏郎

A. Montagu: *The Story of People* (金星堂, ¥1,150)
人類の起源と文化の発展、その多様性と同質性を平易に論じながら未来を展望する、文化人類学の入門書を速読する。出席と予習を重視する。遅刻は欠席と同じ扱いとする。

◦ E123 (後期) 助教授 下村五三夫

Revolutions, Dictators, and Two World Wars 「激動の二十世紀」 (英宝社)
最近のソヴィエト連邦と東欧州の激動は歴史に我々の目を向けさせました。第一次世界大戦から振り返ってみましょう。速読用のテキストですから毎回7頁程進みます。事故、病気その他の理由のある場合を除き、欠席及び遅刻は認めません。成績は毎回の授業への参加態度、前期・後期の定期試験の成績を総合して判定します。テキストは市内「紀伊国屋書店」でのみ入手できます。

◦ E124 助教授 津曲敏郎

J. Elliott, C. King: *What You Need to Know in English: Basic Academic Listening* (マクミラン・ランゲージハウス, ¥1,500)

人類の歴史・文化・風俗・科学等に関する、子供向けの絵入り百科事典を題材に、聞き取りと読解の訓練を行なう。毎回あらかじめ各自でテープを聞いて、テキストの空欄をうめておく必要がある。出席と予習を重視する。遅刻は欠席と同じ扱いとする。

◦ E125 非常勤講師 大島稔
(小樽商科大学短期大学部助教授)

① Nishida, H. & W. Gudykunst: *American Communication Patterns* (金星堂)

② Lakoff, C.: *Language and Woman's Place* (英宝社)

教科書①を使用し、「コミュニケーション上の問題」を題材に、テープによる聞き取りと英問英答で内容の理解をはかり、要約の仕方を身につけます。教科書②は、精読用で、「とばに現れた女性差別」の問題について評論文のスタイルに慣れることを目的とします。

評価は、クラス内の活動への積極性、授業中の小テスト、定期試験での筆記テストの点数を総合的に考慮します。

B 群

◦ E107 非常勤講師 横尾元意
(北海道武蔵女子短期大学教授)

アメリカの今世紀における名作として知られる短編小説6篇を収録したテキストを使います。どの作品も人生と愛というテーマを取り扱っています。学生諸君がこれまで何度か耳にしたことのある話も出て来ます。語学的には平易なものばかりなので、各自、内容を深く理解出来るものと思います。従って、試験においても内容の理解と分析に力点を置くことになります。

授業は輪読形式で行ない、評価については授業中の発表と出欠を重視します。

テキスト: *American Stories of Love and Life*, 岩元巖・森田孟編注, (朝日出版社)

◦ E126 非常勤講師 根本慎
(札幌医科大学衛生短期大学部助教授)

テキスト

前期: P. Milward & Y. Kanaguchi, *Fresh English* (朝日出版社)

後期: 未定

前期テキストでは、いくつかのトピックに関する英文を読み、その内容把握と並行して、テキストで用いられた表現を実際に運用できるよう練習問題が用意されている。後期では平易ではあるが、長文の内容把握を目的としたテキストを予定している。授業時間数の1/3を越える欠席がある場合は受験資格を失う。

◦ E127 非常勤講師 下宮英治
(北海道武蔵女子短期大学教授)

人間は自分が所属する社会に共通する言語を基盤として、共通の価値基準に従って行動し意志の交流を行っている。それが、言語と文化を異にする人々との出会い、接触に至る時、誤解や対立の問題を引き起こし易いことは残念なことである。授業を通して「文化理解」の視点を考えて行きたい。

<使用テキスト> *CULTURAL AWARENESS*

— Distinction and Discrimination —

<著者> Paul Snowden

<発行所> 桐原書店

◦ E141 }
◦ E142 }
◦ E143 }
◦ E144 }

外国人教師 Michael Carr

Harrison & Menzies, *Orbit 1* (Oxford University Press)

This course will emphasize functional communication in English. Attendance and participation are required, and only three unexcused absences will be allowed. Grades will be determined from roleplays in class and from weekly tests in the language laboratory.

◦ E145 }
◦ E146 }

非常勤講師 Mathew M. Hanley
(北海道大学外国人教師)

The aim of this course is to improve your English communication skills. The focus will be on language likely to be of use to you in your future studies and career. Working both in the language laboratory and the classroom, we will practice speaking and listening not only as a class, but in small groups and individually as well. A video series will be included in the curriculum. The requirements are completion of all homework assignments, class participation, and, of course, attendance. No more than three absences will be allowed.

TEXT: Provided by the instructor

◦ E147 }
◦ E148 }

非常勤講師 Stephen Toskar
(小樽女子短期大学助教授)

Let us listen, study, drill and speak! Good attendance and class participation, combined with good test scores will enable you to pass.

Only students willing to make an effort and participate in class should enroll in this class!

- TEXTS: ① *Modern English, Cycle One, Book 4*
② *Modern English, Cycle One Charts and Pictures*
Seido Language Institute
③ *Around Town-Situational Conversation Practice*
By Ockenden/Tones

Please order student books and teacher's guides for me of the seido texts and a copy *Around Town*.

Also please order type sets for ① and ③ above for the L. L.

◦ E149

非常勤講師 Timothy Grose
(札幌学院大学講師)

This course will introduce students to those skills important for communicating in English. Students will be expected to play an active part in classroom as well as to attend regularly. A student's practice book will help to re-enforce in oral work done in the classroom. Discussion of topical events and other suppl-

ementary material will also be used.

Text. *Cambridge English Course 2-Students Book Part A.* ISBN 0-521-33757-7.
Cambridge English Course 2-Practice Book 2 ISBN 0-521-28983-1.

◦ E150

非常勤講師 Timothy Grose
(札幌学院大学講師)

This class will focus on practicing communicative language skills. In order to speak well, students must practice speaking. Therefore students will be given many opportunities to speak English both in controlled and creative situations. Some written work supplement the spoken work. Students' attitudes, attendance and overall classroom performance will be taken into account when deciding grades.

Text: *Cambridge English Course 2 Students Book B.* ISBN 0-521-33758-5
Cambridge English Course 2 Practice Book 2 ISBN 0-521-28983-1

◦ E151

非常勤講師 Timothy Grose
(札幌学院大学講師)

Speaking, hearing, reading and writing will all be actively practiced in this class, with a special focus on the first two skills. Students who attend this class should come eager to practice. Students who are reluctant to try speaking will not get so much benefit from the class. Regular attendance is important and students' classroom behaviour will strongly influence their final grades.

Text: *Cambridge English Course Students Book Part C.* ISBN. 0-521-33759-3
Cambridge English Course 2 Practice Book 2. ISBN. 0-521-28983-1

◦ E161

助教授 山本久雄

テキスト: *A Practical English Grammar* by A.J. Thomson and A.V. Martinet
(Oxford)

本書は英文で書かれた文法書である。出席を重視し、勉学意欲の見られない学生には単位を認めない。尚、本年度は第1章から始める。

英語 II

◦ E201 教授 永原和夫

James Joyce; *Dubliners* (南雲堂), ¥1,300

James Joyce; *Araby & Other Stories* (南雲堂), ¥1,200

ジェイムズ・ジョイス (1882-1941) の短編小説を精読する。どんな理由があっても3/4以上出席しない者は受験資格を失う。

◦ E202 } 教授 豊国孝
◦ E203 }

D.H.Lawrence: *Second Best & Another Stories* (北星堂)

H.E.Bates: *The Golden Oriole and Other Stories* (英宝社)

イギリスの小説家ロレンスとベイツの短編小説を読む。3/4以上出席しない者は受験資格を失う。遅刻は認めない。

◦ E204 非常勤講師 伊藤義生
(藤女子大学教授)

現時点ではテキストについては未定であるが、現代アメリカ作家の作品集を予定している。授業は任意指名された学生の発表とそれに対するクラス全体の質疑応答からなり、予習は必須である。自分の意見を積極的に述べることが要求される。出席率は評価に多大な影響を及ぼす。詳細については開講時に説明する。

◦ E205 非常勤講師 本城誠二
(北海学園大学助教授)

The Best Stories of Contemporary American Authors (「現代アメリカ作家傑作選」) 英潮社新社

テキストは、アメリカの最新の短編を編んだものを使います。混沌とした60年代後半から70年代前半をうけて、その後の10年程は、外部(社会)から内部(家庭・個人)へ、大きいテーマから小さいテーマへと、内向した時代でもありました。手法としての文体も、饒舌よりも省略を旨とした、このような傾向を「ニュー・リアリズム」または、美術用語を借りて「ミニマリズム」と呼んでいます。考えてみると、このような短い形式、細い描写、小さな主題というのは、週1回の大学の教養英語に向いている気がします。

アメリカの80年代の秀れた短編を、先ず楽しんで読み、次に文体・描写・主題について考える内に、英語の読解力が向上すればと虫のいい事を考えています。

◦ E206 非常勤講師 本城誠二
(北海学園大学助教授)

The Best Stories of New American Authors (「新アメリカ作家傑作選」)

英潮社新社

テキストは、アメリカの最新の短編を編んだものを使います。混沌とした60年代後半から70年代前半をうけて、その後の10年程は、外部(社会)から内部(家庭・個人)へ、大きいテーマから小さいテーマへと、内向した時代でもありました。手法としての文体も、饒舌よりも省略を旨とした。このような傾向を「ニュー・リアリズム」または、美術用語を借りて「ミニマリズム」と呼んでいます。考えてみると、このような短い形式、細い描写、小さな主題というのは、週1回の大学の教養英語に向いている気がします。

アメリカの80年代の秀れた短編を、先ず楽しんで読み、次に文体・描写・主題について考える内に、自然と英語の読解力が向上すればと虫のいい事を考えています。

◦ E207 } 非常勤講師 西村千稔
◦ E208 } (小樽女子短期大学教授)

アメリカの、いわゆる1920年代の「ジャズエイジ」と、1930年代の「暗黒の30年代」の作家の作品を取り扱いながら、「解釈力」を養うことを授業の目的とします。テキストを媒体としながら、さまざまな角度からのアプローチで複数の解釈を試みましょう。

注意事項: どのような理由があっても、実施授業時間数の三分の二以上出席しなければ、定期試験の受験資格を失います。遅刻3回で欠席1回とみなします。

○テキスト:

江草久司編『現代アメリカ名作選』朝日出版社 ¥1,200円

◦ E209 非常勤講師 宮町誠一
(小樽女子短期大学助教授)

代表的なイギリス人詩人による短詩を四季に応じて配列し、それぞれの詩に対する解説文を添えたテキストを味読したい。紹介する訳詩を参照しつつ、もっとも洗練された英語で書かれた英詩を鑑賞して欲しい。

テキスト: Peter Milward編『Seasonal Poems of England—An Illustrated Anthology』南雲堂 ¥1,500円

◦ E210 非常勤講師 宮町誠一
(小樽女子短期大学助教授)

現代イギリスの詩人11人の代表的な作品を味読しつつ、それぞれの詩作品について書かれた評論を精読しながら作品鑑賞を深めたい。英詩を読む行為は、もっとも洗練された英語を通してイギリス人のところに触れることである。日本語による干渉を極力抑制しつつ、英詩のテキストを丁寧に読むことによって、現代イギリス人の精神に迫りたい。

テキスト: George Hughes著『Contemporary British Poetry』英宝社 ¥1,700

◦ E221

助教授 下村 五三夫

VOA *Everyday Science* 《Book 2》「VOA日常生活の科学・2集」(南美堂)
速読用のテキストですから毎回7頁程進みます。事故、病気、その他の理由のある場合を除き、欠席及び遅刻は認めません。成績は毎回の授業への参加態度、前期・後期の定期試験の成績を総合して判定します。テキストは市内「紀伊国屋書店」でのみ入手できます。

◦ E222

助教授 山本 久雄

テキスト: *What is Linguistics?* by David Crystal (篠崎書林)
本授業は、英文読解力の向上及び内容把握を目的とする。単位認定に際しては、学生諸君の積極性を重視する。

◦ E223 }
◦ E224 }

助教授 津曲 敏郎

J.Kirkup: *My Trip through Russia* (成美堂, ¥980)
ソ連の旅行記を読む。書かれているのは一昔前の姿であるが、ロシアの伝統的風土と国民性、および現在の改革を理解する基礎となろう。出席と予習を重視する。遅刻は欠席と同じ扱いとする。

◦ E225

非常勤講師 浪田 克之介
(北海道大学教授)

「日米構造協議」など最近の日本の国際化にかかわる問題をどのように考えるか、平明な英文の理解を訓練の中心とする。

テキスト: Edwin.O.Reischauer, *The Meaning of internationalization* (成美堂)

◦ E226

非常勤講師 高橋 英光
(北海道大学助教授)

Sydney J.Harris, *Happiness in Marriage?* (南雲堂)
名コラムニストとして知られた S.Harris のコラム集を読む。題材は車の運転の心理、宗教、学校・教育、言葉、暴力、スポーツ、結婚と様々な分野に及んでいる。3/4以上の出席のない者は受験資格を失い、又遅刻は欠席とする。

◦ E227 }
◦ E228 }

非常勤講師 鈴木 良克
(小樽女子短期大学教授)

MAN & CULTURE (研究社 ¥1,850)

◦ E229

非常勤講師 根本 慎
(札幌医大衛生短期大学部助教授)

テキスト: E.G.Seidensticker, *The Cultured and the Civilized* (朝日出版社)
日本文学研究者によるエッセイを読む。授業時間数の1/3を越える欠席がある場合は受験資格を失う。

◦ E230

非常勤講師 下宮 英治
(北海道武蔵女子短期大学教授)

それぞれの文化には広く暗黙裡に定められた行動規準があって、異文化に属する者同士が互いにコミュニケーションを行う場合、このような行動規準を意識しないために、相互に誤解が生じ易いと言う。Michael Sherard氏は、それらを名付けて“tacit assumptions”と呼んでいる。日本人とのコミュニケーションを通して、具体的にどのような assumptions があると考えられているかを取り上げてみる。

<使用テキスト> “TACIT ASSUMPTIONS”

<著 書> Michael L.Sherard

<発 行 所> マクミラン・ランゲージハウス

◦ E241 }
◦ E242 }

外国人教師 Michael Carr

Harrison & Menzies, *Orbit 2* (Oxford University Press)

This course will emphasize functional communication in English. Attendance and participation are required, and only three unexcused absences will be allowed. Grades will be determined from roleplays in class and from weekly tests in the language laboratory.

◦ E243

非常勤講師 Mathew M.Hanley
(北海道大学外国人教師)

In this course we will practice speaking, listening, and some reading. Our strategy will be to review some of the English that you have already learned and use it in new forms and combinations. We will divide our time between the language laboratory and classroom. Homework assignments will be based mainly on the audio tape that accompanies your textbook, but there will also be supplementary reading assignments and TOEFL-type exercises. If you apply yourselves to the material, you should notice a significant improvement in your language skills by the time this year-long course is finished.

Requirements: attendance and participation.

Text: Jones, L., et al. *Great Ideas*. Cambridge: CUP, 1987.

◦ E244 本 册 新編英語

非常勤講師 Stephen Toskar
(小樽女子短期大学助教授)

Let us listen, study, drill and speak! Good attendance and class participation, combined with good test scores will enable you to pass.

Only students willing to make an effort and participate in class should enroll in this class!

- TEXTS: ① *Modern English, Cycle One, Book 4*
 ② *Modern English, Cycle One Charts and Pictures*
 Seido Languace Institutb
 ③ *Around Town-Situational Conversation Practice*
 By Ockenden/Tones

Please order student books and teacher's guides for me of the seido texts and a copy *Around Town*.

Also please order type sets for ① and ③ above for the L. L.

英語 III

◦ E301

教授 永原和夫

Graham Greene: *The Power and the Glory* (英潮社・ペンギン), ¥1,900

地上の権力と神の栄光とを追求したグリーンの名作。どんな理由があっても $\frac{2}{3}$ 以上出席しない者は受験資格を失う。

◦ E302

教授 豊国孝

D.H.Lawrence: *Love Among the Haystacks and Other Stories* (Penguin Books)

イギリスの小説家D.H. ロレンスの短編小説を読む。 $\frac{2}{3}$ 以上出席しない者は受験資格を失う。遅刻は認めない。

◦ E303

助教授 杉村泰教

Graham Greene, *The Basement Room and Other Stories* (南雲堂, ¥1,100)

イギリスの小説家 Graham Greene の代表的な作品を読む。毎週の十分な下調べと個人発表を重視する。3分の2以上出席しない者は失格となる。

◦ E304

非常勤講師 片山厚
(北海道大学教授)

教科書: Joseph Conrad, Gaspar Ruiz

教材は、ポーランド生まれの英国作家による南米の革命を舞台にした中篇小説。20世紀初頭の作品です。

◦ E305

非常勤講師 伊藤義生
(藤女子大学教授)

現時点ではテキストは未定であるが、現代アメリカ作家の作品を取り上げる。単なる解釈文ではなく、その作家の自伝的背景や作品の時代的・文化的な意味合い等総合的なアプローチを試みる。そのため多くの課題が出され、毎時間発表や質疑応答の形態で授業が進められる。積極的な授業参加は、出席率と共に評価に多大な影響を与える。なお詳細については開講時に説明する。

◦ E306

非常勤講師 横尾元意
(北海道武蔵女子短期大学教授)

W. Shakespeare の作品中もっとも有名な *Hamlet* を輪読していきます。もっとも、限られた時間で読破することは不可能ですので、邦訳や説明で間を埋めながら、なんとか五幕まで辿り着きたいと思っています。綴りは現代風になっていますが、言い廻しや意味は400年前のままなので、予習にはグロッサリーを使う必要があります。また、*Hamlet* のみを注視せず、ギリシャ悲劇から近代劇の通時的流れの中で見てみたいと考えています。さらに、*Hamlet* に関する英文の論文をいくつか読んでもらうことにもなります。

授業は各自、分担して輪読していきます。評価は出欠を重視します。

テキスト: W. Shakespeare, *Hamlet*, 大山俊一編注, (篠崎書林)

◦ E321

助教授 下村五三夫

The World of Economics 「最新世界経済入門」(英潮社新社)を講読します。経済学の良い入門書となりましょう。事故、病気、その他の理由のある場合を除き、欠席及び遅刻は認めません。成績は毎回の授業への参加態度、前期・後期の定期試験の成績を総合して判定します。テキストは市内「紀伊国屋書店」でのみ入手できます。

◦ E322

助教授 津曲敏郎

R. McCrum et al.: *The Story of English* (成美堂, ¥1,030)
国際的な重要性をますます強めている英語について、さまざまな角度から論じた読み物。出席と予習を重視する。遅刻は欠席と同じ扱いとする。

◦ E323

非常勤講師 菊池昭
(小樽商科大学短期大学部教授)

James Baldwin, *The Fire Next Time* (南雲堂, ¥800)

Baldwin は先年物故したアメリカの黒人作家。人種問題を見据えつつ、人間としての苦

悩を吐露した彼のエッセーを読む。十分な下調べと、欠席をしないことが必要条件。七回以上欠席した者の成績評価はできない。

- E324 非常勤講師 浪田 克之介
(北海道大学教授)

日系アメリカ人を中心に人種問題をあつかう英文を講読する。

テキスト：S.Dale McLemore, *Japanese Americans* (英宝社)

- E325 非常勤講師 高橋 英光
(北海道大学助教授)

R.McCrum et al., *The Story of English* (Macmillan Language House)
(英語百話)

(Arranged and Rewritten by Alan Booth)

原著は、ヨーロッパ辺境の一地方語であった英語が版図を拡大していく歴史と、現今の世界各地における英語の姿を物語ったものである。このテキストはその各章の内容を要約した上で全章収録し、学生にとって読み易いものになっている。3/5以上の出席のない者は受験資格を失い、又遅刻は欠席扱いとする。

ドイツ語 I

I A (火曜日)

助教授 寺田 龍男

教材はこちらで用意して配布します。木曜日がドイツ人教師による会話なので、こちらではその基礎となる文法を学びます。ドイツ人の先生は初めからドイツ語しか使われません。そうした形態にできるだけ早く慣れるためにも、火・木ともにできるだけ休まず積極的に参加して下さい。私の授業ではやさしい文法教材を用いるほか、会話の決まり文句などを少しずつ身につけてもらいます。初めての外国語でいきなり会話クラスというのは少し勇気のいることかもしれませんが、ここで二年間頑張ればたいへんな実力がつきます。ファイトがあり、かつサボらない自信のある人は是非受講してみてください。なおこのクラスの許容人数は最大30名です。履修希望者は必ず教務係に申し込んで下さい。(その方法については私の授業の初回で説明し、掲示もします) II Aとの同時履修は認められません。

I A (木曜日)

非常勤講師 Claudia Beil
(北海道大学外国人教師)

別途掲示により通知

I B (火曜日)

非常勤講師 加納 邦光
(北海道大学助教授)

教科書：「新ドイツへのパスポート」(棚瀬・オカ・恒吉著、同学社) 1,360円

ドイツにおける学生の日常生活についての簡単なドイツ語文を読みながら、ドイツ語を身につけていきましょう。本文の予習や練習問題をして、授業に出るようにして下さい。

文法の説明は必要に応じて行います。出席は毎回とります。3分の1以上欠席した学生は単位を取るのが非常に難しくなります。試験は前期・後期の定期試験期間内に行います。

I B (木曜日)

助教授 寺田 龍男

教科書：『チャレンジャー初級ドイツ文法』(三修社)

この教材を用いて文法の基礎を学びます。ふつうに勉強すれば必ず身につきますからきちんと予習をして授業に出て下さい。欠席すると後でにっちもさっちもいなくなることが多いので、出席を重視します。

I C (火曜日)

教授 中川 勇 治

テキスト：藤田五郎著『藤田初級ドイツ文法読本』（新訂版）. 郁文堂 1,236円.

ドイツ語は、いわば英語の兄弟語ですから、初習者にも親近感が多いはずで、類推の働きでドイツ語の世界に攻めこんでください。「習うより慣れよ」が鉄則です。授業にはきちんと出席し、疑問や理解の曖昧な事項は必ず質問するようにしてください。当面の目標は、みずから辞書を引いて、できるだけ集中的に、また体系的に単語とその用例を収集することです。

I C (木曜日)

非常勤講師 吉岡 義彦
(北海道大学助教授)

教科書：「不定詞句中心 新しいドイツ文法」（白水社）

文法を通してドイツ語の基本構造をつかみ、あわせて最少限のボキャブラリーを身につけるための練習をしていきます。外国語、特に文法は結構おもしろいパズルになります。楽しみながらやりましょう。教室での練習がポイントなので、出席を重視します。特に最初の方が肝腎です。

I D (火曜日)

非常勤講師 橋本 聡
(北海道大学講師)

以下の教材を用いてドイツ語の入門を行います。出席率を重視します。

関口一郎「コミュニケーションのためのドイツ語」（三修社）1,400円

I D (木曜日)

非常勤講師 神竹 道士
(北海道大学助教授)

テキスト：大岩信太郎著「英語対照 ドイツ文法14時間」

英語と対照して解説してあるので、学生諸君にとっては分かりやすいテキストです。初回に授業の進め方等々詳しく説明しますので、必ず出席して下さい。

I E (火曜日および木曜日)

助教授 大塚 讓

教科書：「不定詞句中心・新しいドイツ文法」（吉岡義彦著、白水社）

夏休みまでにこの教科書を終えるつもりなので、落伍せずに付いて来て下さい。くれぐれも出遅れることのないように。初回から勉強を開始します。積極的に参加し続ければ必ずものになります。

ドイツ語 II

II A (火曜日)

助教授 寺田 龍男

教材：『Lernziel Dentsch』（三修社 1,800円）

昨年度 I A の授業を継続します。今年度は上記教科書の11課からです。

なお昨年度 I A 以外のクラスに属していた人でも、その成績が「優」であれば原則として参加を認めます。ただし「話す」ことはともかくとしても、「聞く」ことにまったく耳が慣れていなければイバラの道を一年間歩むことになるので、よく考えて決めて下さい。バイル先生の授業の最初の回に出てみるのが良いでしょう。なおこのクラスの許容人数は最大30名です。履修希望者は、昨年度 I A の合格者も含めて必ず教務係に申し込んで下さい。（その方法については私の授業の初回で説明し、掲示もします）I A との同時履修は認められません。休まないで授業に出て下さい。

II A (木曜日)

非常勤講師 Claudia Beil
(北海道大学外国人教師)

火曜日参照

II B (火曜日)

助教授 大塚 讓

教科書：「マティーアス君の日本体験記」（P.リヒター・大塚讓共著、白水社）

平易な日常ドイツ文を速いスピードで読んで行きます。初回は必ず出席して下さい。

II B (木曜日)

非常勤講師 吉岡 義彦
(北海道大学助教授)

教科書：プリント

文法の続きをやり、次いで文法知識を読解に活用する練習にはいります。教室での練習がポイントになりますので出席を重視します。

II C (火曜日)

非常勤講師 加納 邦光
(北海道大学助教授)

教科書：「ドイツ風土記」（松本喜久編、三修社）1,300円

ドイツの各州を紹介したテキストです。本文や練習問題の予習をして、授業に出るようにして下さい。出席は毎回とります。3分の1以上欠席した学生は、単位を取るのが非常に難

かしくなります。試験は前期・後期の定期試験期間内に行います。

II C (木曜日)

助教授 寺田 龍 男

初めは昨年度 I C の文法 (大塚先生) の教材の残りを学びます。その後で次のような授業を行います。

教材: ①プリント

②『基礎ドイツ語作文』(白水社 900円)

①のプリントは会話体の文章読解教材です。テープも用いて耳を慣らしてもらいます。

②はやさしい作文教材で、これを用いて表現力をつける練習をします。どちらも負担が大きくないので、予習してきたかどうかを重視します。

II D (火曜日)

非常勤講師 橋本 聡
(北海道大学講師)

以下の作文の教材と、講読用のプリント(教室で配布)を使って授業を行います。出席率を重視しますので、特に過年度生は注意してください。

教材: 岩崎英二郎「続中級独作文」(大学書林) 700円

II D (木曜日)

助教授 大塚 讓

教科書: "Deutsch durch Lernziele" (前年度の続き)

初回から授業をします。簡単な日常会話や日常ドイツ文をも加味します。昨年同様の(?) 積極的な学習態度を期待します。初回は必ず出席して下さい。

II E (火曜日)

教授 中川 勇 治

テキスト: 『プラウゼ: 天才の弱点』, 南道子, 木戸芳子編, 郁文堂, 1, 133円。

学校時代には出来のよくなかった天才たち(但し, このテキストの冒頭に取りあげられたアードルフ・ヒトラーは, いかなる分野の天才であったのだろうか?) について, 簡明なドイツ語で語ったもの, というのがテキストの説明であろう。この教科書を契機に, 興味ある天才について, 個人的に種々と調べてみるのも面白いだろう。二年次のドイツ語授業は, 参加者の読解力を深めるのが目的である。疑問や不明解な事項があれば, どしどし質問するように望みます。

・ II E (木曜日)

非常勤講師 神竹 道士
(北海道大学助教授)

テキスト: (前期) 西本・高田・神竹著「文法読本・システム14」

(後期) 浜川祥枝編「反省と希望」

上記文法読本は前期で終了する予定です。初回到授業内容・進め方等々詳しく説明しますので, 必ず出席して下さい。

フランス語 I

I A (火曜日)

助教授 江口 修

用書: 「ルーヴル美術館にて」中山真彦著(朝日出版社, 1, 339円)

I A (木曜日)

非常勤講師 梶野 吉郎
(北海道大学教授)

用書: 「フランス語で世界を知ろう」田辺・平山著(朝日出版社, 1, 400円)

I B (火曜日)

助教授 高橋 純

用書: 「初歩のフランス語文法(二訂版)」鈴木・恒川著(朝日出版社, 1, 000円)

I B (木曜日)

助教授 江口 修

用書: 「ル・フランセ・アヴェック・レ・フランセ」内村瑠美子他著(駿河台出版社, 1, 450円)

I C (火曜日)

非常勤講師 ブリュノ・デュボワ

L.L.: 視聴覚教材を用い簡単な会話・発音練習。テキストは《Nouveau Sans Frontiere》です。言語表現は社会的行動様式と結びついたものであるから, 学生諸君はフランス人の日常生活に関する著作を少なくとも一冊は読むこと。なお, クラスでは学生の活発な参加により, 楽しい実用的小会話, 場面設定による会話構文訓練を行う。宿題を課すので必ずやって来ること。また授業への準備を必ずやること。

I C (木曜日)

助教授 高橋 純

用書: 「フランス語'90」石野好一他著(白水社, 2, 200円, 含1カセット)

フランス語 II

II A (火曜日)

助教授 高橋 純

用書: 「フランス・ユーモア選集」吉井亮雄他編(青山社, 1, 100円)

II A (木曜日)

非常勤講師 梶野 吉郎
(北海道大学教授)

用書: 「海辺のプチ・ニコラ」窪川英水編(芸林書房, 1, 000円)

II B (火曜日) 助教授 江口 修

用書:「フランス・ユーモア選集」吉井亮雄他編(青山社, 1,100円)

II B (木曜日) 助教授 高橋 純

用書:「続々続・愉快的なコント」数江譲治編(第三書房, 700円)

II C (火曜日) 非常勤講師 ブリュノ・デュボワ

L.L.:教材は《Nouveau Sans Frontiere》。原語の問題意識の自覚と敏感な感覚を養うために、学生諸君はフランス語の機能を理解し、生きた会話による言語表現のよりよい展開に努力すること。家庭学習においてはカセットの利用などにより発音に慣れるように。宿題を課すので必ずやって来ること。授業への準備も必ずすること。

II C (木曜日) 助教授 江口 修

用書:「ディ・ドン(DIS DONC!)①」倉方秀憲他著(早美出版社, 1,600円)

中国語 I

助教授 木之内 誠

日本社会の「国際化」が声高に叫ばれる今日でも、アジアの国々は私たちにとって、やはり近くて遠い国であり続けているようだ。金とモノの動きだけでない、人と人との自然なつきあいを深めていくには、何をおいても互いの言葉に通ずることが一番だろう。

これからの普通の日本人の普通の教養として、アジアの言葉になじんでもらいたい。使える生きた中国語をめざして、着実なトレーニングを重ねよう。

テキスト:「例文中心 初級中国語」牧田英二, 楊立明著(同学社)

辞書:岩波中国語辞典(岩波書店), 簡約現代中国語辞典(光生館), 簡明中日辞典(東方書店)などが初・中級段階用として推薦できる。詳しくは授業開始時に説明する。

教材の録音テープ, 中国映画ビデオなど各種の視聴覚素材が, L.L.教室に備えられているので, 各自十分活用してもらいたい。

非常勤講師 邢 玉 芝

テキスト:「こんにちは中国語」鳥居克之, 西川和男著(朝日出版社)

中国語 II

助教授 木之内 誠

習い覚えた外国の言葉を窓として, いままさに動きつつある世界への新鮮な関心がふくらんでいく。中国語IIでは, これまでに学んだ基本的な文法事項を復習整理しながら, 現代中国の文化状況への多方面からの接近, 理解を進めていくことを狙いとして, このテキストを選んだ。二年次では辞書を引く手間を惜しまず, 辞書に慣れ親しんでもらいたい。

テキスト:「最近中国事情」岩崎富久男他編(白帝社)

原則として, 中国語Iの単位を取得していない場合は, 中国語IIの受講は認められない。

非常勤講師 邢 玉 芝

テキスト:「愉快的北京旅游—北京への旅」丁秀山著(金星堂)

スペイン語 I

助教授 山田 真史

スペイン語の文法, 読解, 会話の基本を学びます。

テキスト, 辞書は未定ですが, 「文法」と「読本」用をそれぞれ一冊ずつ予定しています。他の外国語で単位をとれなかった学生のこの授業への志望変更は受けつけていません。出席を重視しますし, 授業への準備が必要です。

詳しいことは最初の授業で話します。

スペイン語 II

助教授 山田 真史

テキストは未定ですが, 「会話」, 「読解」用の本を各一冊ずつ予定しており, スペインで発行されている外国人向けのテキストとなる予定です。

詳しいことは最初の授業で話します。

スペイン語Iの単位をとれなかった学生はこの授業には出席できません。

ロシア語 I

教授 松本 忠司

発音, 文法, 訳読, 作文の基礎的学習。

教科書:ロシア語16課(16 УРОКОВ РУССКОГО ЯЗЫКА)新田実著 白水社
ほかに, 学習の進度に応じ, プリント刷りのテキストを配布する予定。

辞書:現在市販のものにはそれぞれ長短があるが次のうち一点はぜひとも用意すること。
ただし, 初年度の前半ぐらいは辞書に頼るよりも, 単語帳を自分で丹念に作るほうが, はるかに確実な学習効果を生むであろう。

八杉貞利編 岩波ロシア語辞典

木村彰一編 博友社ロシア語辞典

東郷正延ほか編 研究社ロシア語辞典

井桁貞敏編 コンサイス露和辞典(最新の改訂版)

ロシア語の背景世界を知るために, 東郷正延編「ロシア・ソビエト ハンドブック」(三省堂)をすすめる。歴史, 文学史, 地誌, ことわざ, 文法, 市民生活案内などの簡略事典としても役立つ。

ロシア語 II

教授 松本 忠司

文学作品(詩歌, 小説, 戯曲, 評伝, 回想記)および社会科学関係論文・新聞論説などの講読に大方の時間を充当することになるが, 文法のより深い学習, 作文練習も併せて行うので, 専用のノートブックを用意すること。テキストはプリント刷りの予定。参考までに記

しておく、昨年度のテキストの主要なものは、ロシア詩選、チャーホフの短編小説と戯曲「三人姉妹」、ゴーリキイの短編小説「イゼルギリ婆さん」、回想記「ア・ペ・チャーホフ」、経済学論文「官僚主義：その経済学的根源」であった。

3 保健体育科目

体育講義

教授 浅沼義英

これからの長い人生を、充実して乗り切っていくには、長期的にみた“体力”が必要である。この体力とは、体が壮健なことはもちろん、精神の強さと安定性をもって、活動力と創造性を高めていくという考え方である。そこで、病気にならないための医学的知識は必要であるけれども、これだけではなく、積極的に健康の増進をはかっていくライフスタイルが、これからは大切になってくる。広い目でみると、現代の疾病や健康をおびやかすものは、生活習慣の誤り、社会環境の変化、自然環境の悪化に多くの原因がある。そこで、本年の論点は、次のような内容を予定する。

1. 一般的な医学の知識。
 - 成人病・青年期からの予防。
 - 栄養の必要と害。
 - 生活のリズムを正しくつかむこと。
 - アルコール、タバコ、麻薬など習慣性の薬物について。
 - 公害などによる現代の病気。
 - ストレスと精神身体障害。
2. 運動を中心とした能動的な健康増進。
 - 運動にかかわる基礎的な知識。
 - 日常の運動法。
 - 疾病時の運動療法。
 - 環境の変化に対する適応能力。
 - スポーツ障害。

このようなテーマについて、基礎知識の提示に加えて、ディスカッションの時間も設けます。

なお、クラスわけは次の通りに行います。

Aクラス（前期）：**001～**200

Bクラス（後期）：**201～最終番

体育実技 I・II

教授 藤 江 正
 助教授 田 野 有 一
 助教授 花 輪 啓 一
 講 師 中 川 喜 直
 非常勤講師 杉 山 登

I 体育実技の履修について

体育実技は必修科目であり、各自所定の時間に出席しなければならない。本学では1年目で毎週2時間(60時間)、2年目は前期・後期各2時間(30時間)のうち、いずれかを履修することになっている。

体育実技実施種目は必修種目と選択種目とからなり、必修種目として1・2年目とも体力診断テスト、トレーニング法の実際、水泳、スキー等を行う。

II 必修実技種目とその内容

必修実技種目のうち、トレーニング、水泳、スキーについては講義を行う。その内容、日時に関してはおって通知する。

(1) 体力測定

体力診断テスト……反復横とび、垂直とび、背筋力、握力、伏臥上体そらし、立位体前屈、踏み台昇降運動

以上の7種目で、測定実施時期は、第1回目は春季、第2回目が秋季である。体力の優劣判定は、文部省体育局のテスト判定基準により、総合点によってA・B・C・D・Eに区分されるが自己の体力の現状を把握しておくことが肝要である。

(2) トレーニング

トレーニング法とその実際について知っておくことは、学生生活および社会生活を営むうえで体力の維持増進をはかる場合に極めて大切なことである。ここでは体力づくりのための一般的トレーニング法、器具器材使用法、トレーニング処方等について実習し、授業時間外でも自分で処方し、自発的に継続実施できるようにもってゆきたい。

(3) 水 泳

自己安全管理の一環として、水からの事故防止のため水泳技術を修得しておくことは極めて大切なことである。指導段階の区分として都合上、4班に分け、各班ごとに下記の内容で実施する。技術修得の過程で班を移動する者もある。実施期間等については、おって掲示等により通知する。

<水泳実技内容>

区 分	実 技 種 目	テ ス ト 種 目 (泳法・距離泳)
初級グループ	・立ち方、背浮き、立ちとび込み、伏し浮き、簡易泳法、体位変換	・背浮き、伏し浮きからの立ち方…泳法 ・簡易泳法で10m以上……距離泳
中 級 A・B グ ル ー プ	・クロール、平泳ぎ ・背泳ぎ、バタフライ、潜行、横泳ぎ、ターン	・泳法2種選択……泳法 ・1種目で25~50m……距離泳
上級グループ		・泳法2種選択……泳法 ・1種目で50m以上……距離泳

(4) スキー

室内に閉じこもりがちな雪国の生活において、自然に親しみながらスキー技術を修得することは、冬季体育の一環として、また将来の社会生活をたのしく健康的なものとするためにも極めて有意義である。1・2年を通して指導段階の区分として都合上、4班に分け、各班ごとに下記の内容で実施する。実施時期等については、おって掲示等により通知する。

<スキー実技内容>

区 分	実 技 種 目	テ ス ト 種 目
初級グループ	*歩行、滑走法、方向転換 *転倒法、登行法、直滑降 *ブルーク・ボーゲン *シュテム・ターン	*ブルーク・ファーレン *ブルーク・ボーゲン
中 級 A・B グ ル ー プ	*ブルーク・ボーゲン、横すべり *斜滑降、シュテム・ターン *パラレル・ターン	*シュテム・ターン *パラレル・ターン
上級グループ	*ウェーデルン、発展技術	*ウェーデルン

III 選択実技種目とその内容

バスケットボール、卓球、バドミントン、ソフトボール、バレーボール……この中から選択履修することになっている。

4 基礎教育科目

経済学概論 A

教授 鶴 沢 秀

(1) 受講資格

経済学概論 A は、学生番号90001から90215までの1年次生と、2年次以上の学生で選択する者に限って履習を受け付けます。

(2) 講義の内容

ミクロ経済学とマクロ経済学の基本的内容について述べる予定です。

概要：1. 経済学の課題・方法および経済循環

2. 消費者選択の理論

3. 生産の理論

4. 費用の理論

5. 市場構造と均衡

6. 資源配分の最適性と政府の役割

7. マクロ経済学の視点

8. 国民所得水準の決定

9. 物価と雇用

10. 国際経済の理論

(3) 教科書

早見 弘他著『現代経済学講義』（1989年、中央経済社）。

(4) 参考文献その他

必要に応じて授業中に配布または述べる。また、パソコン利用の経済学自習についても授業中に指示する。

経済学概論 B

(前期) 担当者 佐 竹 正 夫

昨年来の東欧の大変革に際して、しばしば「市場経済の導入」ということが言われています。「市場経済」とは何か。これは経済学の主要な課題の一つで、社会科学を学ぶものにとつては、ぜひ理解しなければならない問題です。前期の概論は、価格の動きを中心とする「市場経済」の基本的な仕組みを説明することを目的とします。教科書は、伊藤元重『入門経済学』日本評論社、1988年。前期の範囲は第8章から第11章まで。

(後期) 教授 今 喜 典

日本、それに北米や西欧などの経済的に発展した諸国では、経済活動は基本的に私的企業と家計が市場メカニズムにもとづいて行っています。また政府もこの中で重要な役割を果たしているため、このようなシステムは「混合経済」とよばれています。これらの国々では、人々の生活の基盤を左右する重大な経済的変数、たとえばさまざまな財の生産量、雇用、所得水

準などが、絶えまなく変動しながら持続的な成長を維持してきました。これらの変動は、経済活動への数えきれないほどのショック（新しい技術の発展、資源の発見、環境の変化、消費の好みのシフト、政府の政策変更、政治体制の変化など）が、企業と家計の反応をひきおこし、さらにその反応が市場のプロセスで調整された結果であることがわかります。この変動は、時には激しく、そのためおびただしい失業者がうまれたり、急激なインフレーションをもたらすなど、人々の生活に深刻な影響を与えました。さまざまな経済政策手段が、この状況に対処するため考えられてきました。

経済学概論 B の後期では、以上のような経済の変動、成長、それに経済安定化政策という問題をマクロ的な視点からとりあげます。現代のマクロ経済学は、J.M.ケインズによって再構成された後、経済学の最も大事な基礎の一部となっています。講義では、マクロ経済学の入門的解説を行うとともに、現代の日本経済の動きを理解するうえでマクロ経済学的視点がどのように生かされるかを明らかにしたいと思っています。

教科書：伊藤元重『入門経済学』，日本評論社，1988年。

商 学 概 論

(前期) 非常勤講師 片 桐 誠 士

(小樽商科大学短期大学部教授)

(中期) 教授 篠 崎 恒 夫

(後期) 教授 中 善 宏

商業学科商学コースは大別して、商学・経営学・会計学の3部門より成り立っている。この3部門は歴史的・理論的に互いに、どのような関連性を有しているのだろうか。商学概論なる授業科目は、商学コースで準備されている3部門のうち、いずれを選んで主要研究対象にするかを決定する際の予備知識を与える任務をも背負っている。商学概論の役割はそれだけではない。現代資本主義の生成・発展の過程で、商学、経営学および会計学の各部門の学問体系がどのような必然性をもって生まれてきたり、発展せしめられて今日の姿なり体系を為すようになったかを解明するのが、むしろ本来の役割であろう。

時代の要請に応じて各部門はそれぞれが主となり従となって、お互いに影響しあいながら発展してきた事実を念頭におきながら部門別に以下の内容をもって概論を行うことにする。

I 商学部門（4月～6月末）

担当 片桐 誠士

1. 経済生活と商業——交換ないし商品流通の展開——

2. 商業学説

3. 資本制経済と商業

4. 商業の分化

(参考文献は随時指示するが、講義はプリントを配布し、それにそって行う)

II 経営学部門（7月～10月末）

担当 篠崎 恒夫

1. 商の発展と資本の成立

2. 企業形態の展開

3. 株式会社とその経営

4. 管理と組織

Ⅲ 会計学部門 (11月～2月末)

担当 中 善宏

会計は、企業活動に関する計量情報の主たる提供者である。それは、社会的な制度としての財務会計と経営管理のための会計である管理会計とに区分される。本講では、会計学の典型的なテーマと方法をいくつか取り上げて、会計情報の基本的な属性を学習することにする。講義内容は、概略次のようになるであろう。

1. 財務諸表とその利用
2. 会計処理の基準
3. 会計情報と経営管理
4. 会計情報と人間行動

参考文献：

- 青木茂男著「会計学総論」(中央経済社, 1978)
 久野光朗編著「簿記論講義」(同文館, 1986)
 高田正淳編著「テキストブック会計学(1)会計学総論」(有斐閣, 1982)
 溝口一雄著「入門利益計画」(中央経済社, 1980)
 溝口一雄編著「管理会計の基礎」(中央経済社, 1987)

法 学 概 論

(前期) 助 教 授 結 城 洋 一 郎
 (後期) 助 教 授 川 嶋 四 郎

私たちは好むと好まざるとにかかわらず、日々、法の拘束を受け、同時に法によって自己の権利と安全とを保護されながら生活しています。そして、民主主義社会にあっては、その法を作るのは私たち自身ですし、又、そうでなければなりません。であるとすれば、現実の法がどのようなものであるかを知り、あるべき法がどのようなものであるかを考えることは、社会の一員である私たちにとって不可欠のことだと言えるでしょう。

本講では、法領域の全般を概観することによって法というものの考え方、法的なものの考え方を身につける手がかりを提供できればと考えています。

講義内容は下記のテキストを用いて、前期では主として総論的部分と公法領域について、後期では主として私法及び社会法領域について扱う予定です。

テキスト：末川博編『法学入門』(第三版)有斐閣

参考文献：講義の中で紹介します。

管理科学概論

教 授 沼 田 久

多くの学生諸君は「管理科学科はコンピュータをやるところだ」くらいに考えているらしい。そのような単純かつ偏った考えを改めてもらうのが、この講義の目的の1つである。

主な講義予定

- (1) OR (Operations Research) 小史とORの考え方
- (2) ORの諸理論・諸手法

—日程計画, 線形計画, ゲームの理論, 意思決定理論, 輸送問題, 経済性分析, 動的計画法, シミュレーション, 在庫管理, 予測理論etc—

(3) 情報の科学と技術

(4) 社会と情報科学

教科書：

沼田 久『増訂 マネジメント・サイエンス』(富士書院, 1990)

数 学

教 授 白 川 寛
 助 教 授 兼 岩 龍 二

数学の授業は下記のクラス編成により行われる。1年生のクラス所属は備考欄を見ること。2年生以上のクラス所属は自由である。

	クラス	前 期	後 期	コース	備 考
2 講 目	S 1	兼 岩	白 川	微 積 コ ー ス	学生番号90001～90200で2講目受講を希望するもの。
	S 2	白 川	兼 岩		学生番号90201～90425で2講目受講を希望するもの。
4 講 目	S 3	兼 岩	白 川	微積・論理コース	4講目受講を希望するもの。
	S R	白 川	兼 岩		微積・論理コースの受講を希望するもの。

I コース

(1) 微積コース (S 1, S 2, S 3)

一変数及び多変数の微分積分を行う。

テキスト：解析入門 渡部隆一著 培風館

(2) 微積論理コース (S R)

微積コースと同様の内容を手短かに前期で済ませ、後期に記号論理をあつかう。前・後期とも定期試験なしでレポートを課す。

テキスト：前期は微積コースと同じテキスト使用、後期は未定。

II テキストの紹介

解析入門(このテキストは高校の「数学I」を予備知識として理解できるように書かれている。) 目次

1. 数列
2. 初等関数
3. 微分法
4. 積分法
5. 曲線と曲面
6. 多変数の関数
7. 複素数とその関数

5 専門教育科目

統計学

教授 遠藤 薫

講義内容：1. 記述統計（最小2乗法，相関係数）
2. 推測統計（確率分布，推定，検定）

参考書：森田優三『新統計概論』日本評論社
森田優三・久次智雄『演習統計概論』日本評論社

数理統計学（前期）

教授 久次智雄

2年次の「統計学」で扱った各種の手法の基礎となる数理を明らかにし，さらにその他の手法・考え方について講義する。

講義内容：確率変数（補論），標本統計量の分布，線形代数（補論），回帰分布・分散分析の基礎，推定・検定論の基礎，多変量解析，ベイズ的推論など。

参考書：岩田暁一『経営分析のための統計的方法』東洋経済新報社。

その他

- (1) プリントを用いる予定。
- (2) 1年次の「数学」（微積分），2年次の「統計学」および「応用数学（代数）」は履修済みであるとして講義を進める。
- (3) 年度当初数回は，2年次の『統計学』の補習を行うので，森田優三著『新統計概論』（日本評論社）を持参すること。

経済統計学（夏季集中）

非常勤講師 松田 芳郎
（一橋大学経済研究所教授）

経済統計学には，さまざまな接近法があるけれども，ここでは，社会・経済統計がどのような仕組みで作られるかに力点を置いて講義する。講義では，おおよそ以下の諸主題について言及する予定である。

1. 統計調査における調査単位と事象の数量化について
 - 1.1. 事業所と企業
 - 1.2. 世帯と個人
2. 統計調査体系
 - 2.1. センサス調査
 - 2.2. 標本調査
 - 2.3. データ・リンケージ
3. 時系列分析と横断面分析
 - 3.1. 時系列データと分類基準の変化
 - 3.2. コーホート分析とロンジチュージナル・データ
4. SNA体系と各種マクロ統計量
 - 4.1. SNA体系

4.2. 各種マクロ統計

5. 今後の各国の統計調査体系の変動予測

なお，テキストとしては，竹内啓・松田芳郎「社会・経済統計の世界」（日本評論社より刊行予定）を使用するけれども，随時，資料は講義で補充する。

経済原論 I

助教授 板谷 淳一

マクロ経済学の基礎理論，特にケインジアン経済学（IS=L M分析）の解説を中心に講義をすすめますが，なるべく最近のマクロ経済学の理論的發展についても言及したいと思います。加えて，講義の中で経済白書等を利用することにより，現実の経済データと経済理論との関係についてもふれたいと思います。具体的な講義内容は以下のようなものを予定しています。

1. マクロ経済学とは何か？
2. マクロの経済変数：GNP
3. マクロの経済変数：インフレ率，雇用，失業率，生産性
4. 簡単な乗数理論
5. 簡単なIS-LMモデル
6. 総需要曲線と総供給曲線
7. マクロ的経済政策の効果
8. 消費需要理論の発展
9. 投資需要理論の発展
10. 政府の財政赤字と総需要の関係
11. 貨幣需要理論の発展
12. 総供給と経済成長
13. 新古典派のマクロ経済学
14. 価格と賃金の硬直性
15. 価格調整を伴う短期動学理論

<テキスト>

- (1) R.E.Hall and J.B.Taylor, Macroeconomics, theory, performance, and policy, second edition, 1988, Norton.
- (2) 中谷巖『マクロ経済学入門』
- (3) 今年度の経済白書

<評価>

中間および期末試験を実施して，その平均値により成績を決めます。講義の中で自習用の問題集を配布しますが，試験問題はこれに類似した問題が出題されます。

経済原論 II

助教授 山本 賢司

この科目では，市場機構による資源配分を分析するミクロ経済学（microeconomics）について，以下に示した主要な内容を中級レベルで解説します。

1. 単純な部分均衡分析
2. 消費者行動の理論
3. 企業行動の理論
4. 生産物市場における価格の決定
5. 生産要素市場における価格の決定
6. 不確実性のもとでの経済行動
7. 資産価格の決定
8. 一般均衡分析とその応用
9. 市場均衡と経済的厚生
10. 市場の失敗
11. 競争的均衡分析の限界——不完全競争の理論
12. 情報の経済分析——いくつかのトピックス

教科書： 西村和雄著「ミクロ経済学入門」（東京：岩波書店，1986）

参考文献：開講時に、文献リストを配布します。

成績評価：試験とクイズの結果に基づいて、成績評価を行う予定です。詳しくは、開講時に説明します。

注意： 「経済学概論」あるいはそれと同等程度の経済学の素養を前提として、講義を進める予定です。

経済学史（後期）

助教授 栗田啓子

この科目では、経済学の歴史を概観し、経済学が「科学」として成立し、発展してきた過程を理解することを目的にしています。対象とする主な経済学者（派）は、以下の通りです。

1. 重商主義期の貨幣的経済理論
2. 古典派経済学（A. スミス，D. リカードウ，J. S. ミル）
3. マルクスの経済学
4. 限界革命の経済理論（先駆者たちとW. S. ジェヴオンズ，C. メンガー，L. ワルラス）
5. 新古典派経済学（A. マーシャル，A. C. ピグー）
6. ケインズの経済学

講義では、理論の洗練化の道筋を追うだけでなく、当時の経済問題やそれぞれの経済学者の社会観が、いかに理論に影を落しているのかも、あわせて見てゆきます。

教科書は使わず、配布プリントを中心に授業を進めてゆきます。

参考文献としては、次の4点をおすすめします。

1. M. ブローグ『新版 経済理論の歴史』全4冊，東洋経済新報社，1982—86年
2. J. K. ガルブレイス『経済学の歴史—いま時代と思想を見直す』，ダイヤモンド社，1988年
3. 大森郁夫編『市場と貨幣の経済思想』，昭和堂，1989年

4. 橋本昭一編『近代経済学の形成と展開』，昭和堂，1989年

経済原論Ⅲ

非常勤講師 花田功一
（小樽商科大学短期大学部助教授）

日本は今、財政危機と貿易摩擦（円高）のために文字どおり綱渡りの経済運営を強いられています。そして、これら二つの危機要因が私達の生活に様々な困難を生み出しています（福祉切り捨て、増税、失業、賃金切り下げ等々）。ところで、これら財政危機と貿易摩擦（円高）が生ずる根本には資本主義の本質から生ずる全般的過剰生産恐慌があります。資本主義に不可避なこの全般的過剰生産恐慌を資本主義経済をそのままにして人為的に無理になくそうとすることから財政危機や貿易摩擦（円高）が発生するのです。だから、現在の日本経済を根底から理解するためにはこの全般的過剰生産恐慌が資本主義のもとではなぜ発生するのか、なぜそれは資本主義にとって不可避なのかを理解しなければなりません。そして、マルクス『資本論』の最終目標はまさにこの点の解明にこそあったのです。

以上の様な問題意識と『資本論』理解にたつて、全般的過剰生産恐慌がいかに発生するのかの解明を軸としてマルクス『資本論』の基本論理を説明します。

参考文献

宇佐美・宇高・島・大橋編『新マルクス経済学講座』1，有斐閣
松石・岡本編『経済原論講義』，有斐閣

計量経済学（後期）

教授 遠藤 薫

計量経済モデルのパラメーターの推定について理解することと実際に計算して確かめてみることを本講の目的とします。

最小2乗推定，系列相関のある場合，連立方程式モデルについて情報処理センター実習室で4，5回計算をおこなうことを予定しています。過去の計量経済分析を題材としますが、これにかんする文献はそのつど指示します。

推定については参考書として佐和隆光『数量経済分析の基礎』筑摩書房をあげておきます。計算にはSAS（Statistical Analysis System）を利用します。

経済史概論

教授 井上 巽

本年度の講義は、イギリス帝国経済史（Economic History of British Empire）を主要テーマとして設定して見る予定です。このテーマは、近年、イギリスおよびコモンウェルス諸国で研究が急進展しつつありますが、わが国ではまだ研究成果が十分に蓄積されているわけではありません。したがって、講義では若手のトライアル・アンド・エラーはありえますが、できる限り理解しやすい講義になるように努力して見るつもりです。

講義内容は、第一部インド植民地経済史，第二部イギリス帝国経済の構造，の二部構成になる予定ですが、詳細については開講時に説明します。

当面、テキストは使用せず、講義ノートを中心に論述する予定です。参考文献については、

さしあたって、吉岡昭彦『インドとイギリス』（岩波新書）、加藤祐三『イギリスとアジア』（岩波新書）をあげておきます。

日本経済史

教授 長谷川 伸 三

本年度の講義で対象とする時期は、1859年の開国より約1世紀間とし、この間の日本経済の変化を、1. 国際経済との関連、2. 経済政策等の政治過程との関連、3. 労働者・農民等の社会各層との関連、4. 現代日本経済との歴史的関連を重視して追究したい。

テキストは特に指定しないが、次の参考書1～3本のうち1冊を購入し、講義と平行して検討してほしい。その他の参考文献は開講時にリストを配布する予定である。評価は前・後期中間のレポートとテストを総合して決定する見込みである。

〔参考書〕

1. 後藤 晴他著『日本資本主義発達史』有斐閣
2. 石井寛治著『日本経済史』東京大学出版会
3. 長岡新吉他著『近代日本経済史』日本経済評論社
4. 安藤良雄編『近代日本経済史要覧』第2版、東京大学出版会

経済政策

助教授 板 谷 淳 一

市場におこるさまざまな“市場の失敗”（公害、独占、所得不平等）や公共部門の経済活動に対する規制の政策のあり方を経済学的に分析します。厚生経済学、公共経済学、および産業組織論の分野をカバーしたいと思います。基本的な価格理論の知識を前提とします。具体的には以下のような内容で講義をすすめます。

- (1) 競争均衡配分とパレート効率性
- (2) 厚生経済学の基本定理
- (3) 所得分配と市場メカニズム
- (4) 社会的厚生関数
- (5) 外部性と市場の失敗
- (6) コースの定理
- (7) 公共財の配分メカニズム
- (8) フリー・ライダー問題
- (9) 補償原理
- (10) 独占と市場の失敗
- (11) 公益企業の規制
- (12) 費用、便益分析
- (13) 社会保障の組経済学

〔テキストおよび参考文献〕

公共経済学（上、下） J. E. スティグリッツ著／藪下史郎訳 マグロウヒル
ミクロ経済学Ⅱ 奥野正寛、鈴木興太郎著、岩波書店

公共政策

野口悠紀雄著、岩波書店

〔評価〕

中間・期末試験とも実施して、両者の平均値より成績をきめます。なお、試験前に、復習用の問題集を配付します。

産業経済論（夏・冬季集中）

非常勤講師 村上直樹
（釧路公立大学講師）

「産業組織論」と呼ばれる分野の用容を中心に、概説する。産業組織（市場構造とも言う）とは、ある産業（市場）の特徴を、①現実にどのくらいの規模の何社の企業から構成されているか、②潜在的な新規参入の脅威にどの程度さらされているか、③その製品はどの程度差別化されているか、といった観点から表わそうとする概念である。「産業組織論」では、まずこれら産業組織上の特徴を規定する要因（費用条件、需要条件、技術条件等）を明らかにする。また、産業組織の相違が、企業行動（戦略）の違いを通じて、市場成果（利潤率、技術進歩、企業成長等）にいかなる影響を及ぼすかを解明する。さらにそうした分析に基づいて、産業政策の意義・在り方を考える。以上の目的を達するために「産業組織論」では、ミクロ経済理論（価格理論）に基づいた仮説の提起、および計量経済学的手法（回帰分析）に従ったその検証を試みる。講義でとりあげる主な内容は以下のとおりである。なお、具体的な事例については、できうる限り日本の実態に即したものを、拾うようにしたい。

1. 市場集中の計測と理論
2. 寡占価格の理論
3. 潜在的競争と参入障壁
4. 広告と市場構造
5. 技術革新と市場構造
6. 産業政策の理論と実際 等

テキスト：ロジャー・クラーク著、福宮賢一訳『現代産業組織論』（多賀出版）

財政学

教授 早見 弘

財政学は公共部門の中心となっている一般政府の貨幣収支に伴う諸問題を対象とする。すなわち中央・地方政府が行っている統治活動の分類、その時間にわたる動向、そしてその経済効果などを分析する部分と、その資金的基礎となっている税金と公債の配賦基準ならびにその諸効果を扱う部分からなる。最近の財政学は家計と企業とくに法人企業に税金がどのような影響を与えているか、つまり労働供給、消費と貯蓄の配分、企業財務構成などに税金が与えている修正、歪曲の有無やその推定などを課題とする公共経済学という応用分野になっている。（しかし、必ずしも確定した編別はまだないようである。）

講義は以下の拙著を参照とするほか、新しいデータや展開についてはプリントを配布して補足する。出席をとるが、可否に影響するのは限界得点の近傍になった場合だけである。

1. 政府の役割と財政規模の拡大——統計的事実と理論的説明——

2. 政府活動の理論——公共財と新制度派学説について——
3. 集合的選択の性質と政府の失敗
4. 課税原則——公平・効率および収入の十分性——
5. 所得課税（個人・法人）の構造——制度と税負担構造——
6. 支出課税の構造——制度と経済効果——
7. 資産課税の構造——制度と効果——

参考文献：拙著『財政学』（同文館，1980年）。

国際経済論（前期）

助教授 船津秀樹

この講義では国際経済学の基本概念とその分析手法を学び、国際経済をめぐる様々な現象に関する理解を深めることを目的とします。

- I. 国際経済学の手法
- II. 国際貿易の理論
- III. 生産要素の国際間移動
- IV. 貿易の利益と産業調整
- V. 国際収支の理論
- VI. 為替レートと資本市場
- VII. 経済発展と南北問題
- VIII. 経済統合

参考書

W.J.Ethier,

Modern International Economics, 2nd Ed.

1988, W.W.Norton & Company.NY

ケイプス, ジョーンズ 『国際経済学入門』 多賀出版 1988年 小田正雄他訳

貿易政策（後期）

教授 佐竹正夫

今年度は次の問題を扱う。

1. 貿易政策手段の効果
 - (1) 関税
 - (2) 輸入数量制限
 - (3) 輸出（自主）規制
 - (4) 輸出補助金
2. 自由貿易論と保護貿易論
 - (1) 失業と貿易赤字に基づく保護論
 - (2) 産業調整と保護主義
 - (3) 幼稚産業保護論
 - (4) 外部経済と保護主義

- (5) 規模の経済と貿易政策
 - (6) 安全保障と産業保護
 - (7) 戦略的貿易政策
3. 国際経済体制
 - (1) 貿易自由化とGATT
 - (2) 経済統合の問題
 - (3) 発展途上国の工業化と貿易政策
 - (4) 新保護貿易主義の台頭とGATT体制
 - (5) 直接投資と労働の国際移動問題
 - (6) 貿易摩擦とわが国の今後の貿易政策

参考文献

伊藤元重『ゼミナール国際経済入門』日本経済新聞社，1989年

大山道広・寺西重郎編『国際金融・貿易講義』東洋経済新報社，1989年

山沢逸平『国際経済学』東洋経済，1986年

伊藤・大山『国際貿易』岩波書店，1985年

金融経済論（前期）

教授 今喜典

現代の経済システムは、複雑で精巧な貨幣制度と金融組織を組み込んで成りたっている。企業のどんな日常的取引も、銀行に支えられた決済制度なくしては円滑に行うことができない。また家計の貯蓄、金融資産の選択や、企業の資金調達、資産運用なども、十分に発達した金融市場制度と金融機関の活動を基礎にしている。

この講義では、現代の金融経済の仕組みを理解するために必要な基本的概念と分析用具の解説を第一の目的とする。全体のアプローチは、ミクロ経済学的な考え方を、金融経済の分析のために応用するという性格が強い。ただし、マクロ経済学的な考えも、後半ではとり入れる。

現在、わが国の金融システムは、“金融の自由化”，“金融の国際化”などといわれるように大きな構造変化の時期にある。講義では、第二の目的として、わが国金融の実態にそくして、その問題点や変革の方向の検討をおこなう。本年度は、とくに銀行の役割と行動を重点的にとりあげる予定である。

講義概要

1. 貨幣経済の特質と金融の機能
2. わが国の金融構造
3. 家計と企業の金融行動
4. 銀行行動——金融仲介と貨幣供給
5. 金融市場の一般均衡分析
6. 金融部門と実物部門

テキストは使用しないが、基本的参考文献として二つあげておく。

岩田規久男・堀内昭義『金融』（スタンダード経済学シリーズ）東洋経済新報社，1983。
今 喜典『銀行行動の経済分析』，東洋経済新報社，1987。

金融政策（夏季集中）

非常勤講師 内田和男
（北海道大学教授）

貨幣が経済社会で果たす役割を中心にして，次の二つのテーマに沿いながら金融政策全般について講述する予定である。

- (i) 実物経済と貨幣経済
- (ii) 銀行システムと金融政策

テキストではないが，一応，基準となる文献としては，内田和男『経済不均衡と貨幣』（勁草書房，1988）がある。

流通組織論

非常勤講師 片桐誠士
（小樽商科大学短期大学部教授）

本年度の講義は，流通と商業にかかわる基礎的な理論をできるだけわかりやすく解説するとともに，歴史の大きな流れを把握することに主眼をおく。すなわち，前半では流通ないし商業を見る視角と理論フレームを学び，後半では流通ないし商業を，歴史的展開の上に位置づけて理解するとともに，その展開過程のなかから流通ないし商業の形態を具体的に規定する要因を見い出すように心がける。

主要な講義項目として以下のことを予定している。

序．現代経済と流通

- 1. 商業の機能と構造
- 2. マーケティングと商業
- 3. 消費者行動と小売競争
- 4. 小売業態の展開と小売構造
- 5. 卸売商業の機能と構造
- 6. 商業政策の構造

テキスト：石原武政・池尾恭一・佐藤善信著「商業学」（有斐閣Sシリーズ）
なお，参考文献は追って適宜指示する。

マーケティング（後期）

助教授 高宮城朝則

本講義では，マーケティング論の中心的領域であるマーケティング管理に焦点をあて，マーケティングの基礎概念，その意思決定の性質ならびに環境との相互関係について，具体的事例をまじえて講述する。講義は以下の順序で行う予定である。

- 1. マーケティングの基礎概念
- 2. マーケティング管理の枠組
- 3. マーケティング戦略と戦略計画
- 4. 消費者行動分析

5. マーケティング・ミックス戦略（製品，価格，販売促進，流通）

6. マーケティング組織

7. マーケティング情報とマーケティング・リサーチ

8. 戦略的マーケティング

教科書：嶋口充輝・石井淳蔵『現代マーケティング』，有斐閣，1987年。

参考書：石井淳蔵『日本企業のマーケティング行動』，日本経済新聞社，1984年。

ヒューズ『戦略的マーケティング』，プレジデント社，1982年。

田村正紀『現代の市場戦略』，日本経済新聞社，1989年。

なお，不定期に小テスト，クイズを行い，これを出席の代わりとするので注意すること。

国際マーケティング（前期）

講師 穴沢 眞

国際経営論（多国籍企業論），国際マーケティング論の基礎について述べた後，東南アジアの工業化と多国籍企業の関係を考察する予定である。

講義内容

- 1. 国際経営論（多国籍企業論）
- 2. 国際マーケティング論
- 3. 経済発展論
- 4. 工業化と多国籍企業
- 5. ケース・スタディ（マレーシアの事例を中心とした）

参考文献

- ・江夏健一 『多国籍企業要論』 文眞堂 1985
- ・鈴木典比古 『国際マーケティング』 同文館 1989
- ・渡辺利夫 『開発経済学』 日本評論社 1986

貿易論

教授 森田 憲

東西貿易に焦点をあててみることにする。東側社会主義諸国の変動に伴って東西貿易の枠組みおよび実態がどのように変化するか，日本との関係はどうか，ということについて考えてみることにしたい。

講義は次のような順序ですすめられる予定である。

- 1. 東西経済関係の回顧
- 2. 東西貿易の現状
- 3. 東側社会主義諸国の変動
- 4. 東西貿易をめぐる諸問題
- 5. 東西貿易の展望

教科書は使用しない。参考文献は講義の中で適宜指示する。

Today mass markets are breaking up into customized "Stiletto Markets" and international regional alliance is now supplanting national ties. Economic development on the regional level is intimately linked to global shifts in competition, technology and values as what we call diversified global integration.

Instead of giving you yesterdays I will try to give you today and tomorrow. Yesterday's method rarely have a place in today's precise, cost-conscious economic world where highly diversified and integrated marketing as well as sourcing style are needed. Technical expertise is required here and now to save materials, time and money. In this sense, hands on approach practice or nuts and bolts experience is essential. Also problem-solving approach tackling business-life issues is vitally important in order to give free rein to your capability and creativity. In fact, what I am going to try at the class is to foster your possibility to let you transfer from traditional, conventional and stereo-typed approach to variety-diversify-type one and can find your own proper niche-a place in the society (life, business, etc. ...) in which you are most well suited. Be sure to be positive, active, out-going and try to be exposed, not just receiving information passively.

*English for International Business Communication

- 1) Business Proposal
- 2) Credit Inquiry & Information
- 3) Business Inquiry and Reply
- 4) Conditions of Business
- 5) Conclusion of Business Order & Contract
- 6) Payment with or without L/ C Documentary Bill of Exchange for Bank Negotiation
- 7) Execution of Contract.....Shipment, Marine Insurance & Shipping Documents
- 8) Settlement of Account
- 9) Claim and Adjustment
- 10) International Telecommunications Telex in English
- 11) Miscellaneous Various types of letters in Sales Promotion, Billing, Remittance, Credit, Collection & Reports.

In each case, up-to-date and useful information/ materials will be available in printed copies.

Text to be used; "English for International Business Communication"

「最新ビジネス英語」 碓井 陽一 } 共著 成美堂 ¥1,900
 大塚 朝夫 }
 福田 靖 }

先進資本主義諸国、なかでもアメリカでは、生命保険会社は、近年における金融革新の進展のもとで、保険〔引受〕業務と金融業務を多面的に展開している。そして両業務の結びつきは、ますます強まっている。本年度は、こうした点に重点をおいて講述する。しかしそのためには、保険の基礎理論と歴史的展開の理解が必要である。そこで講義内容は、以下を予定している。教科書については追って指示する。

1. 保険の基礎理論
 - (1) 保険の種類と分類
 - (2) 保険の技術的構造
 - (3) 保険の経営
2. 保険の歴史的展開
 - (1) 損害保険
 - (2) 生命保険・年金
3. 生命保険会社の保険〔引受〕・金融業務
 - (1) 商品改革の進展
 - (2) 資産・負債構成と収益構造
 - (3) 業務の多角的展開

証券市場論

近年、証券市場とりわけ株式市場を巡る話題には事欠かない。株の買占め、不正な株式取引、日経平均株価が上がった下がった、というようなニュースがしばしば新聞紙上を賑わせ、株式投資を勧める本も数多く出版されている。こうした「株式ブーム」とも言える現象は、近年の株式市場の投機的動向を反映したものである。

証券市場においては投機取引は不可欠な要素ではあるが、証券市場本来の機能は、企業や政府の資金調達といった金融的機能に求められる。そこで本講義では、証券制度や証券市場の経済的機能の体系的解説を中心に置き、併せて現在証券市場が抱えている諸問題を検討することにした。

講義の内容は概ね次の通りである。

- I. 証券制度
- II. 信用制度
- III. 株式会社制度と証券
- IV. 証券流通と証券取引所
- V. 証券の価格形成
- VI. 証券市場の諸問題

〔参考文献〕

中村孝俊編『証券市場読本』東洋経済新報社
 その他の文献については、適宜紹介します。

経営学原理 A

教授 篠崎恒夫

- I. クラス編成
2, 3年次生

II. 講義内容

上手く企業を運営することは経営であって、経営学そのものではない。我われはこうした術=ハウトゥーを含んだ日常の経営事象を経営学の対象として据えて、それを理論的客観的に解明しようとする。この結果把握される理論体系が経営学である。いかに経営するか、管理するかは、状況に応じ、人に応じて種々様々であり、諸君らが自ら実践書や経済新聞などを通じて学ぶべきことである。我々がなすべきことは、まず、対象とする経営がいかに歴史的に形成され、今日いかなる経営学を要求し、そこでは何が中心問題となっているかを客観的に、批判的に検討することである。

1. 経営学の認識課題
2. 経営学の生成と発展
3. 経営管理の展開
4. 経営者論
5. 人間関係論
6. 経営組織論
7. 今日の経営問題

III. 関連科目

以下の諸科目を既に履修しているか、又は同時履習することが望ましい。

心理学、哲学、歴史学、社会学、社会思想史、商学概論、経済原論Ⅲ、経済史概論、経営管理論、流通組織論

経営学原理 B

教授 篠崎恒夫

- I. クラス編成

4年次生。2, 3年次生で希望する者については相談に応ずる。

II. 講義内容

経営学原理 A に準ずる。

III. 講義運営

年度当初に発表するテーマ表にもとづいてレポート、教室での報告を中心に進める。レポートは、年間5本程度の提出を求める。

経営学説史

非常勤講師 高橋正泰

(小樽商科大学短期大学部助教授)

アメリカで特に発展した経営学の展開に焦点をあてる。今世紀初頭の科学的管理法から人間関係論、行動科学、システムズ、アプローチそしてコンティンジェンシー・アプローチにいたるまでの系譜を講義する予定である。

テキスト：権泰吉著『アメリカ経営学の展開』（白桃書房 1984）

参考文献：車戸 實編『新版 経営原理の思想家たち』（早稲田大学出版部 1987年）

企業形態論

教授 小田福男

各企業形態の「所有（出資）—支配—経営」の構造を解明する。
講義内容

序. 企業形態論の概観

1. 個人企業、合名会社、合資会社
2. 株式会社
3. 株式会社の支配構造に関する最近の論争
4. 社会主義企業

基本参考文献：車戸 實編『企業形態論』八千代出版、1987年。

拙著『ソビエト独立採算制理論の展開』千倉書房、1982年。

これ以外の文献はその都度指示する。

経営管理論

助教授 鶴野好文

本コースでは、planning, organizing, leading, controlling の管理過程全般が論じられます。トピックスとして、organizational planning, strategic planning, organizational design, organization-environment interface, leadership, group dynamics, organization development が取り扱われます。

テキスト：

John R. Schermerhorn, Jr., *Management for Productivity* (Third edition), John Wiley & Sons Inc.: New York, 1989.

労務管理論

非常勤講師 高木清
(札幌学院大学教授)

労務管理とは何か。それはどのような概念的枠組で展開されてきているのか。そして労務管理の管理技法・制度の特質・機能とは何か。これらのことについて理解してゆきたい。大略、次の要領で講義をすすみたい。

- I. 労務管理の意義と対象
- II. 労務管理の生成と展開
- III. 職務分析と人事管理
- IV. 雇用管理
- V. 企業内教育訓練
- VI. 人事考課
- VII. 賃金管理
- VIII. 企業内労使関係の管理構造
- IX. 行動科学的労務管理と「労働の人間化」

テキストについては指定しないが、講義の展開上で参考にするものについては、その都度紹介する。

財務管理論 (夏・冬季集中)

非常勤講師 中村通義
(北海道大学教授)

(講義内容)

財務管理の基本的技法を講述する。特別な予備知識は必要としない。

- 第1部 資本調達論 全4章
- 第2部 資本管理論 全4章

(テキスト)

なし。

必要な資料、統計等はコピーを作って渡す。

(参考文献)

必要に応じてその都度指示する。

産業心理学

(前期) 非常勤講師 渡辺 誠
(小樽女子短期大学講師)

産業に関わる広汎な事象のうち、主に経営(マネジメント)に関連する問題に焦点を当て、それらを心理学的な角度から検討する。具体的には、職業適性、職業適応、職場集団等の問題を中心として扱い、社会心理学的、及び臨床心理学的側面に重点を置く予定である。

(後期) 教授 和田 完

産業心理学の成立過程を検討しながら、その無体系的できわめて広範囲な研究領域を総括的に概観する。われわれは、これらの多岐に及ぶ領域から、産業精神衛生と呼ばれる分野が、なぜ近年問題となってきたかを研究し、その具体的な話題をいくつかとりあげる。とくに臨床心理学的テーマ、適性検査、社会病理学的問題等が強調されるだろう。参考文献等については講義中に指示されよう。

比較経営学 (後期)

講師 李 濟民

日・米・韓の経営特性の類似点と相違点を戦略論・組織論の立場から分析し、日本と韓国の経営課題について考察する。

講義概要

- I. 日本の経営論
- II. 企業経営の日米韓比較
- III. 日韓企業の経営課題

テキスト

加護野忠男、野中郁次郎、榊原清則、奥村昭博『日米企業の経営比較』日本経済新聞社、1983。

参考文献

Kae H. Chung, Hak Chong Lee and A. Okumura, "The Managerial Practices of

Korean, American and Japanese Firms, "Journal of East of West Studies, 1988.
今井賢一・小宮隆太郎編、『日本の企業』, 東京大学出版会, 1989.
韓義泳, 『韓国企業経営の実態』, 東洋経済, 1988.
なおその他の文献についてはその都度紹介する。

経営史

助教授 高田 聡

現代の企業経営の特徴を歴史的視角から探ることが本講義の目的です。おおまかな目次は以下の通りです。

- I. 企業システムの成立
- II. ビッグ・ビジネスの成立
- III. ビッグ・ビジネスの発展

Iでは産業革命期英国, IIでは20世紀前半の米国, IIIでは戦後日米を事例に説明を行います。本年は自動車産業を事例にして, IIに最も多く時間をさく予定です。

なお, 特定のテキストは用いません。参考文献については講義初回に紹介します。

簿記学 A

助教授 山本 真樹夫

(1) クラス編成

各学年とも学生番号 200までの者は簿記学Aに属する。

(2) 講義内容

簿記とは単なる記帳技術であるとか、あるいはコンピュータの利用により無用な学問になりつつある、という誤解があるかもしれない。しかし、簿記は企業の複雑な営業活動、投資活動、そして財務活動に関する情報を組織化し、企業内外の様々な利害関係者の意思決定に有用な情報に加工する、最も基本的な企業情報システムである。システム思考あるいは情報的思考の基本的姿は簿記に見いだされるといっても過言ではない。また、簿記は世界共通の事業の言語 (language of business) でもある。

このような簿記を学ぶためには、その基本原理をまず知らなければならない。同時に基本原理にしたがった技術の修得も必要である。

(3) 留意事項

受講にさいしては、テキストおよびノートのほかには算盤ないし電卓などの計算用具、罫線をひくための定規、および赤鉛筆を用意すること。講義では随時プリント教材を配布し、繰り返し使うので、バインダーも用意すること。

(4) 評価

前期試験、中間試験(冬休み前)および後期試験の3回の試験を行う。また、講義中、随時、クイズを行う。それらを総合して評価する。

(5) テキスト

久野光朗編著『簿記論講義』(同文館)

久野光朗編著『簿記論演習』(同文館) サブテキスト

簿記学 B

非常勤講師 渡辺和夫
(小樽商科大学短期大学部助教授)

(1) クラス編成

簿記学Bの履修者は各学年とも学生番号 201以降の者とします。

(2) 講義内容

この科目では複式簿記の基本原則を学びます。簿記の原理そのものはそれほど複雑なものではありません。よく整理して頭に入れさえすれば簡単に理解できるはずですが、それでも例年よくわからないという人がかなりいるようです。その原因はおそらく練習不足にあるのではないかと思います。簿記は一種の技術でもあるのですから、練習が大切なことを十分に知っておいてほしいと思います。

簿記学は会計関係の科目の基礎になるものです。将来、特に会計関係の勉強をしたい人はこの技術をマスターしておくことが必要です。なお、講義の範囲はテキストの第1部総論(第1章~第5章)および第2部各論(第6章~第18章)とします。

(3) テキスト・参考書

久野光朗編著『簿記論講義』(同文館)

なお、上記テキストに準拠したつぎの参考書も合わせてご利用下さい。

久野光朗編著『簿記論演習』(同文館)

簿記演習(後期)

助教授 山本真樹夫

(1) 講義内容

簿記演習では、簿記学の講義で十分に解説できなかったテーマ、あるいは理論的に重要なテーマなど採り上げて解説する。今年度は下記のテーマを採り上げる予定である。

- 1 商品売買取引の記帳(棚卸資産の評価)
- 2 特殊売買取引の記帳(損益計算の原理)
- 3 帳簿組織論
- 4 本支店会計
- 5 株式会社の会計(特に資本金)

(2) 留意事項

簿記学Aで示したものと同じものを用意すること。また、企業の合併や買収、あるいは倒産など企業活動に関係した出来事に関心を持つこと。

講義中に、随時、クイズを行う。

(3) テキスト

久野光朗編著『簿記論講義』(同文館)

久野光朗編著『簿記論演習』(同文館)

会計学

教授 久野光朗

最初の授業でガイダンスを行い、参考書の紹介などもいたしますが、授業内容を大別すれば次のとおりです。

§1 総論

§2 測定論

収益, 費用, 資産, 負債, 資本

§3 伝達論

§4 各論

テキスト: 太田・飯野, 『会計学』(千倉書房, 1983)

参考書—現在入手可能な標準的参考書:

黒沢 清, 『近代会計学』(春秋社)

山下勝治, 『会計学一般理論』(千倉書房)

飯野利夫, 『財務会計論』(同文館)

武田隆二, 『会計学一般教程』(中央経済社)

青柳文司, 『会計学の原理』(中央経済社)

黒沢 清(主編), 『体系近代会計学』(中央経済社)

神戸大学会計学研究室編, 『第4版会計学辞典』(同文館)

森田・宮本編著, 『会計学辞典』(中央経済社)

管理会計論

教授 中 善 宏

管理会計は、企業内部において経営管理者が当面する問題の解決を援助する会計である。いわば「経営管理者のための会計」であるといえる。この会計は、意思決定会計と業績評価会計に区分される。前者は、かなり長期にわたる、新規の戦略的問題の解決、たとえば典型的には設備投資計画などを対象としている。後者では、比較的短期の企業目標の設定および管理者業績の評価に焦点がある。

今年度の講義では、主として業績評価会計をとり上げる予定である。具体的には、短期利益計画と予算管理が中心となる。管理会計は、きわめて多様な内容を含んでいるけれども、これら2つは、管理会計の最も基本的な分野であるといえる。講義内容は、およそ次のようになるであろう。

1. 管理会計の体系
2. 短期利益計画
3. 予算管理
4. 事業部制会計

教科書として、以下のものを使用する。その他の参考文献は、講義中に適宜指摘する。
溝口一雄編著「管理会計の基礎」(中央経済社 昭和62年)

原価計算論 (前期)

助教授 福島 吉 春

1. 講義内容

原価計算は、もとは製造業における生産物の原価を計算することから始まったが、現在ではそれにとどまらず、財務諸表の作成や原価管理、さらには代替案評価のためのデータを提供するシステムになっている。

授業では、その内容を以下の順序で概説する。

- (1) 原価計算総説 (基礎概念)
- (2) 原価計算と工業簿記
- (3) 原価の費目別計算
- (4) 原価の部門別計算
- (5) 原価の製品別計算——総合原価計算と個別原価計算——
- (6) 標準原価計算
- (7) 直接原価計算
- (8) 代替案の評価と差額原価計算

授業では計算技法だけでなく、その基礎となる管理思考や歴史的背景をも理解してもらう。なお簿記の知識があるものとして講義するので、簿記学を履修済みであることが望ましい。

2. テキスト

小林健吾『原価計算総論』(創成社, 1988)。

3. 参考文献

岡本 清『原価計算 (三訂版)』(国元書房), 小林健吾『最新原価計算論』(中央経済社), 原価研究会編『原価計算テキスト』『ステップ式・原価計算演習』(以上, 同文館)。なお最初の授業でテキスト・参考文献の解説, 講義内容の紹介など, 簡単なガイダンスをおこなう。『教授要目』を持参されたい。

憲 法

助教授 結 城 洋一郎

「憲法」という法形式が成立する歴史的な過程と意義を学び, わが国の憲法については, 基本的人権を中心に具体的裁判例を参照しながら講義を行う。

講義内容

I 総論

- (1) 憲法とは何か
- (2) 自然権思想と国民主権原理

II 日本の憲法

- (1) 明治憲法から日本国憲法へ
 - (i) 明治憲法の特徴
 - (ii) 憲法の変動

(2) 日本国憲法

- (i) 基本的人権の保障
- (ii) 平和主義

テキスト: 清水 睦他『憲法講義 I』有斐閣

大須賀明他『憲法講義 II』有斐閣

参考書: 国民主権については, 杉原泰雄編『憲法思想』(講座・憲法学の基礎 4) 勁草書房

基本的人権については, 『憲法判例百選 I, II』有斐閣

行 政 法 I

教授 秋 山 義 昭

具体的な事例を素材にしなが, 行政法の全体を体系的に講義する。行政法は, 憲法・民法等の知識を不可決とするので, 受講者はこれらの科目についてすでに相当の成績で履修済みのこと。

テキスト: 遠藤・熊本・秋山・畠山「教材行政法判例」(北大図書刊行会)

参考書: 今村成和「行政法入門 (新版)」(有斐閣)

田中二郎「新版行政法上 (全訂第二版)」(弘文堂)

室井ほか「行政法を学ぶ 1・2」(有斐閣)

原田尚彦「行政法要論 (全訂版)」(学陽書房)

秋山義昭「国家補償法」(ぎょうせい)

財 産 法 I

教授 神 田 孝 夫

民法典は5編から成っています。そのうち第1編総則, 第2編物権, 第3編債権をまとめて財産法とよび, 第4編親族, 第5編相続を家族法とよぶのが通例なわけですが, 本講義では, 財産法の前半の第1編と第2編が主要な対象となります。

法学概論を履修された諸君はすでにご存知のとおり, 民法典は私法の基礎法であります。また, 講学上, 私法にとどまらず法律学一般にひろく用いられることになる数多くの基本的な概念が登場します。民法に登場する諸制度や概念に無縁な法分野など存在しないといっても過言ではないのです。そういった意味で, 商法や国際取引法など私法関係の勉学の前提としては勿論のこと, 労働法や経済法といったいわゆる社会法の領域あるいは行政法その他の公法の領域の勉学の前提としても, これを十分勉強することが必要です。

諸君が, 将来どの道に進もうと, 民法の知識とそこでの考え方が無駄になることは決してないことを請け合います。ただし, 簡単に身につくものではありません。地道な勉強が必要です。単位の取得も一夜づけでは到底無理だと考えてください。

テキストは, 遠藤 浩・川井 健ほか編「民法(1) 総則」「民法(2) 物権」「民法(3) 担保物権」(有斐閣)を使いますが, 差し当たりは「民法(1) 総則」を購入すれば足ります。参考書は開講時に紹介します。

六法全書は必携です。判決例が付記されているものが勉学に便利と思います(どこの出版

社のもので構いません)。

なお、前期試験の成績が極度に悪い者に対しては、後期試験の受験を認めない場合があるうるので、注意して下さい。

財産法Ⅱ(前期)

助教授 藤原正則

債権法及び担保物権の残った部分を取扱う。財産法工との継続なので、特に案内は必要ないと思える。

テキストとしては、野村他「民法Ⅲ 債権総論」(有斐閣Sシリーズ)藤岡他「民法Ⅳ 債権各論」(有斐閣Sシリーズ)を挙げておく。もちろん、有斐閣双書「民法(4)~(7)」などもよいと思う。その他の文献は講義の際に紹介する。

なお、どうも民法には嫌気がさしたという人の為に、再度、米倉明「プレップ民法」(弘文堂)をおすすめする。一読して損はしないと思う。

民事訴訟法(前期)

講師 町村泰貴

民事に関する様々な紛争処理制度を対象とする。関連領域は民事訴訟法(判決手続)、民事執行法、民事保全法、倒産処理制度(破産法、和議法、会社更生法等)などに及ぶが、今年度は判決手続を中心とし、他の領域は必要に応じて言及するにとどめる。

民事訴訟法という法分野は、実体私法(民商法等)の定める権利義務関係を具体的紛争の中で確定し、実現するための手続であるので、前提となる実体法科目(財産法Ⅰ・Ⅱ、環境法等)を履習済みか履修予定であることが望ましい。

使用する文献はまず六法が絶対必要である。六法の種類は問わないが、判例や解説の付いた六法は試験に持ち込みを認めないので、注意すること。その他、教科書・教材として次のものを予定している。

- ・中野貞一郎=松浦馨=鈴木正裕編『民事訴訟法講義[補訂第二版]』(有斐閣大学双書)
 - ・別冊ジュリスト76『民事訴訟法判例百選(第二版)』(有斐閣)
- その他の文献は講義中に指示する。

会社法

非常勤講師 野田博
(小樽商科大学短期大学部助教授)

会社法の領域のうち、株式会社法を中心に、主要な制度、原則および問題を掘り下げて検討します。採り上げるテーマは以下のとおりです。

(1)総論(導入)、(2)会社の法人格の属性と機能、(3)債権者に対する責任、(4)機関の分化と権限の配分、(5)業務執行[特に、(a)利益の衝突(総論)、(b)競業取引、(c)利益相反取引、(d)役員報酬、(e)インサイダー取引、については詳しく検討します。]、(6)監査と検査、(7)議決権行使(投票)制度、(8)株主訴訟、(9)株式、(10)新株の発行、(11)利益の分配、(12)設立、(13)企業結合に関する基本的ルール、(14)支配の移転と内部者の越権——合併、分割および支配の売却、(15)支配の移転と内部者の抵抗——公開買付・企業買収、(16)閉鎖会社、等。

なお、容易に理解出来ると思われる点については、受講者の自習に委ねたいと思いますので、下記の教科書および参考書を用意してください。

<教科書>

龍田 節「会社法」(有斐閣)

<参考書>

河本編「判例マニュアル 商法Ⅱ(会社法)」(三省堂)

商取引法

教授 青竹正一

前年は企業組織に関する通則的規定である商法総則を、後半は企業取引に関する法である商行為法を中心に講義します。

テキスト：田村諄之輔=平出慶道編『現代法講義 商法総則・商行為法』(青村書院)
ジュリスト別冊『商法(総則・商行為)判例百選(第二版)』(有斐閣)

有価証券法

助教授 浅木慎一

有価証券をさしあたって簡単に定義すれば、それは財産的価値を有する私権を表章する証券であって、その権利の発生・移転・行使の全部または一部が証券によってなされることを要するものである、と言いうるのであろう。したがって、有価証券には、手形、小切手、株券、社債券、船荷証券、貨物引換証、倉庫証券等が含まれる。

これらのうち、本科目においては、手形法および小切手法を対象に講義を進める。

本学で開講されている「財産法」において、とりわけ債権法の講義を受講済であるかまたは受講中であることがのぞましい。「会社法」「商取引法」「国際取引法」もあわせて受講することがのぞましい。

参考書：高窪利一「現代手形・小切手法(改訂版)」(経済法令研究会)が、本科目の受講にあたって、比較的重宝ではないかと思われる。

大塚龍児・林靖・福瀧博之「商法Ⅲ——手形・小切手」(有斐閣Sシリーズ)は、初学者が読むには適当であると思う。

経済法(前期)

助教授 和田健夫

市場機構にかかわる法制度について講義します。独占禁止法を中心に、公益事業法、中小企業保護法、カルテル許容法等をとりあげます。

教科書：実方謙二・厚谷襄児・向田直範・和田健夫「教材独占禁止法(第三版)」青林書院

参考書：実方謙二「独占禁止法入門」有斐閣

今村成和「独占禁止法入門」有斐閣

経済刑法(前期)

助教授 丸山雅夫

科目名は「経済刑法」であるが、刑法の総論的基盤がなければ講義が成り立たない(理解が不可能)ので、刑法の基礎的な点を中心に講義を行う。出席はとらないが、試験だけで単

位を得ることは不可能なので(そのような学生は、かつて皆無である)、相当の心構えで受講すること。

教科書 大谷實著『刑法講義総論』(第2版, 成文堂)

参考書 ジュリスト別冊『刑法判例百選 I 総論』(第2版, 有斐閣)

内田文昭編著『争点ノート刑法 I 総論』(法学書院)

無体財産法(後期)

教授 久々湊 伸一

最近は無体財産権とか知的財産権という言葉がはやっているが、ともかく著作権法と工業所有権法が2本の柱である。工業所有権法は特許法・実用新案法・意匠法・商標法からなる。著作権法は文芸・学術・美術の分野の創作者を保護し、工業所有権四法は、商品に価値を付与する諸層(機能, 外観, 標章)の創作者等を保護する。前者は、コンピュータプログラム、ビデオレンタル, 文献コピー等の問題があり、後者には多項式の特許請求の範囲, ヨーロッパ特許, サービスマークの保護などの問題がある。

テキスト: 紋谷暢男著『無体財産権法概論』有斐閣

参考書: 久々湊ほか著『著作権法』学陽書房

半田・紋谷編『著作権法のノウハウ』有斐閣

紋谷暢男編『特許法50講』有斐閣

紋谷暢男編『商標法50講』有斐閣

労働法(後期)

助教授 島田 陽一

実定労働法をできる限り実例に即して概説する。

教科書 外尾健一著『労働法入門(第三版)』有斐閣双書

社会保障法(夏季集中)

非常勤講師 井上 英夫
(金沢大学教授)

社会保障法は、新しい領域の学問です。何よりも現実の国民, 住民の生活実態から出発することが大事だと考えています。同時に制度の存在を知るだけでなく実際にどのように機能しているか。いわば制度の実態を知ることも大切です。そこで、講義では、この二つの実態を踏まえながら、あるべき社会保障法の姿, すなわち権利と義務の関係を検討してみたいと思います。

場合によっては、施設の見学等も考えていますので、頭と足を使う、熱意のある学生の受講を期待します。

参考文献

小川政亮編著『人権としての社会保障原則』ミネルヴァ書房

小川政亮編著『社会保障才判』ミネルヴァ書房

事典刊行委員会編『社会保障・社会福祉事典』労働旬報社

環境法(後期)

助教授 川嶋 四郎

講義の前半は、民法典中の不法行為法を講義します。たとえば、交通事故, 公害, 製造物責任, プライバシー侵害等, 契約関係にない当事者間で生じた紛争の法的な処理について解説してゆきます。

後半は、環境保護に関する様々な法規制を講義します。公害対策基本法, 公害紛争処理法, その他各種環境汚染防止法, 自然公園法, 文化財保護法等について、解説してゆきます。

範囲が大変広汎にわたるため、毎回出席することが望ましいと思います。理解度を確かめるために、講義のはじめに「環境法クイズ」を実施します。具体例, 裁判例, 学説などをできるだけ多く紹介し、将来この種の問題について興味を持ちつづけ、専門的な知識に関する理解を深めることを目的とします。

テキストは、第1回目の講義のさいに指示します。なお、そのさいには講義予定表を配布します。

国際法(後期)

助教授 中村 恵

1. 講義内容

「国際社会における法秩序」全般について、国際司法裁判所の判例等できるだけ具体的な先例をいって、解説します。また、オランダからの帰国後の講義となりますので、1992年に向けての「欧州統合」についても、言及したいと思います。

2. テキストおよび参考書

特定のテキストは、用いません。参考文献については、その都度、指示します。なお講義中、多数の条約を参照しますので、「条約集」を、必ず持参して下さい。小田・石本編、『解説条約集』(三省堂)を、推薦しておきます。

比較法

教授 久々湊 伸一

本年度の比較法の講義内容は次の通りです。

1. 比較法とはどのような学問か。
2. 隣接諸学科との比較。
3. 比較法の役割。
4. 比較法の方法。
5. 比較法の発達
6. 法圏論とは何か, 等々。

テキスト: 五十嵐清著『民法と比較法』一粒社

参考書: 五十嵐清著『比較法学の歴史と理論』一粒社

K. ツヴァイゲルト/H. ケッツ著・大木雅夫訳『比較法概論』原論(上)
(下) 東京大学出版会

国際経済法

助教授 清水章雄

国際法のなかで国際経済関係の調整・発展を目的とする部分及びそれと関連する国内法について、おおむね次の範囲で講義を行います。

1 国際通商法

- (1) 貿易摩擦の法的問題 (2) GATTの法的枠組 (3) GATTの基本原則
- (4) ダumping (5) 補助金 (6) セーフガード措置 (7) 開発途上国と貿易
- (8) 国家貿易 (9) 国際商品協定

2 国際独占禁止法

- (1) 独禁法の域外適用 (2) 競争制限の国際的規制

3 国際知的財産権法

- (1) 知的財産権の属地性 (2) 国際技術移転の法的規制

4 国際投資法

- (1) 国際投資規制 (2) 外国資産の国有化

5 国際金融法

- (1) IMFの法的枠組 (2) 国家債務累積問題 (3) 国際開発金融

6 国際租税法

- (1) 国際租税原則 (2) 租税条約 (3) 国際的租税遁脱防止

テキストとして、ロング著『ガットと経済摩擦』（敬文堂）を使います。さらに、高野雄一・小原喜雄編『国際経済条約集』（有斐閣）が講義及び試験に際して必要です。参考書としては、松下満雄著『国際経済法』（有斐閣）及び丹宗昭信・山手治之・小原喜雄編『国際経済法』（青林書院）が役に立ちます。

なお、「国際経済論」・「貿易政策」を並行して履修することを勧めます。

国際取引法（後期）

助教授 桑原康行

1. 講義内容

次の順序で講義する。

- (1) 国際私法
- (2) 国際的売買
- (3) 国際的支払
- (4) 国際的運送・保険
- (5) 国際的紛争の解決

2. 教科書

澤田他著『国際取引法講義』（有斐閣）

3. その他

参考書等については、第1回目の講義の時に指示する。

管理科学通論

助教授 奥田和重

管理科学（マネジメント・サイエンス）はシステム科学と情報科学の二本柱からなるといわれており、この講義では一方の柱であるシステム科学について学ぶ。システム科学は管理科学だけではなく経済学、経営学、社会学、さらに生理学や心理学などまでをもその対象とする横断的な学問である。しかしこれらの分野におけるシステム科学のアプローチはややもすれば還元論的、機械論的になりやすい。これを克服するためには、新しいシステム科学が求められる。本講ではこのような視点から、システム概念を正確に把握し、社会科学におけるシステム科学の役割を理解することを目的とする。

講義中に小テストを前・後期それぞれ数回行う。夏・冬休みにはレポートを提出してもらう。

教科書：北原貞輔『システム科学入門』，有斐閣，（1986），およびプリント。

参考書：必要に応じて講義中に指示する。

管理科学 I

教授 若林信夫

<前期>

表計算（Spreadsheet）ソフトウェアの代表格である「Lotus 1-2-3」を用いて、データ集計法、データベース、輸送計画、投入産出分析、シミュレーションを学習する。講義と演習は情報処理センター実習室で行う。

受講者は、下記の教科書のほか、3.5インチ2HDフロッピーディスクを用意すること。

真鍋龍太郎・逆瀬川浩孝・若山邦広，「文科系のコンピュータ／応用篇—表計算ソフトの活用—」岩波書房，1988，2500円＋消費税。

<後期>

前期は主としてパソコンを利用した管理科学の学習であったのに対して、後期は主として、汎用大型計算機のFACOM M-760/6の上で稼働しているオペレーションズ・リサーチ／管理科学の各種の応用ソフトウェアを講義・演習する。具体的には、SAS/OR, AMPS, GPSS, Eshellを使用する予定である。後期のための教科書はない。

夏休みと冬休みの明けた第1週目に自習ノートを提出してもらうほか後期定期試験がある。なお、情報処理IAまたはIBを未合格でも「やる気」さえあれば、合格できる。

管理科学 II

（前期）非常勤講師 山村悦夫
（北海道大学教授）

ORは、企業の科学的管理を指向したものであるが、本論では、もう少し広く、企業が活動する地域経済活動に焦点をあて、それらを計量的に分析する手法を中心として、さらに、それらの基本となる経営原理について考える。すなわち、はじめに、わが国の都市、地域計画の課題とモデル規範適応経営理論を概説し、それらを分析する手法として地域人口予測、地域循環分析、産業立地分析、地域産業連関分析、地域計量分析、地域環境管理、地域シス

テム分析, 地域均衡分析, モデル規範適応分析について考える。テキストとしては, 地域分析手法については以下のテキストを用い, その他は市販の文献にない理論や手法を解説するので講義に出席して理解することが肝要である。

教科書(前期): 山村悦夫「地域計画(1)―計画の分析―」技報堂

(後期) 非常勤講師 加賀屋 誠一
(北海道大学助教授)

最近の社会システムを考えると, 益々複雑, 大規模になり, またその科学的分析が難しくなっている。ここでは, 社会システムの把握の方法に焦点を当てる。特に, 現在, 大きな問題となっている環境問題などのグローバルな問題から, 地域住民のニーズに基づく意識構造問題まで, システム論を中心として講義を行うものとする。

1. 社会システム問題の明確化: 複雑・大規模な社会システムの問題を因果モデルによって明確化する方法を解説。
2. 調査・観察・実験: 対象による分類, データ加工による分類を通して, 調査・観察の要点を解説。
3. 記述的把握の方法: 社会システムの記述情報に基づくモデルの取り扱いについて解説。
4. 構造的把握の方法: 社会システム要因の構造化モデルの解説。
5. 定量的把握の方法: シミュレーションモデル, 数理計画法を中心として社会システムの定量化についての解説。
6. 社会システムにおける評価: 費用便益分析, 効用関数法, 多基準分析, エキスパートシステムなど, 主としてシステム評価に関する方法の解説。

市販の文献にない理論, 手法等の開設が中心となるので, 特に教科書は指定しないが, 参考文献として, 次のものをあげておく。

- 1) 近藤二郎『環境科学読本』東洋経済新報社
- 2) 茅陽一, 森俊介『社会システムの方法』新OHM文庫, オーム社

管理科学Ⅲ (前期) 教授 戸島 熙

講義では, ファジィ(Fuzzy)理論の基礎的事項をできるだけ平易に解説する。ファジィ理論は1965年カリフォルニア大学のZadeh教授(イラン系のアメリカ人。講演中の姿をビデオで紹介する)が提唱し始めた「あいまいさ(Fuzziness)」を扱う理論で, 古典的な2値論理ではなく非2値論理にもとづくノンスタンダード理論である。明晰性と判明性を求めないファジィ理論の非デカルト的思考法が東洋的思考法に通じるためか日本と中国に研究者が多い。特に, 日本はファジィ理論の基礎理論と工学的応用において世界をリードしている。

講義ではさしあたって

- ファジィ集合
- ファジィ測度
- ファジィ数学

ファジィ論理

などを話題にするが, 板書の手間を省くため全面的にOHP(と時にはビデオ)を使用する。テキストは使用しない(書店には関係書が沢山並んでいる。その中からどれでもよいから1冊選んで通読することをお勧めする)。参考文献はその都度あげる。なお, パソコンによるファジィ集合の演習を予定しているので, 受講者は3.5FDを1枚用意しておいてほしい。

(後期) 助教授 中村 隆志

後期はオペレーションズ・リサーチなどのモデル解析によく用いられているマルコフ連鎖の理論と応用について講義する。マルコフ連鎖は, 時刻に依存した偶然現象を扱う確率過程といわれるものの一つである。

[テキスト] 森村英典, 高橋幸雄: 「マルコフ解析」, 日科技連出版社

管理科学特講Ⅰ

非常勤講師 浅利 英吉
(北海道東海大学助教授)

管理科学手法は数多くあるが, それらの中から社会的によく利用されているものをふたつ選び, その理論と実際を講義する。手法の選択にあたっては, 他の科目で扱われているのと重複しないように, 開講時に手法の総覧を示し, 学生諸君の希望も考慮してきめることとしたい。なお, 講師執筆のプリント・テキストを配布する。

経営情報論

教授 山田 一生

現代社会の多様化と環境適応への必然性は, 本格的ハイテクノロジー時代に突入した昨今, 新しい企業概念を求めるほど急進的である。とりわけ, 現代社会での組織変革への要請は, 生き残り戦略の展開面できわめて顕著であり, いわゆる組織・管理に関する諸問題へのサイバネティック・アプローチを急務とする。本講義は, 組織体が社会・経済環境の激変に適応していくためには, 組織サイバネティックスの展開が必須であり, 広く組織論や意思決定論など経営学的研究をも包含すべきであるとの観点から, MIS(管理情報システム)からDSS(意志決定支援システム)までの発展的考察を意図して理論面からのアプローチを試みる。同時に, OA(オフィス・オートメーション)時代の実践的理論の構築について言及する。

ここで, 経営情報論の生成過程について, MIS研究の立場からの体系的検討を試みるとすれば, まずMIS前史としての事務管理論(事務の機械化レベル)から, 経営事務管理論(管理の機械化レベル), 経営情報管理論(経営の機械化レベル)へと発展段階的にとらえるのであり, さらにより人間中心なアプローチである経営組織管理論(組織システムのレベル)へと展望させるであろう。本講座では, これらの詳細についても考察する予定である。

主要参照文献ならびに参考文献については, きわめて多数のものを列挙する結果となり, 標準的なテキスト・ブックを指定することは, とうてい困難である。したがって講義の中で

必要に応じて、その都度紹介する。

会計情報論

教授 山田 一生

情報化社会から情報社会へとも言われている現代、情報伝達のスピードが飛躍的に高まり、従来別世界にあったような情報が、今ではなくてはならない貴重な情報として活用されるといふ例は、今後ますます発展するものと思われる。また、情報のとらえ方もその限定された枠の中でとらえるだけでなく、より広汎な視野からとらえることが必要となってくるであろう。会計システムの場合でも、単に会計分野だけの情報にとどまらず、経営という立場から見た企業全般を対象とする情報、経済情況、社会、環境とその枠は拡大される。現代の会計学が経営学、経済学さらには社会学や環境学をも取り入れようとしている流れも、この枠の広がりによって無関係ではなからう。

会計情報システムは、企業の経営活動の全般にわたって、(1)事後計算(報告的会計)、(2)現在計算(管理的会計)、(3)事前計算(予測的会計)のそれぞれの情報を提供し、経営意思決定に役立つ情報システムとなるものである。しかるに、1966年のASOBAT(a Statement of Basic Accountig Theory)の公表以来、いまだにその実践的展開による検証を経た、真の会計情報システムの一般モデルが登場していない。さらに、企業の情報システムに対して、一般に要求されると考えられる情報の種類は、(1)歴史的情報(オペレーショナル・マネジメント層)、(2)執行的情報(スタッフ・マネジメント層)、(3)決定情報(エグゼクティブ・マネジメント層)であり、現在の会計システムは、そのうちの歴史的情報の大部分を提供しているのにすぎないのが実状である。

その原因として考えられることは、まず第一に会計システムが、主として外部指向のプロセスとして、財務会計を中心として展開させてきたということがあげられる。意思決定に有効な情報をもたらすためには、内部指向のプロセスへの展開を図らなければならないが、そこで問題となるのが、意思決定者自身が各自の持つ情報ニーズをシステムに十分反映させることができないということであろう。さらに、意思決定支援のためには、意思決定者のもつ経験的な情報ニーズやその処理ロジックを柔軟にコンピュータ・システムに反映させることが必要であるが、そのためには、従来からの大型コンピュータでのEDPを中心とする集中処理型のシステムで対応することは難しく、その役割は、多種・多量のファイルハンドリングが可能となってきたこと、ネットワーク構築が容易であることなどの理由により、パーソナル・コンピュータが担うことも期待されているのである。

このような会計研究に関する進化論的アプローチの結果、伝統的企業会計制度としての会計システムは、(1)EDPシステム→(2)IDPシステム(3)エキスパート・システム→(4)意思決定支援システム、さらには(5)人工知能システムとして捉えられるのであり、最近における(a)構造的アプローチ(ファームウェア)、(b)技術的アプローチ(ハードウェア)、(c)人間的アプローチ(ヒューマンウェア)、(d)機能的アプローチ(ソフトウェア)という4つの側面から統合プロセスと捉えることにより、会計情報システムの新展開がはかれることになろう。本講座における具体的講義内容としては、(I)会計情報システムの新展開、(II)意思決定支援シ

ステムへの実践的アプローチ、(III)意思決定支援システムの具体的展開、(IV)意思決定支援システム・ドキュメンテーションであるが、講義と演習とを同時併行させる方式を実現できるよう配慮することにする。

すなわち(i)仕訳プログラム、(ii)勘定記入プログラム、(iii)試算表プログラム、(iv)精算表プログラム、(v)修正財務諸表プログラム、(vi)経営分析プログラム、(vii)デジジョン・パッケージ・プログラムなどについて、DB/DC(Data Base/Data Communication)アプローチを展開する予定である。これらの同時併行作業を通じて、会計情報システムの原理的ならびに実証的研究をはかり、会計情報システムの基本的設計を究明するとともに、さらに、会計情報論の諸問題について論述する。

主要参考文献ならびに参考文献については、きわめて多数のものを列挙する結果となり、標準的なテキスト・ブックを指定することは、とうてい困難である。したがって講義の中で必要に応じて、その都度紹介する。

応用数学(代数)

(前期) 助教授 行方 常幸
(後期) 教授 沼田 久

経済学、管理科学、統計学等の勉強を進めるために必要な線形代数学を講義する。ベクトル空間、行列、行列式、線形不等式、凸集合等々の諸概念に慣れること、行列やベクトルを含む演算に慣れること、線形計画問題の解法の初歩に慣れること、線形代数学が経済学などにどのように応用されているかを知ることなどである。情報処理I、応用数学(解析)とともに、管理科学科の学生は必ず履修することが望ましい。

高等学校的な数学の得手・不得手とはあまり関係はないが、論理的能力または、ある程度の根気が必要である。講義すべき事柄が多く、講義中十分に演習する時間がないので、復習を各時で行って頂きたい。その際、問題の解答を見ないで、自力でどこまで出来るのか、出来ないのはどこの部分か、等をじっくりと根気よく調べてもらいたい。このことを基本的な問題毎にきちっとやる事は時間がかかり進むのも遅いが、理解への近道である。学問に王道なし!!

講義に出席することの利点を少しばかり列挙してみる。

- ①出席をとった場合、出席点がもらえる。試験の成績が合否のボーダーラインの時、この出席点が合否の別れ目となる。
 - ②教科書のどこに重点をおいて学習を進めていけばよいか分かる。
 - ③教科書のなかで試験に出ない部分、すなわち、講義で省略した部分分かる。
 - ④上記の②③のため試験前の勉強の時、貴重な時間を無駄にしないですむ。
 - ⑤教科書にのっていない内容を講義した場合、それを聴くことができる。
- 教科書：沼田久、行方常幸ほか著『線形数学(改訂版)』(富士書院、1989)

応用数学(解析)

助教授 行方 常幸

管理科学、経済学などを学ぶために必要である差分方程式、微分方程式の解法を中心に講

義する。時間の許す限り講義時間中に演習を行う予定であるが、その際、各自自力で真剣に取り組んで頂きたい。自分は文科系だから出来ないのではないか、理科系だから今は手を抜いていても試験には出来るだろう、等の考えはしばらくおいておこう。問題の難易にかかわらず、真剣に取り組めば、自分にとっての問題点がだんだん明確になってくる。真剣に取り組んだ御利益は各自、体で感じる事が出来るものである。

講義に出席することの利点を少しばかり列挙してみる。

- ①出席をとった場合、出席点がもらえる。試験の成績が合否のボーダーラインの時、この出席点が合否の別れ目となる。
- ②教科書のどこに重点をおいて学習を進めていけばよいか分かる。
- ③教科書のなかで試験に出ない部分、すなわち、講義で省略した部分分かる。
- ④上記の②③のため試験前の勉強の時、貴重な時間を無駄にしないですむ。
- ⑤教科書にのっていない内容を講義した場合、それを聴くことができる。

「数学」は履修済みであるとして講義を進める。応用数学(代数)とともに履修することが、望ましい。

教科書：須田宏著『差分方程式・微分方程式』(培風館)

応用数学(統計Ⅰ)

助教授 清水川 緋紗子

テキスト：米田桂三，多賀保志，森俊夫 著

「統計学の応用と演習」

同文書院

参考書：「パソコン統計解析ハンドブック」Ⅰ～Ⅴ

共立出版

：篠原昌彦 著

「確率・統計」

朝倉書房

応用数学(統計Ⅱ)

助教授 清水川 緋紗子

テキスト：真壁 肇，宮村 鐵夫，鈴木 和幸 著

「信頼性モデルの統計解析」

共立出版

情報処理ⅠA

(前期) 助教授 中村 隆志

情報処理ⅠはAとBの二つのクラスに分けているが、各学年とも管理科学科に所属する者が受講するのがこのAクラスである。

前期の目標はパソコンの操作法と初歩的なプログラミング技法を修得することである。パソコンの電源スイッチを入れてから、プログラムを入力して実行するまでの操作と、プログラムの作り方を実習を通して学習してもらう。プログラム言語としてはTURBO pascalを用いる。プログラムの課題を数回出題し、そのプログラムと実行結果を提出してもらう。

[テキスト] 黒瀬能幸，松尾俊彦：「TURBO Pascal プログラミング」，森北出版

(後期) 教授 若林 信夫

後期には、主として、情報処理センターの汎用大型計算機FACOM M-760/6を利用して、情報処理の基礎的な原理、算法(アルゴリズム)、応用ソフトウェアを講義、演習する。第2種情報処理技術者試験(4月、10月実施)に合格出来るための基礎的な概念例えば、アイコン(Icons)、エキスパートシステム、ヒューリスティクス、エミュレータパリティチェック、分散データ処理バックグラウンド処理、ユーティリティルーティン掲示板(BBS)、フォンノイマン計算機などについてもその背景を含めて理解する。単に、基礎ばかりでなく、諸君が、社会に出て、使う計算機は、FACOMのような汎用大型計算機であろうから、そのオペレーティング・システムの操作やデータセットやアプリケーション・ソフトウェアの利用についても学習する。

教科書はない。

自習書は9月の半ばに掲示する。

JOYNETを利用した問題提示、解答収集がある。

質問・疑問・センター利用上のアドバイスは、穴澤務助手からも得られる。

情報処理ⅠB

(前期) 助教授 杉本 英二

情報処理Ⅰの目標は、コンピュータを使って情報を処理する技術の入門です。特に前期は入門の入門ですから、実際に触れてみる、やってみることを重点にしています。そうした意味で、直に役立つワープロと表計算をテーマにしました。この2つは卒業後でも十分役にたつはずで。

テキスト

ワープロのテキストはまだ未定です。

はじめてのロータス1-2-3 秀和システムトレーニング(1200円)

(後期) 助教授 中村 隆志

後期はプログラム言語FORTRANを用い、初歩的なプログラムの作成方法について学習する。演習問題を出題するので、各自、適当な時間に情報処理センターを利用し、その実行結果を提出すること。

[テキスト] 原田賢一：「Fortran77プログラミング」，サイエンス社

情報処理Ⅱ

助教授 杉本 英二

情報処理Ⅱは、入門コースではありません。管理科学科の情報処理に関する専門科目です。この科目では、情報処理に関する一般的知識とプログラムへの理解を深めることによって、コンピュータの限界が理解できればよいと考えています。

前期は、主に文書作成編集とプログラム作成の技術水準の向上を目標にした実習中心の授業です。ただし実習は各人で、時間を計画的に用意して下さい。およそ週に2・3時間ほど

で足りるはずです。後期はデータベースを中心に、知識や推論について講義します。
テキスト 森口繁一ほか「Pascalプログラミング講義」共立出版(1900円)

情報処理Ⅲ

教授 戸島 潤

講義ではLisp言語の種々の側面を解説することを通じて計算機科学の諸概念を統一的視点から解説する。Lispはたんなるプログラミング言語ではなく、明確な理論的背景をもった論理的構成物で、計算機科学にたえず影響を与えてきた。それは、たとえば、ガーベジコレクション、ダイナミックスコープ、シャロウバインディングなどの計算機科学における重要なキーワードがLispに由来するものであることからもうかがい知れよう。

講義ではLispによるプログラミングも話題にするが必ずしもそのみにウェイトをおかず、Lispでは何が問題になりそれがどう解決されてきたかを述べることに最大の力点をおく。取り上げられるであろう話題の一部を列挙してみると、

点対とリスト

Lispプログラミング

Lispインタプリタ

環境問題

Lisp言語の表示的意味論

Lispのアプリケーション

などである。講義では板書の手間を省くため全面的にOHPを使用する。テキストは使用しない。参考文献はその都度指示する。情報処理センターで演習を予定している。

6 教職科目

教育原理

助教授 上野 耕三郎

今の日本では、あげたらきりがなほどの問題が「教育」問題として流布しています。「いじめ」「校内暴力」等々、それが語られるとき、必ずといってよいほど、「今の家庭教育が悪い」「今の子ども、若者は……」「現在の学校の管理体制が……」式の解説がついてまわります。もはや「教育」について語ったり、「教育」の話をきかされることに食傷気味ではないでしょうか。何かよき「理念」をもって、現実を断罪するという類の方式を対しても何となく空虚さを感じているのではないのでしょうか。私自身は少なくともそうです。もちろん教職課程の講義を受講している学生諸君には「教育」に対する期待をもつ学生さんが少なからずいると思います。それを否定するつもりは毛頭ありません。しかしこの授業では「教育」に対する「情熱」を鼓舞することは避けるつもりです。かといって教育学の体系から「教育」問題への処方せんを提示する、という方式もとることはしません。残念ながら学としての体系性が「教育学」にあるようには私には思えません。できれば各個人の教育経験——学校に限定されないもっと広い意味での生育経験——を振り返って、そこを出発点として、もう一度「教育」を捉え直してみたいと思います。授業でどのような問題をとりあげるかは初回の授業で話します。

商業科教育法

非常勤講師 横川 義雄
(札幌大学名誉教授)

1990年以降における世界経済の変化と発展と共に、日本の商業教育も「商業教育学会」の設立をみることとなり、高校における職業教育の中で流通経済、国際経済の教育的役割について、簿記、会計と情報処理教育とともに、新しい教育観と研究と指導に進歩発展をみる視点を強くもっていきたい。

- 〔Ⅰ〕世界的視野に立っての教育的価値観体系の確立と成長と調整
- 〔Ⅱ〕日本における産業構造の経済学的現状分析
- 〔Ⅲ〕職業教育に関する現代的視点

—人間形成に立った学習、教育指導の特色をさぐる—

〔Ⅳ〕改訂学習指導要領の展開

- A) 後期中等教育のめざすもの —生涯学習教育の一貫性からみて—
- B) 高校学習指導要領「商業」の改善の要点
- C) カリキュラムの編成

〔Ⅴ〕商業教育の新しい目標と商業科目の配分について

- 国際経済と商業の役割、また主体的経営活動と能力と態度の育成について—
- A) 商業教育の目標について

B) 日米商業教育目標と指導の比較分析

C) 「流通経済」「国際経済」「簿記」「会計」「情報管理」「経営情報」の新設

D) 課題研究

〔VI〕学習指導の三つの原理

—自発性の原理, 生活化の原理, 個別化・社会化の原理と指導条件の整備—

〔VII〕学習指導の方法論

講義式指導, Q&A指導, Recitation指導, PSM (問題解決学習) 指導

〔VIII〕学習指導案の作成と教育実習について

英語科教育法

非常勤講師 高井 収
(小樽商科大学短期大学部助教授)

第2言語習得理論の一つであるクラッシュェンのモニター・モデルを中心にして, 英語教育の本質や目的を検討する。授業はセミナー形式で行うので学生諸君の積極的な授業参加が特に期待される。主な授業内容は次の通りである。

1. 主な英語教授法の概観

2. モニター・モデルの理解

3. 学習指導案の作成とデモンストレーション

テキスト: Stephen D. Krashen & Tracy D. Terrell: THE NATURAL APPROACH, Language Acquisition in the classroom. The Alemany Press.

道徳教育の研究 (後期)

非常勤講師 廣川 淑子

私達は幼時から身近かな人々や集団, 社会とのかかわりのなかで, 道徳的習慣や規則を学びとり, それを自己の願望や理想とむすびつけながら, より普遍的な道徳を求めていこうとしています。道徳性の発達の過程を追いながら, 道徳教育の役割について考えていきたいと思っています。

あわせて, 我国の近代学校における道徳教育のあゆみをふまえて, 現行教育課程における「道徳」の位置を検討し, 道徳教育の内容や方法について考察していきたいと思っています。参考文献はその都度紹介します。

教育史

助教授 上野 耕三郎

ヨーロッパの近代教育思想史を中心に講義します。こう書くと, 今さら古い時代の教育思想家の出る幕でもあるまい, そんな人たちが言ったり, 行ったりしたことは, 今の日本の教育問題には何の解決ももたらさない, という声がきこえそうです。いや, この教育「危機」を救うためにこそ, ペスタロッチ (スイスの教育家), ルソーの教育思想を今こそ移入すべきだ, という声もきこえてきそうです。

いずれの立場もそれなりの学ぶ点もっていると, 私は考えます。しかし, 今の時代は「近代」教育の自明性が問い直されている時代だともいえます。現代の教育問題のいくつか

は近代の教育がかかえていた問題だとすれば, 近代教育の思想課題を担った人々を検討することは, これから教師になろうとしている学生諸君に役立つと思います。

1年間の講義予定・題目は初回の講義の際お知らせ致します。

教科書は中野光, 志村鏡一郎編『教育思想史』(有斐閣新書)を用います。各自必ず購入しておいて下さい。

職業指導

非常勤講師 松田 光一
(北海学園大学教授)

職業指導講義内容

1. 職業について
2. 職業観の変遷
3. 職業指導の歴史
4. 職業的発達理論
5. 進路指導の管理と運営(1)
6. 進路指導の管理と運営(2)
7. 進路指導の実践(1)
8. 進路指導の実践(2)
9. 学歴と職業——学歴社会論をめぐって
10. 職業資格制度と教育機会の拡大
11. 学校における職業教育(1)職業高校の事例
12. 学校における職業教育(2)専修学校, 職業訓練校の事例
13. 企業内教育訓練の推移
14. OJTとOff-JT
15. 技術革新と教育
16. 職場適応
17. 職業適性
18. 自己理解
19. 進路相談, カウンセリングの実際
20. 進路指導における個人理解の方法
21. まとめ

テキスト: 市川典義他著「職業生活の心理」学術図書出版

英文学概論

(前期) 非常勤講師 片山 厚
(北海道大学教授)

代表的なアメリカの小説を時代順にいくつか選んで, その時代背景, 作家の特質について調べながら, 作品の理解を深めるように努める。

受講者は指定する作品を(かりに翻訳によってもよいが)読んでいることが必要であり,

また講義では作品の一部を原文で読むことになる。
教科書等とはくに指示しないが、参考書、その他詳細は初回の講義で説明する。

(後期) 教授 永原和夫

講義内容

1. 文学の本質と効用
2. 文学のジャンル
3. 文学の表現
4. モダニズムの文学

参考文献はその都度指示する。受講者には定期試験の他に、レポートを課す。出席を重視し、 $\frac{1}{3}$ 以上欠席する者は受験資格を失う。

英文学 II

助教授 杉村泰教

トマス・ハーディの代表的な小説をとりあげ、小説の読み方や批評の方法について研究する。批評に関しては、作品を読んだ後、プリントやVTR等で解説を行う。

テキスト: Thomas Hardy, *Jude the Obscure* (北星堂, ¥1,300)

参考書: 斎藤 勇『英米文学辞典』(研究社)

英語学概論

(前期) 助教授 下村五三夫

主に英語学の現代的分野を俯瞰します。資料は下村が準備します。題目は以下の通りです。

1. 音論: 音声の生成と認識のメカニズム, 言語と音声, コンピューターと音声
2. 形態論: 語の構造分析, コンピューターと語彙
3. 統語論: 文の構造分析, 言語の数理モデル

(後期) 助教授 津曲敏郎

後期では、英語の歴史と現状、世界の諸言語の中での類型的な位置づけ等について概観する。テキストは用いないが、随時プリントや、課題図書を指定する。出席と積極的な態度を重視する。遅刻は欠席と同じ扱いとする。

英語学 II

助教授 山本久雄

テキスト: *A University Grammar of English* by Quirk and Greenbaum (Longman)

本授業では、英文による文法書を講読する。分担及び担当を決め、報告形式で講義を進める。したがって学生諸君の積極的な出席が重視される。尚、本年度は第6章から始める。

英会話・英作文

外国人教師 Michael Carr

Jones & Kimbrough *Great Ideas* (Cambridge University Press)

Frederic Crews *The Random House Handbook* (Random House)

This is an advanced course restricted to earnest students. Attendance is strictly required, and only three unexcused absences will be allowed. Grades will be determined from participation in class discussions and from compositions which must be typewritten.

7 研究指導

井上教官担当研究指導

1. 研究主題

International Economic History, 1820—1940.

19世紀初頭のイギリス産業革命期から20世紀20～30年代の両大戦間期にいたる国際経済史を研究主題とします。具体的には、この時期における国際貿易・移民・資本移動・国際金融などの発展・展開過程をフォローすることによって、19世紀的世界と20世紀的世界を比較してみたいと考えています。

2. 指導要領

3年次と4年次前半までの約1年半の間、国際経済史に関する英文テキストを輪読します。3年次末までに卒業論文のテーマを決めて、レポートを提出してもらいます。4年次の後半からは卒業論文の本格的な作成準備に移ります。

3. 指導テキストおよび参考書

テキスト：A. G. Kenwood and A. L. Lougheed, *The Growth of International Economy, 1820—1980, An Introductory Text*, London, 1984.

参考書は適宜指示します。

鶴沢教官担当研究指導

1. 研究主題

理論経済学，特に，ミクロ経済理論

2. 指導要領

3年次では、英文テキストによる学習，および，その他の論文を読む。

4年次では、個別テーマに基づく卒業論文作成のための報告と討論。

3. テキスト

Shubik, M., *Market Structure and Behavior*, (Harvard U. P., 1980).

遠藤教官担当研究指導

1. 研究主題

計量経済分析とその方法

2. 指導要領

下記テキストの講読。4年次生はさらに卒業論文の作成。

3. テキスト

3年次生：Kmenta, *Elements of Econometrics*, 2/e, 1986.

4年次生：Gujarati, *Basic Econometrics*, 2/e, 1988.

今教官担当研究指導

1. 研究主題

マクロ経済学および金融論。

2. 指導要項

・3年次は、テキストの輪読と各自の選んだテーマによる研究。

・4年次は卒業論文作成。

3. 指導テキストおよび参考書

未定。（マクロ経済学，または金融関係の英文テキストを選ぶ予定）

佐竹教官担当研究指導

1. 研究主題

貿易政策

特に貿易政策の基本的な考え方である自由貿易主義と保護貿易主義を検討することが課題である。

2. 指導要項

3年次では、下記テキスト等の輪読を通して、国際経済学の基本的な考え方を修得することが目的。

4年次では、各自の個別テーマに基づく卒業論文の作成指導を行う。

3. 指導テキストおよび参考書

Krugman, P and M. Obstfeld, *International Economics*, 1988.

長谷川教官担当研究指導

1. 研究主題

日本経済史のうち、幕末・維新前後の国際関係と国内経済。

2. 指導要項

3・4年次——下記テキストの講読と史料の検討。卒業論文のテーマは上記主題に限定しなくともよいが、3年次末までに方針をたてること。

毎週かなりの量の論文や史料（文語文に近い漢文）を読むことになる。また英語の論文や当時の外交関係の英文も対象にする予定なので、古文・漢文・英語について、ある程度の読解力が必要になる。

3. 指導テキストおよび参考書

テキスト——石井寛治著『大系日本の歴史12・開国と維新』小学館，1989年

Shinya Sugiyama (杉山伸也), "Japan's Industrialization in the world Economy 1859-99, Export Trade and Overseas Competition" The Athlone Press, 1988.

4. 申し込みの条件

歴史学・社会思想史・経済史概論・経済原論Ⅲなどを履修していることが望ましい。

5. その他

積極的な研究意欲と行動力を期待する。またゼミナールとしての共同の行事を大事にしてほしい。

早見教官担当研究指導

1. 研究主題

公共政策と企業行動——税金と補助金の資産・負債構造等の影響について。

2. 指導要領

目下は以下のテキストを輪読している。分担者は要旨をプリントして全員に配布する。今後は卒論テーマごとに報告の予定。

Maddala, G. S. & Ellen Miller, *Microeconomics: Theory and Applications*, McGraw-Hill, 1989.

3. 私のゼミでは、例年財政学専攻にとらわれず(3年生には、財政学は初めから興味をもてないか、あるいは経済学、統計学、会計学等を知らないとともに追いつかないか、さりとて財政制度の歴史を調べたところで、so what?という問いには答えられないか、のいずれかに終わる)、ミクロ、マクロ経済理論の新しいテキストを、精読することに徹してきた。政府収支による経済への干渉は、いたるところに及んでいるから、その効果の分析には財政学ではなくて経済理論こそ学部段階では必須と思うからである。およそ大学では自ら問題をみつけて、深めていくために教師のアドバイスや図書館の利用が有効なのであって、やらされて苦痛ならば「楽勝科目」で単位をとって終わってもかまわない道もある。ゼミナールは自ら求める学生に応えるためにある、と私は考える。

久次教官担当研究指導

1. 研究主題

統計学の数理的方法論に主点を置く。

2. 指導要領

3年次 テキストの講読・討論・演習。

4年次 追加文献の講読および卒業論文の作成。

卒業論文のテーマは下記の分野から選ぶ。

・統計学・計量経済学の数理的方法論

・実証分析

・統計に関するソフトウェア

3. 指導テキスト

3年次生：河口至商『多変量解析入門 I, II』 森北出版

T. W. Anderson, "An Introduction to Multivariate Statistical Analysis", John Wiley a Sons.

4年次生：G. S. Maddala, "Econometriss", McGraw-Hill.

4. 申し込みの条件

「統計学」を履修中のこと。

5. その他

(1) 解析学(積分, 偏微分, 無限級数など), 線形代数(逆行列, 掃き出し法, 行列式, 固有値問題など)については2年次までに修得しておくこと(未履修者も受け入れるが自習してほしい。)

(2) 3年次において「数理統計学」を履修すること。

本間教官担当研究指導

1. 研究主題

「国際的視野における農業と経済」

経済発展における農業の役割や国際経済摩擦の中の農業問題を理論的・実証的に分析する。その中には世界の食糧問題, 南北問題, 農産物貿易問題等のトピックスが含まれる。

2. 指導要領

4年次は卒業論文の指導。

3. 指導テキストおよび参考書

開発経済学, 農業経済学, 国際経済学関連の文献からいくつかをとりあげる。

板谷教官担当研究指導

1. 研究主題

産業組織論。

従来の実証を中心とした産業組織論に対抗して, 1980年以降に発展したいわゆる“新しい産業組織論”を, 最新のテキスト・ブックを使って, 包括的に理解することを目的とする。したがって, トピックスは, 日本の産業組織といった実証的なものより, もっぱら, 理論的内容に限定される。ゲーム理論・情報の経済学などが応用される。

2. 指導要項

3年次および4年次前半まで, テキストの輪読および発表。

4年次後半より卒論の作成。

卒論のテーマは必ずゼミで学んだ事柄を基礎とすること。したがって, 今年度の学生の

場合は産業組織論に関するテーマを選ぶこと。

3. 指導テキストおよび参考書

Jean Tirole, 1989, "The Theory of Industrial Organization" MIT Press.
(8,000円程度)

(図書館に見本があるかもしれないので、関心のある人は各自でチェックせよ。)

栗田教官担当研究指導

1. 研究主題

経済学の古典と現代

2. 指導要項

3年次はテキストの報告を中心に、古典派経済学からケインズ革命に至る経済学の歴史を概観する。

4年次は、卒業論文の作成にむけて、各自が選択した主題について報告を行う。

3. 指導テキストおよび参考書

3年次テキスト

- 1) 大森郁夫編『市場と貨幣の経済思想』1989年 昭和堂
- 2) 橋本昭一編『近代経済学の形成と展開』1989年 昭和堂

船津教官担当研究指導

1. 研究主題

国際経済に関する理論的研究

2. 指導要項

3年次においては、国際経済学の標準的英文テキストを輪読し、国際経済学に対する理解を深める。4年次においては、各自設定したテーマに沿って、研究発表と討議を行い、卒業論文を作成する。

3. 指導テキストおよび参考書

W. Ethier, Modern International Economics, 2nd Edition. (1988, Norton)

山本(賢)教官担当研究指導

1. 研究主題

ミクロ経済理論——各経済主体の意思決定をもとに経済現象に関する検証可能な仮説の導出を目的とします。

2. 指導要項

3年次：基本的な文献について報告を行ってもらい、その過程で分析用具に習熟し、卒

業論文のテーマを決める。

4年次：卒業論文の作成の過程で、ゼミナリスト相互の討論を行う。

卒業論文については、他のゼミナリストの論文に対する、コメントを求めます。

3. 指導テキスト

幾つかのテキスト・解説論文を中心とするreading listを、開講時に用意する。

小田教官担当研究指導

1. 研究主題

現代企業の「所有—支配—経営」の構造

2. 指導要項

3年次—テキストの輪読

4年次—卒業論文の作成指導

3. 指導テキストおよび参考書

奥村宏『法人資本主義』（御茶の水書房、1984年）

ジョン・スコット著／現代企業研究グループ訳『現代企業の所有と支配—英国・米国・日本の比較研究—』（税務経理協会、1989年）

久野教官担当研究指導

1. 研究主題

会計学（簿記学を含む）

2. 指導要項

3年次：わが国の『企業会計原則』の批判的研究と外書講読を中心にして基礎的知識を修得させる。

4年次：卒業論文の指導—各人の発表をもとにしてディスカッションを行う。

3. 指導テキストおよび参考書

3年次の後半において使用する外書は学生諸君と相談のうえ決定する。

4. 申し込みの条件

2年次終了時において語学その他の基礎教育科目の所要単位を取得し、かつ簿記学の単位を優秀な成績で取得可能な者。

5. その他

ゼミという組織にかんがみ、ゼミに求める以上にゼミに貢献できる人物を望みます。

中教官担当研究指導

1. 研究主題
管理会計論
財務諸表分析
卒業論文のテーマとして財務諸表分析を選択する場合には、統計学とコンピュータによる情報処理の学習が必要になる。
2. 指導要領
3年次生：管理会計および原価計算に関する基礎的な知識を習得するために教科書的な文献を輪読する。英語文献をとり上げる予定。
4年次生：各自の選択した卒業論文のテーマにそって指導する。
3. 指導テキストおよび参考書
未定。

森田教官担当研究指導

1. 研究主題
次のふたつの研究主題をとりあげる予定である。
 - (1) 国際政治経済学。
 - (2) 社会主義経済改革論。
2. 指導要項
3年次：基礎的文献の輪読。
4年次：卒業論文の作成指導。
3. 指導テキストおよび参考書
 - (1) Bruno S. Frey, *International Political Economics*, Basil Blackwell, 1984. および
 - (2) Pawet Boiyk, *Applying Market Mechanisms to the Socialist Economy*, SGPis, 1989. を予定している。

和田(完)教官担当研究指導

1. 研究主題
産業精神衛生
企業体やその周辺の環境が雇用者へ及ぼす、各種の心理学的問題を、臨床心理学的視野から検討する。
2. 指導要領

- (1) 3年次
必要な臨床心理学的知識の吸収

- (2) 4年次

具体的問題（例えばアルコール関連問題）へのアプローチと、卒論の早期の準備。

3. 指導テキストおよび参考書
概論は教室で用意するテキストによる。
専門論文は主としてコピーして利用。

青山教官担当研究指導

1. 研究主題
金融および証券に関する研究
2. 指導要項
3年次：テキストの講読と討論。
4年次：テキストの論読と討論および卒論指導。
3. テキスト
当面次の文献を予定している。
生川栄治『信用理論の体系』有斐閣
楊枝嗣朗『貨幣・信用・中央銀行』同文館
中尾茂夫『世界マネーフロー』同文館

鶴野教官担当研究指導

1. 研究主題
企業の組織行動、組織構造の理論を取り扱います。コンティンジェンシー理論により蓄積された研究成果をまず学習してもらった後、実際の組織行動、及び組織構造のデータを収集してもらい、さらにそれを多変量解析を使って分析してもらいます。
2. 指導要項
3年次及び4年次の前半：テキストを講読します。
4年次の後半：卒業論文の作成の指導をします。
3. 指導テキスト及び参考文献
Judith R. Gordon, *Organizational Behavior (Second edition)*, Allyn & Bacon Inc. : Boston, 1987.
岩田暁一、『経済分析のための統計的方法』（第2版）、東洋経済新報社、昭和58年。
以上のテキストを予定しています。

篠崎教官担当研究指導

1. 研究主題

管理と組織の基礎的研究

資本主義的管理が進めば、現場における労働は細分化され、低劣化されるか否か。官僚制はヴェーバーの現念型どおりに組織において貫徹しているか。この二つの問題は最近における管理と組織における解決すべき課題である。この二つを意識しながら、管理と組織を考えていこう。

2. 指導要領

3年次において下記のテキストを読みながら社会科学的なものの考え方と基礎概念を修得し、4年次において卒論テーマを決定し、卒論作成を指導する。

3. 指導テキストおよび参考書

内田義彦『資本論の世界』岩波書店

ブレイヴァマン著富沢賢治訳『労働と独占資本』岩波書店

ジャコービ著荒又ほか訳『雇用官僚制—アメリカの内部労働市場と“良い仕事”の生成史』北海道大学図書刊行会

高田教官担当研究指導

1. 研究主題

ビッグ・ビジネスの経営活動。歴史的接近を主体にする。

2. 指導要領

3年次：テキストの輪読・討論（内外の文献をできるだけ多くあたり、活発な討議のなかで問題関心と分析力を養いたい）

4年次：卒業論文の作成（ゼミナリスト間の切磋琢磨を通じて論文作成を図りたい）

3. テキスト

テキストは多数（英文も多用）。適宜指示します。

高宮城教官担当研究指導

1. 研究主題

マーケティングおよび流通システムの理論的・実証的研究

2. 指導要領

3年次：マーケティング論・流通システム論の基礎知識を修得するために文献輪読と事例研究を行う。これと並行して3年次後半よりグループで実証研究を行うことを求める。

4年次：文献輪読と並行して、卒業論文の指導を教室での報告・討論と個別指導を通じて行う。

3. テキスト

追って指示するが、以下の文献を予定している。

G. D. ヒューズ『戦略的マーケティング』、プレジデント社、1982年

嶋口充輝・石井淳蔵『現代マーケティング』、有斐閣、1987年。

アーカー=デイ『マーケティング・リサーチ』、白桃書房、1981年。

田村正紀『現代の市場戦略』、日本経済新聞社、1989年。

福島教官担当研究指導

1. 研究主題

原価計算および管理会計

2. 指導要領

3年次の前半では基礎的な管理会計のテキストによって知識を身につけ、その後半から4年次にかけて、英語文献の輪読によって理解を深める。ひきつづき卒業までに、各自選択したテーマで卒業論文を執筆する。

いずれの段階においても、単なる知識の修得にとどまらず、討論を通じて研究主題特有の発想法を培うことを目標にする。

3. テキスト

3年次前半で使用するテキストは辻厚生編著『管理会計の基礎理論』（中央経済社、1985）。後半から使用する英文テキストについては後日ゼミ生と相談して決定するが、今のところD. T. DeCoster, E. S. Schafer and M. T. Ziebell, *Management Accounting: A Decision Emphasis*, 4th ed., 1988またはA. R. Drebin and H. Bierman, *Managerial Accounting: An Introduction*, 3rd ed., 1978を予定している。

4. 留意事項

ゼミ生には、旺盛な研究意欲とともに地道な学習を要求する。

松本教官担当研究指導

1. 研究主題

簿記、財務会計論、および国際会計論

2. 指導要領

3年次：上記3つの研究主題について、数冊の文献の輪読・討論を重ねる。

長期の休み期間については、会計に係わる指定図書を読んでもらいます。

4年次：卒業論文の作成を最終目的として、各自の選択したテーマについて発表と討論を重ねます。

3. 指導テキストおよび参考書

上記の研究主題ごとに、主として次の文献を取り上げる予定ですが、最終的には、ゼミ生と相談のうえ決定します。

- <簿記> 久野光朗編著『簿記論講義』同文館
安平昭二『簿記詳論』同文館
- <財務会計論> 若杉 明『クイックマスター企業会計』東洋経済新報社
染谷恭次郎『現代財務会計〔増補改訂版〕』中央経済社
- <国際会計論> G. G. Mueller, *Accounting An International Perspective*.

山本(真)教官担当研究指導

1. 研究主題
簿記および財務会計論
2. 指導要領
3年次および4年次前期では、文献講読、討論およびレポート提出により会計学の基本的思考を修得し、4年次後期から各自の選択したテーマにしたがって卒業論文を作成する。指導計画は次のとおり。
3年次前期 邦語テキストの輪読、報告および討論
3年次後期 外国語(英語)テキストの輪読、報告および討論
4年次前期 上記の継続
4年次後期 卒業論文の作成指導
3. テキスト
飯野利夫著『財務会計論(改訂版)』(同文館)
外国語テキストについては未定

穴沢教官担当研究指導

東南アジアにおける日系多国籍企業の行動を国際経営の観点から考察すると共に、東南アジア諸国の工業化ひいては経済発展と多国籍企業とのかかわりをも検討する。
ゼミにおいては毎回発表者を指定し、その発表をもとに全員参加による自由な討論を行う。全員に発言を求めると予習を怠らないこと。

- テキスト
- ・市村真一編『アジアに根づく日本的経営』東洋経済新報社 1988
 - ・吉原英樹他『日本企業のグローバル経営』東洋経済新報社 1988
 - ・渡辺利夫『開発経済学』日本評論社 1986
- 以上を予定している。

中浜教官担当研究指導

1. 研究主題

- 金融革新下におけるアメリカ生命保険会社の保険〔引受〕・金融業務の多面的展開に関する研究
2. 指導要領
研究主題に関する文献を講読する。
 3. 指導テキスト
Curry, Timothy and Mark Warshawsky, "Life Insurance Companies in a Changing Environment", *Federal Reserve Bulletin*, Vol.72, No.7 (July, 1986).
古瀬政敏『アメリカ生保会社の新経営戦略』東洋経済新報社 1989年。
 4. 申し込みの条件
3年次に保険論を履修すること。

李教官担当研究指導

1. 研究主題
グローバル経営戦略を主な研究分野とし、特に日本・アメリカ・韓国の国際化戦略、海外直接投資等の比較研究をこころみることとします。また事例分析を取り入れ企業レベルでのミクロ的次元での研究を並行して行います。
2. 指導要項
3年次：英語のテキストの輪読及び討論(さらに関連する多数の論文・資料を適宜指示します)
4年次：卒業論文の作成
3. 指導テキストおよび参考書
テキスト：A. M. Rugman et al. *International Business*. McGraw-Hillの予定。
参考文献：吉原英樹、林吉郎、安室憲一、『日本企業のグローバル経営』
江夏健一編著、『グローバル競争戦略』

青竹教官担当研究指導

1. 研究主題
会社法の研究
2. 指導要領
会社法に関する具体的問題および判例を、テキスト・参考書より取り上げて報告・討論してもらい、会社法が企業活動とどのようにかかわっているのかを知ってもらうことをねらいとする。
自発的な討論を期待している。
3. 指導テキストおよび参考書
(1) 上柳・鴻・竹内編『会社法演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ』(有斐閣)

(2) ジュリスト別冊『会社判例百選(第4版)』(有斐閣)

(3) 青竹『続小規模閉鎖会社の法規整』(文真堂)

秋山教官担当研究指導

1. 研究主題

「行政判例の研究」

過去の重要な行政判例をとりあげ、具体的なケースを通して行政法の理解を深めるとともに、法律的な分析能力、思考能力を養うことをねらいとする。

2. 指導要領

3年次生はとりあえず下記の(1)を用い、行政判例の読み方と解釈論の基礎を身につける。

4年次生は下記(1)および(2)を用い、直接判決文にあたりながら判例理論を学び、後半は卒論作成を中心とする。

3. 指導テキストおよび参考書

(1) 行政判例百選(第II版)I, II(別冊ジュリスト)

(2) 判例時報

なお、平成2年度ゼミ履修者は、4月開講時まで上記(1)を各自入手しておくこと。

神田教官担当研究指導

1. 研究主題

民法学における重要問題の研究

(財政法の領域を中心とする。但し、学生の希望があれば家族法の部分をもとりあげる。)

2. 指導要領

重要判例もしくは事例問題の検討をとおして、民法の全体像、運用の実際を理解するとともに、民法学上の現代的課題を研究する。

毎回2名から研究の結果を報告してもらい、それをうけて全体でその当否を論議し問題点を究明する。毎回、全員から各自の回答の要旨を提出してもらう。

3. 指導テキストおよび参考書

遠藤浩・川井健編『ワークブック民法』(有斐閣)また、「民法の争点I, II」および「民法判例百選I, II, 第II版」(いずれもジュリスト別冊)は、副本として用いることが確定なので予め購入されたい。

浅木教官担当研究指導

1. 研究主題

銀行取引法務の事例研究

2. 指導要領

銀行取引において生じる具体的問題を取りあげて報告、討論してもらい、私法一般の応

用力を養ってもらう。

3. 指導テキスト

テキストは、当方で用意する。

ゼミに臨む前に民商法の体系書を読破済であること。

川嶋教官担当研究指導

1. 研究主題

「司法的な紛争処理制度の研究」

社会に生起する様々な紛争により産み出された被害者が、司法制度(特に裁判所)を通じて、現在どの程度救済されているかを把握した上で、将来いかにして救済されるのが妥当であるかという問題について、研究することを目的とします。そのさい、各種の個別的な紛争(例、公害・環境紛争、交通事故紛争など)に関する裁判例・学説を素材にして、主として手続法の分野から、実践的かつ理論的に、あるべき救済方法・手続方式を模索しつつ、問題にアプローチして行きたいと考えています。

2. 指導要項

報告、議論、解説を通じて、問題についての認識と理解を深めて行きたいと思っています。

3年次：前半は、司法的な紛争処理制度に関する基礎的な知識を得るために、一定量の文献の講読を行います。

後半は、個別的なテーマに関する研究報告をめぐる質疑応答を中心に、各種の問題にアプローチして行きます。

4年次：卒業論文のテーマを選定し、それに関する報告と議論を重ねます。

3. 指導テキストおよび参考書

具体的には後に指定しますが、次のような文献を予定しています。

人間環境問題研究会編『最近の重要環境・公害判例』(有斐閣, 1987)

鈴木忠一＝三ヶ月章監修『新・実務民事訴訟講座4-6〔不法行為訴訟I-III〕』(日本評論社, 1982-83)

清水教官担当研究指導

1. 研究主題

「国際経済法」

国際経済法という分野は、国際法のなかで国際経済関係の調整・発展を目的とする部分とそれに関連する国内法を研究対象とすると考えられる。この研究指導においては、そのなかでも国際貿易の公的な規制に関する法律問題を取り上げる。中心的な課題は、ガットという法的枠組における貿易摩擦問題の取扱いと日本法、米国法、カナダ法、EC法等における関連問題の検討である。

2. 指導要領

3年次及び4年次前半：下記(1)を講読しつつ、ガットの紛争処理手続において扱われた具体的な事例等を検討する。

4年次後半：卒業論文作成の指導を行う。

3. 指導テキスト及び参考書

- (1) Mitsuo Matsushita & Thomas J. Schoenbaum, *Japanese International Trade and Investment Law* (東京大学出版会)
- (2) ロング著『ガットと経済摩擦』(敬文堂)

中村(恵)教官担当研究指導

1. 研究題目

「国際法上の基本問題」

2. 指導要領

本年度は、4年次生だけです。卒業論文作成に向けての指導を行います。

3. テキストおよび参考書

各自のテーマに応じた参考文献および先例を、その都度指示します。

藤原教官担当研究指導

1. 研究主題

民法学上の諸問題。財産法を中心とする。

2. 指導要領

毎回、2・3名のレポーターに報告してもらい、後は全員の討論による。なお、レポーターは、レポートした課題に即してペーパーを提出してもらおう。これは次回までに添削の上返却する。

3. 指導テキストおよび参考書

4年次は、昨年通り。

3年次は、未定。但し、「民法判例百選I, II(第Ⅲ版)」(ジュリスト別冊)は購入しておいた方がよい。

丸山教官担当研究指導

1. 研究主題

広義の刑事法(少年法, 刑事訴訟法等を含む)に関する諸問題の検討。

2. 指導要項

3年次: 各人の選択した個別テーマについて報告, 討論を行う。

4年次: 3年次と同じ方法により卒論指導を行う。

3. 指導テキストおよび参考書

特に指定しないが, ゼミ開始時までに, 最低限, 刑法総論の教科書を通読しておくこと

と, ジュリスト判例百選刑法(I, II)を準備しておくこと。

結城教官担当研究指導

1. 研究主題

近代立憲主義並びに現代憲法における基本問題

2. 指導要領

3年次生 テキストの項目を分担して報告と討論を行う。

4年次生 卒論の作成と報告

3. 指導テキストおよび参考書

テキストは目下, 次のものを念頭に置いている。

小嶋和司編『憲法の争点』(ジュリスト増刊, 法律学の争点シリーズ2)
有斐閣(新版 1,500円)

和田(健)教官担当研究指導

1. 研究主題

「日本の取引慣行の研究」

2. 指導要領

3年次前半は独占禁止法の勉強。その後assignmentに従って上記テーマを研究する。

3. 指導テキスト・参考書

独占禁止法の勉強には, 講義要目・経済法の項に記載のテキスト・参考書を使用する。
テーマ研究においては使用文献をそのつど指示する。

町村教官担当研究指導

◇ゼミナールの目的

民事訴訟手続および倒産処理手続に関する諸問題を勉強することにより, 第一に訴訟手続等の法的紛争処理制度のあらましを修得し, 第二に様々なトラブルの解決において, 結果の正しさとは別次元の, 解決「方法」の公正さがイメージできるようになることが目的である。またこれとやらんで, 実社会において法的問題に直面した場合に最低限必要な法的調査(リーガル・リサーチ)を行うことができる能力も養いたい。

◇具体的内容

(3年生)

今年度はまず基礎知識の習得のため, 福永有利=井上治典『民事の訴訟』(筑摩書房)を基本教材として, 民事訴訟(判決手続)の流れを学ぶ。その後は参加メンバーの希望にもよるが, 演習問題を用いて判決手続の理解を深めていく予定である。なお希望があれば, 民事執行および倒産処理手続についても触れる機会を持ちたいと考えている。

(4年生)

前年度より継続して演習問題を題材とした報告討論を行う。またこれと平行して、各自の選択した卒論テーマについて、判例・学説の網羅的な調査をそれぞれ進めていく。夏休み前後には大体的見通しをつけられる程度に調査をまとめることが目標である。後期はそれぞれの調査を補完しながら論文を作成し、また各自の論文テーマを題材としたゼミを展開する。

戸島教官担当研究指導

1. 研究主題

数式処理システムおよびそれを効率よく走らせるためのLisp 処理系（インタプリタとコンパイラ）の研究と開発。

2. 指導要項

数式処理システムはREDUCEを対象とし内部構造を解説する。Lisp に関しては、Basic, Pascal, Cなどで記述された小規模なLisp インタプリタを対象にその機能を拡張しそれらの上でLisp で記述されたLisp コンパイラを走らせる。コンパイラは新しく開発するものか既存のものを使用する。

3. 指導テキストおよび参考書

必要に応じてその都度指示するが、次の文献はLisp プログラミングを行う者にとっては必読書のひとつである。

Winston and Horn, LISP (2nd Ed.), Addison-Wesley, 1984.

なお、REDUCEについては、A. C. ハーン, REDUCEユーザズマニュアル, マグロウヒル, 1989が基本である。

沼田教官担当研究指導

1. 研究主題

オペレーションズ・リサーチ

オペレーションズ・リサーチには多数・多種類の分野や手法がある。それらのすべてについて勉強することは不可能であるが、オペレーションズ・リサーチのものの考え方、基礎的知識を身につけ、適用対象について考察し、いくつかの分野について詳細な勉強をする。

2. テキスト

William E. Pinney & Donald B. McWilliams, *Management Science*.

(Harper & Row, 1987)

3. ゼミ所属の条件

イ. 管理科学概論履修済みのこと。

ロ. 応用数学(代数)に合格すること。

ハ. 情報処理 I 不合格の場合は辞退してもらう。

山田教官担当研究指導

1. 研究主題

現代組織科学技術の総合的研究

現代における経営学説、組織論には実に多種多様な理論、アプローチが存在するが、それらを組織科学と称し、以下の5項目を中心題目として研究していくことにする。

(1) 経営情報論

(2) システム監査論

(3) 経営戦略論

(4) 組織サイバネティクス

(5) ネットワーク理論

上記のテーマのうち、3つないし4つのテーマを実践する。

2. 指導要項

商学部のゼミとして、実践的な研究を行う。将来の企業人の資質を養成できると信ずる。卒論のテーマ及び使用するテキスト等は、相談の上決定する。

3年次) 1 使用テキストを決め輪読形式で研究

2 コンピュータの操作及び基礎知識の修得

4年次) 各自卒論の完成と評価

3. 指導テキストおよび参考書

1 アメリカ及びドイツの組織論についての文献

2 日本の経営学についての文献

3 アメリカのManagement Scienceについての文献

4 世界中のComputer Scienceについての文献

(1は輪読、234は各自のテーマにそい選択、いずれも相談の上決定する。)

4. 申し込みの条件

真の人間尊重をめざした道具(パートナー)としてのコンピュータの活用の実現に向けて、意欲を傾ける努力家を歓迎する。

原則として管理科学科に所属していること。

若林教官担当研究指導

1. 研究主題

「管理科学の基礎的研究」

・生産在庫輸送計画とエキスパートシステム

・現代ゲーム理論の基礎と応用

- ・ネットワーク・グラフ理論とプログラミング
- ・データベースと暗号学
- ・UNIXとMS-DOS

2. 指導要領

- ・管理科学の幅の広いものの見方や考え方を養う
- ・英語論文・テキストの輪読と情報処理センターでの演習
- ・卒業論文の作成上の指導, プレゼンテーション

3. 指導テキストおよび参考書

Robert Sedgewick *Algorithms*, Addison-Wesley.

奥田教官担当研究指導

1. 研究主題

生産システムに関する研究

物(一般的な品物に限らず情報やサービスを含む)を製造するシステムである生産システムを対象にした生産計画, 生産実施, 生産管理の理論的研究を行う。

2. 指導要領

3年次: テキスト輪読, 文献紹介を通じて各自の卒論のテーマを選択する。

4年次: 卒論のテーマに関する文献紹介および研究報告を行い卒業論文を作成する。

3. 指導テキスト

人見勝人: 生産システム論, 同文館, (1990)

L. A. Johnson, D. C. Montgomery: *Operations Research in Production Planning, Scheduling, and Inventory Control*, John Wiley & Sons, (1974)

4. ゼミ所属の条件

管理科学概論を履修済みのこと

管理科学通論, 応用数学(代数), 応用数学(解析), 情報処理Iを履修していること。

清水川教官担当研究指導

1. 研究主題

統計学

2. 指導要項

統計手法の使い方を学ぶ。

3. 指導テキストおよび参考書

W. R. Dillon他著: "Multivariate Analysis" methods and applications. 1984.

杉本教官担当研究指導

1. 研究主題

人工知能と言語情報処理

人工知能と呼ばれている分野へのコンピュータの応用が盛んになってきている。最近では工学系への応用よりも, 文系の分野の応用の方が重要になっている。その場合, 2つのことが問題になる。社会的なルールや人間の思考をどのようにコンピュータの中で表現するかということと, 人間が使っている言葉をコンピュータでどう理解するのかということである。

2. 指導要領

3年生 : コンピュータ言語 (Pascal, Prolog, Lisp) の学習

4年生前半: 人工知能に関する様々の手法の学習

4年生後半: 各自のテーマでの卒業研究

3. 指導テキストおよび参考書

ウィンストン「LISP」培風館

スターリング・シャピロ「Prolog の技芸」

エイホ・ホップクロフト・ウルマン「データ構造とアルゴリズム」

シャック「自然言語理解入門」総研出版

中村(隆)教官担当研究指導

1. 研究主題

待ち行列の理論と応用

2. 指導要領

3年次: テキスト輪読, コンピュータによるシミュレーション

4年次: 卒業論文作成指導

3. テキスト

森村英典, 大前義次: 「応用待ち行列理論」, 日科技連出版社

Thomas J. Schriber: "Simulation Using GPSS", WILEY.

行方教官担当研究指導

1. 研究主題

オペレーションズ・リサーチ, 特に動的計画法, ゲームの理論等の基礎的研究。

2. 指導要領

オペレーションズ・リサーチの中から, 多段階決定過程を扱う動的計画法, 意思決定者が2人以上の場合を扱うゲームの理論を取り上げ, その基礎理論の理解と応用を目標とす

る。

3年次：テキストの講読、演習。

4年次：卒業論文の作成指導。

3. 指導テキスト及び参考書

3年次：“Lectures on Game Theory” by Robert J. Aumann 1989.

4年次：“Cooperative Games, Solutions and Applications” by Theo Driessen
1988.

永原教官担当研究指導

1. 研究主題

英米小説及び文芸批評

2. 指導要領

3年次：毎週短編小説一編を読み、発表・討論を行って文学研究の基礎を養い、あわせて現代文芸批評についても指導する。

4年次：各自の研究テーマについて卒業論文（英文40枚程度）作成を最終目的として報告と討論を中心にする。

3. 指導テキストおよび参考書

Brooks & Warren. *Understanding Fiction*

E. M. Forster. *Aspects of the Novel*

Wayne C. Booth. *The Rhetoric of Fiction*

原田敬一訳、「MLA新英語論文の手引」（北星堂）

下村教官担当研究指導

言語音声学（Linguistic Phonetics）の研究指導をします。今年度は、①音声学素論
②生成音韻論 ③実験音声学を中心に指導します。

卒業年次生には、各自の関心に応じたテーマを設定し、研究論文にまとめあげる手助けをします。この論文には、必ず実験音声学による資料の解析結果が盛り込まれていなければなりません。

申し込みの条件

- (1) 商業教員養成課程に所属していること。
- (2) 英語教員免許のための教職に関する専門科目を24単位以上取得のこと。

山本(久)教官担当研究指導

1. 研究主題

生成文法理論

2. 指導要項

3年次：毎週生成文法理論に関する論文を読み、生成理論の基礎を養成する。

4年次：各自の研究テーマについて卒業論文（英文40枚程度）作成を最終目的として報告と討論を中心とする。

3. 指導テキストおよび参考書

H. Van Riemsdijk & E. Williams. *Introduction to the Theory of Grammar*.
原田敬一訳『MLA新英語論文の手引き』（北星堂）その他必要に応じて紹介する。

杉村教官担当研究指導

1. 研究主題

英米小説及び文芸批評

2. 指導要領

3年次：長編小説1冊と短編小説をいくつか読み、批評のプリント等を使って小説の様々な読み方を考える。

4年次：各自の研究テーマについて卒業論文（英文40枚程度）作成を最終目的として報告と討論を中心にする。

3. 指導テキストおよび参考書

William Golding, Lord of the Flies (Faber and Faber, 1988)

Harold Schechter & Jonna Gormely Semeiks, eds., *Discoveries : 50 Stories of the Quest* (Macmillan, 1983)

原田敬一訳『MLA新英語論文の手引』（北星堂）

